

# 学校法人昭和女子大学寄附行為

## 第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、学校法人昭和女子大学という。

(事務所)

第2条 この法人は、その事務所を東京都世田谷区太子堂一丁目7番57号に置く。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第3条 この法人は、教育基本法、学校教育法及び就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律に従い、学校教育及び保育を行い、有為な人材を育成することを目的とする。

(設置する学校)

第4条 この法人は、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。

(1) 昭和女子大学

大学院	文学研究科 生活機構研究科 福祉社会・経営研究科（専門職大学院）
人間文化学部	日本語日本文学科 歴史文化学科
国際学部	国際教養学科 国際日本学科 国際学科
グローバルビジネス学部	ビジネスデザイン学科 会計ファイナンス学科
人間社会学部	心理学科 福祉社会学科 現代教養学科 初等教育学科
環境デザイン学部	環境デザイン学科
食健康科学部	健康デザイン学科

管理栄養学科  
食安全マネジメント学科

- (2) 昭和女子大学附属昭和高等学校 全日制の課程 普通科
- (3) 昭和女子大学附属昭和中学校
- (4) 昭和女子大学附属昭和小学校
- (5) 昭和女子大学附属昭和こども園
- (6) ブリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和

(収益事業)

第5条 この法人は、その収益を学校の経営に充てるため、次に掲げる収益事業を行う。

不動産賃貸業・管理業

### 第3章 機関の設置

(役員、評議員及び会計監査人の設置)

第6条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 10名以上11名以内
  - (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 この法人に、評議員12名以上16名以内を置く。
- 3 この法人に、会計監査人1名を置く。

(理事選任機関)

第7条 この法人の理事選任機関は、理事会とする。

- 2 理事選任機関の構成員は、全ての理事とする。
- 3 監事又は評議員会は、理事選任機関に対し必要な報告を行おうとするときは、理事長に対し、理事選任機関の招集を請求することができる。この場合において、理事長は、理事選任機関を招集しなければならない。
- 4 理事選任機関が理事を選任するときは、理事長に対し、評議員会の招集を求め、あらかじめ、評議員会の意見を聴かなければならない。
- 5 理事選任機関は、前項の評議員会の意見を十分に参酌し、理事を選任しなければならない。

### 第4章 理事会及び理事

#### 第1節 理事の選任及び解任等

(理事の選任)

第8条 理事は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) 学長（校長）のうちから理事会において選任した者 1名

(2) 前号に掲げるもののほか、理事会において選任した者 9名以上10名以内

- 2 前項第1号に定める理事は、その職を退いたときは理事の職を失うものとする。
- 3 理事選任機関は、理事数が第1項各号に掲げる数を下回ることとなるときに備えて、補欠の理事を選任することができる。

(理事の資格及び構成)

第9条 理事の選任に当たっては、私立学校法第31条に規定する資格及び構成に関する要件を遵守しなければならない。

(理事の任期)

第10条 理事の任期は、選任後3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、任期の満了前に退任した理事の補欠として選任された理事の任期は、前任者の残任期間とすることができる。

- 2 理事は、再任されることがある。

(理事の解任及び退任)

第11条 理事が次の各号のいずれかに該当するときは、当該理事を選任した理事選任機関の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき
  - (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき
  - (3) 理事としてふさわしくない非行があったとき
- 2 理事が前項各号のいずれかに該当するときは、評議員会は、当該理事を選任した理事選任機関に対し、当該理事の解任を求めることができる。
  - 3 前項の場合において、理事の職務の執行に関し不正の行為又は法令若しくはこの寄附行為に違反する重大な事実があったにもかかわらず、当該理事の解任を求める旨の議案が評議員会において否決されたとき、又は当該理事の解任を求める旨の評議員会の決議があつた日から2週間以内に理事選任機関による解任がされなかつたときは、評議員は、当該議案が否決された日又は当該決議があつた日から2週間を経過した日から30日以内に、訴えをもつて当該理事の解任を請求することができる。
  - 4 理事は次の事由によって退任する。
    - (1) 任期の満了
    - (2) 辞任
    - (3) 死亡

(理事に欠員を生じた場合の措置)

第12条 理事は、第6条に定める定数を下回ることとなったときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、後任の理事が選任されるまでは、なお理事としての権利義務を有する。

2 理事のうち、その定数の5分の1を超えるものが欠けたときは、1か月以内に補充しなければならない。

## 第2節 理事会及び理事の職務等

### (理事会の構成)

第13条 理事会は、全ての理事で組織する。

### (理事会の権限)

第14条 理事会は、この法人の業務を決し、理事の職務の執行を監督する。

### (理事の職務)

第15条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの寄附行為で定めるところにより、職務を執行する。

2 理事のうち1名を理事長とし、理事会の決議によって選定する。理事長を解職するときも、同様とする。

3 理事（理事長を除く。）のうち1名を代表業務執行理事とし、理事会の決議によって選定する。代表業務執行理事を解職するときも、同様とする。

4 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

5 代表業務執行理事は、この法人を代表し、理事会の定めるところにより、理事長を補佐してこの法人の業務を掌理する。

### (代表権の制限)

第16条 理事長及び代表業務執行理事以外の理事は、この法人の業務について、この法人を代表しない。

### (理事の報告義務)

第17条 理事長及び代表業務執行理事は、3か月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。

## 第3節 理事会の運営

### (招集)

第18条 理事会は、理事長が招集する。

2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、代表業務執行理事若しくは理事長の指名する理事が理事会を招集する。理事長、代表業務執行理事及び理事長の指名する理事がいずれも欠けたとき又は事故があるときは、各理事が理事会を招集する。

- 3 理事長以外の理事は、理事長に対し、会議の目的である事項を示して、理事会の招集を請求することができる。
- 4 理事長が、前項の請求のあった日から5日以内に、その請求の日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知を発しない場合には、招集を請求した理事は理事会を招集することができる。
- 5 理事会を招集するには、各理事及び各監事に対して、会議の日時及び場所並びに会議の目的である事項を書面又は電磁的方法により通知しなければならない。
- 6 前項の通知は、会議の1週間前までに発しなければならない。ただし、緊急を要する場合はこの限りではない。
- 7 前2項の規定にかかわらず、理事会は、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく開催することができる。

(運営)

第19条 理事会に議長を置き、理事長をもって充てる。

- 2 前条第2項及び第4項並びに第29条第2項の規定に基づき理事会を招集した場合における理事会の議長は、出席理事の互選によって定める。理事長が決議について特別の利害関係を有する場合及び理事会を欠席した場合も、同様とする。

(決議)

第20条 理事会の決議は、法令及びこの寄附行為に別段の定めがある場合を除くほか、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

- 2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、議決に加わることができる理事の数の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。
  - (1) この寄附行為の変更
  - (2) 基本財産の処分
  - (3) 借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）
  - (4) 残余財産の帰属者の決定
  - (5) 収益を目的とする事業に関する重要な事項
- 3 前2項の規定にかかわらず、次の決議は、理事の総数の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。
  - (1) 私立学校法第109条第1項第1号に定める事由による解散
  - (2) この法人の合併
- 4 理事は、書面又は電磁的方法により理事会の議決に加わることができる。

#### (業務の決定の委任)

第21条 法令及びこの寄附行為の規定により理事会において決定しなければならない事項以外の決定であって、あらかじめ理事会において定めたものについては、理事会において指名した理事に委任することができる。

#### (議事録)

第22条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成しなければならない。

2 議事録には、議長、出席した理事のうちから互選された理事2人以上及び出席した監事が署名（電磁的記録により作成される議事録にあっては、電子署名。第48条第2項において同じ。）又は記名押印し、理事会の日から10年間、これを事務所に備えて置かなければならない。

### 第5章 監事

#### 第1節 選任及び解任等

##### (監事の選任)

第23条 監事は、評議員会の決議によって選任する。

2 前項の選任に当たっては、監事の独立性を確保し、かつ、利益相反を適切に防止することができる者を選任するものとする。  
3 評議員会は、監事の総数が2名を下回ることとなるときに備えて、補欠の監事を選任することができる。

##### (監事の資格)

第24条 監事の選任に当たっては、私立学校法第31条第3項及び第6項並びに第46条に規定する資格に関する要件を遵守しなければならない。

##### (監事の任期)

第25条 監事の任期は、選任後3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、任期の満了前に退任した監事の補欠として選任された監事の任期は、前任者の残任期間とすることができます。

2 監事は、再任されることができる。

##### (監事の解任及び退任)

第26条 監事が次の各号のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき

(3) 監事としてふさわしくない非行があったとき

2 監事の職務の執行に関し不正の行為又は法令若しくはこの寄附行為に違反する重大な事実があったにもかかわらず、当該監事を解任する旨の議案が評議員会において否決されたときは、評議員は、当該評議員会の日から30日以内に、訴えをもって当該監事の解任を請求することができる。

3 監事は次の事由によって退任する。

(1) 任期の満了

(2) 辞任

(3) 死亡

(監事の選任若しくは解任又は辞任に関する手続)

第27条 理事は、監事の選任に関する議案を評議員会に提出するには、監事の過半数の同意を得なければならない。

2 監事は、理事に対し、監事の選任を評議員会の会議の目的とすること又は監事の選任に関する議案を評議員会に提出することを請求することができる。

3 監事は、評議員会において、監事の選任若しくは解任又は辞任について意見を述べることができる。

4 監事を辞任した者は、辞任後最初に招集される評議員会に出席して、辞任した旨及びその理由を述べることができる。

5 理事は、前項の者に対し、同項の評議員会を招集する旨並びにその日時及び場所を通知しなければならない。

(監事に欠員を生じた場合の措置)

第28条 監事は、第6条に定める定数を下回ることとなったときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、後任の監事が選任されるまでは、なお、監事としての権利義務を有する。

2 監事のうち、その定数の2分の1を超えるものが欠けたときは、1か月以内に補充しなければならない。

## 第2節 職務等

(監事の職務)

第29条 監事は、次の各号に掲げる職務を行う。

(1) この法人の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況を監査すること。

- (2) この法人の業務及び財産の状況並びに理事の職務の執行の状況について、毎会計年度、監査報告を作成し、当該会計年度終了後3か月以内に理事会及び評議員会に提出すること。
  - (3) 理事会及び評議員会に出席して意見を述べること。
  - (4) この法人の業務若しくは財産又は理事の職務の執行の状況に関し不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実があることを発見したとき又は不正の行為がなされ、若しくは法令若しくは寄附行為の重大な違反が生ずるおそれがあると認めるときは、これを理事会及び評議員会並びに文部科学大臣に報告すること。
  - (5) 前号の報告をするために必要があるときは、理事長又は理事選任機関招集権者に対して理事会及び評議員会の招集を請求すること。
  - (6) 前各号に掲げるもののほか、法令又はこの寄附行為により監事が行うこととされた職務
- 2 前項第5号の請求があった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会又は評議員会の日とする理事会又は評議員会の招集の通知が発せられない場合には、その請求をした監事は、理事会又は評議員会を招集することができる。

(常勤監事の選定及び解職)

第30条 監事のうち1名を常勤監事とし、監事の過半数の合意をもって選定する。常勤監事を解職するときも、同様とする。

(調査権限等)

- 第31条 監事は、いつでも、理事及び職員に対して事業の報告を求め、又はこの法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
- 2 監事は、その職務を行うため必要があるときは、この法人の子法人に対して事業の報告を求め、又はその子法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。
- 3 監事は、その職務を行うため必要があるときは、会計監査人に対してその監査に関する報告を求めることができる。
- 4 監事は、理事が評議員会に提出しようとする議案、書類その他私立学校法施行規則で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの寄附行為に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を評議員会に報告しなければならない。

(理事の行為の差止め)

第32条 監事は、理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの寄附行為に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場

合において、当該理事の行為によってこの法人に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

## 第6章 評議員会及び評議員

### 第1節 評議員の選任及び解任等

#### (評議員の選任)

第33条 評議員は、次の各号に掲げる者とする。

- (1) この法人の職員のうちから理事会で選任した者 4名以上5名以内
  - (2) この法人の設置する学校を卒業した者で年齢25歳以上のもののうちから評議員会で選任した者 4名以上5名以内
  - (3) 前第1号及び第2号以外の者で4名以上6名以内のうちから半数（奇数の場合は小数点第一位以下を切り捨てる）を理事会で選出し、残数を評議員会で選任する。
- 2 理事会で選任する評議員の総数は、評議員の総数の半数（奇数の場合は小数点第一位以下を切り捨てる）までとする。
- 3 第1項第1号に定める評議員は、この法人の職員の地位を退いたときは評議員の職を失うものとする。
- 4 評議員会は、評議員の総数が12名を下回ることとなるときに備えて、補欠の評議員を選任することができる。
- 5 評議員の選任は、評議員の年齢、性別、職業等に著しい偏りが生じないよう配慮して行うものとする。
- 6 法令及びこの寄附行為に定めるもののほか、評議員会が選任する評議員の選任に関し必要な事項は、評議員選任規程において定める。

#### (評議員の資格)

第34条 評議員の選任に当たっては、私立学校法第31条第3項及び第6項、第46条第2項及び第3項並びに第62条に規定する資格及び構成に関する要件を遵守しなければならない。

#### (評議員の任期)

第35条 評議員の任期は、選任後3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、前任者の残任期間とすることができる。

- 2 評議員は、再任されることがある。

#### (評議員の解任及び退任)

第36条 評議員が次の各号のいずれかに該当するときは、当該評議員を選任したものとの決議によって解任することができる。

- (1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき
- (2) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき
- (3) 評議員としてふさわしくない非行があったとき

2 評議員は次の事由によって退任する。

- (1) 任期の満了
- (2) 辞任
- (3) 死亡

3 評議員は、第6条に定める定数を下回ることとなったときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、後任の評議員が選任されるまでは、なお、評議員としての権利義務を有する。

## 第2節 評議員会及び評議員の職務等

(評議員会の構成)

第37条 評議員会は、全ての評議員で組織する。

(評議員会の職務等)

第38条 評議員会は、この法人の業務若しくは財産の状況又は役員の業務執行の状況について、役員に対して意見を述べ、若しくはその諮問に答え、又は役員から報告を徴することができる。

2 理事会は、次の各号に掲げる事項についての決定をするときは、あらかじめ評議員会の意見を聴かなければならない。

- (1) 重要な資産の処分又は譲受け
- (2) 多額の借財
- (3) 予算及び事業計画並びに事業に関する中期的な計画の作成又は変更
- (4) 役員及び評議員に対する報酬等（報酬、賞与その他の職務遂行の対価として受ける財産上の利益及び退職手当をいう。以下同じ。）の支給の基準の策定又は変更
- (5) 収益事業に関する重要事項
- (6) 私立学校法第23条第1項第1号から第3号まで及び第5号から第15号までに定める事項を除く寄附行為の変更
- (7) 予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄
- (8) 寄附金品の募集に関する事項
- (9) その他この法人の業務に関する重要事項で理事会において必要と認めるもの

3 評議員会は、次の各号に掲げる事項について決議する。

- (1) 私立学校法第23条第1項第1号から第3号まで及び第5号から第15号までに関する寄附行為の変更
- (2) 私立学校法第109条第1項第1号に定める事由による解散
- (3) 合併

(理事の行為の差止めの求め)

第39条 評議員会は、理事がこの法人の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの寄附行為に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によってこの法人に回復することができない損害が生ずるおそれがあるときは、監事に対し、第32条の請求を行うことを求めることができる。

- 2 前項の場合において、当該行為によってこの法人に回復することができない損害が生ずるおそれがあるにもかかわらず、評議員会において前項の請求を行うことを監事に求める旨の決議が否決されたとき、又は当該請求を行うことを監事に求める旨の評議員会の決議があった後遅滞なく当該請求その他の手続が行われないときは、評議員は、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

(責任追及の訴えの求め)

第40条 評議員会は、役員、会計監査人又は清算人が任務を怠ったことによってこの法人に損害が生じた場合には、書面又は電磁的方法により、理事長（理事の責任を追及する場合には監事）に対し、役員、会計監査人又は清算人の責任を追及する訴えの提起を求めることができる。

### 第3節 評議員会の運営

(開催)

第41条 評議員会は、定時評議員会として毎会計年度終了後3か月以内に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第42条 評議員会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき理事長が招集する。

- 2 理事長が欠けたとき又は理事長に事故があるときは、代表業務執行理事若しくは理事長の指名する理事が評議員会を招集する。
- 3 評議員の総数の10分の1以上の評議員は、共同して、理事長に対し、評議員会の目的である事項及び招集の理由を示して、評議員会の招集を請求することができる。

4 評議員の総数の10分の1以上の評議員は、共同して、理事長に対し、一定の事項を評議員会の会議の目的とすることを請求することができる。この場合において、その請求は、評議員会の日の30日前までにしなければならない。

5 評議員会を招集する場合には、理事会において、次に掲げる事項を定め、評議員に対し、書面又は電磁的方法（評議員の承諾を得た場合に限る。）により通知しなければならない。

- (1) 会議の日時及び場所
- (2) 会議の目的である事項があるときは、当該事項
- (3) 会議の目的である事項に係る議案（当該目的である事項が議案となるものを除く。）について、議案が確定しているときはその概要、議案が確定していないときはその旨
- (4) 私立学校法施行規則で定める事項

6 前項の通知は、会議の1週間前までに発しなければならない。

（評議員による招集）

第43条 前条第3項の規定による請求があった日から30日以内の日を評議員会の日とする評議員会の招集の通知が発せられない場合には、同項の規定による請求をした評議員は、共同して、文部科学大臣の許可を得て、評議員会を招集することができる。

2 前項の評議員は、その全員の協議により、前条第5項各号に掲げる事項を定め、他の評議員に対し、書面又は電磁的方法（他の評議員の承諾を得た場合に限る。）により通知しなければならない。

3 前項の通知は、会議の1週間前までに発しなければならない。

（監事による招集）

第44条 第29条第2項の規定により監事が評議員会を招集する場合には、監事は第42条第5項第1号、第2号及び第4号に掲げる事項を定め、評議員に対し、書面又は電磁的方法（評議員の承諾を得た場合に限る。）により通知しなければならない。

2 前項の通知は、会議の1週間前までに発しなければならない。

（招集手続の省略）

第45条 前3条の規定にかかわらず、評議員会は、評議員の全員の合意があるときは、招集の手続を経ることなく開催することができる。

（運営）

第46条 評議員会に議長を置き、評議員の互選によって定める。

(決議)

第47条 評議員会の決議は、決議について特別の利害関係を有する評議員を除く評議員の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、議決に加わることができる評議員の数の3分の2以上に当たる多数をもって行わなければならない。

(1) 監事の解任

(2) 私立学校法第92条第1項に規定する決議

3 前2項の規定にかかわらず、役員又は会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任を免除する決議は、議決に加わることができると評議員の全員一致をもって行わなければならない。

4 評議員は、書面又は電磁的方法により評議員会の議決に加わることができる。

(議事録)

第48条 評議員会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成しなければならない。

2 議事録には、議長、出席した評議員のうちから互選された評議員2人以上及び出席した監事が署名又は記名押印し、評議員会の日から10年間、これを事務所に備えて置かなければならない。

(役員の出席等)

第49条 理事長、代表業務執行理事及び監事は、評議員会に出席しなければならない。

2 理事長、代表業務執行理事及び監事は、評議員会において、評議員から特定の事項について説明を求められた場合には、当該事項について必要な説明をしなければならない。

## 第7章 理事会と評議員会の協議

(理事会及び評議員会の協議)

第50条 法令又はこの寄附行為の定めるところにより理事会の決議及び評議員会の決議を必要とする事項について理事会と評議員会の決議が異なる場合、理事長は、更に審議を尽くすために、当該事項を会議の目的である事項として、再度評議員会を招集することができる。

2 理事長及び代表業務執行理事は、前項の評議員会に出席し、前項の事項に關し改めて必要な説明を行うものとする。

3 評議員会は、前項の理事の説明を十分に尊重して、再度決議を行わなければならない。

## 第8章 総長

(総長)

第51条 理事会は、この法人の業務に関し顕著な功績のあった者に対し、総長の称号を贈ることができる。

2 総長は、理事会の求めに応じ、この法人の運営について必要な助言を行う。

3 総長の任期は、3年以内とし、再任を妨げない。

## 第9章 会計監査人

### 第1節 選任及び解任等

(会計監査人の選任)

第52条 会計監査人は、評議員会の決議によって選任する。

(会計監査人の任期)

第53条 会計監査人の任期は、選任後1年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする。ただし、その定時評議員会において別段の決議がされなかったときは、再任されたものとみなす。

(会計監査人の解任)

第54条 会計監査人が次の各号のいずれかに該当するときは、評議員会の決議によって解任することができる。

(1) 職務上の義務に違反し、又は職務を怠ったとき

(2) 会計監査人としてふさわしくない非行があったとき

(3) 心身の故障のため、職務の執行に支障があり、又はこれに堪えないとき

2 監事は、会計監査人が、前項各号のいずれかに該当すると認めるときであって、評議員会の招集を待ついとまがないときその他緊急を要するときは、監事全員の合意により、会計監査人を解任することができる。この場合、監事の互選によって定めた監事は、会計監査人を解任した旨及び解任の理由を、解任後最初に招集される評議員会に報告しなければならない。

(会計監査人の選任及び解任等に関する手続)

第55条 評議員会に理事が提出する会計監査人の選任及び解任並びに会計監査人を再任しないことに関する議案の内容は、監事が決定する。

2 前項の規定による議案の内容の決定は、監事の過半数の合意によって行われなければならない。

- 3 会計監査人は、会計監査人の選任、解任若しくは不再任又は辞任について、評議員会に出席して意見を述べることができる。
- 4 会計監査人を辞任した者は、辞任後最初に招集される評議員会に出席して、辞任した旨及びその理由を述べることができる。
- 5 理事長は、前項の者に対し、評議員会を招集する旨並びにその日時及び場所を通知しなければならない。

(会計監査人に欠員を生じた場合の措置)

第56条 会計監査人が欠けた場合において、遅滞なく会計監査人が選任されないときは、監事は、一時会計監査人の職務を行うべき者を選任しなければならない。

## 第2節 会計監査人の職務等

(会計監査人の職務等)

第57条 会計監査人は、法令で定めるところにより、この法人の計算書類（貸借対照表及び収支計算書をいう。以下同じ。）及びその附属明細書並びに財産目録を監査して会計監査報告を作成し、監事及び理事会に提出する。

- 2 会計監査人は、いつでも、次に掲げる請求をし、又は理事及び職員に対し、会計に関する報告を求めることができる。
  - (1) 会計帳簿又はこれに関する資料が書面をもって作成されているときは、当該書面又は当該書面の写しの閲覧の請求
  - (2) 前号の書面の謄本又は抄本の交付の請求
  - (3) 会計帳簿又はこれに関する資料が電磁的記録をもって作成されているときは、当該電磁的記録に記録された事項を法令で定める方法により表示したものとの閲覧の請求
  - (4) 前号の電磁的記録に記録された事項を電磁的方法であってこの法人の定めたものにより提供することの請求又はその事項を記載した書面の交付の請求
- 3 会計監査人は、その職務を行うため必要があるときは、この法人の子法人に対して会計に関する報告を求め、又はこの法人若しくはその子法人の業務及び財産の状況の調査をすることができる。

## 第10章 予算及び事業計画等

(会計年度)

第58条 この法人の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わるものとする。

(予算、事業計画及び事業に関する中期的な計画)

第59条 この法人の予算及び事業計画は、毎会計年度開始前に、理事長が編成し、理事会で決議しなければならない。これに変更を加えようとするときも、同様とする。

2 この法人の事業に関する中期的な計画は、5年以上10年以内において理事会で定める期間ごとに、理事長が編成し、理事会で決議しなければならない。これに変更を加えようとするときも、同様とする。

(役員及び評議員の報酬)

第60条 役員及び評議員に対して、別に定める報酬等の支給の基準に従って算定した額を報酬等として支給することができる。

2 会計監査人に対する報酬等は、監事の過半数の同意を得て、理事会において定める。

(責任の免除)

第61条 役員又は会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がなく、その原因や職務執行状況などの事情を勘案して特に必要と認める場合には、役員又は会計監査人が賠償の責任を負う額から私立学校法第92条の規定に基づく最低責任限度額を控除して得た額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

2 理事は、前項の規定に基づく責任の免除（理事の責任の免除に限る。）に関する議案を理事会に提出するには、各監事の同意を得なければならない。

3 第1項の決議を行ったときは、理事長は、遅滞なく、私立学校法第92条第2項各号に掲げる事項及び責任を免除することに異議がある場合には2か月以内に当該異議を述べるべき旨を評議員に通知しなければならない。

4 評議員の総数の10分の1以上の評議員が前項の期間内に同項の異議を述べたときは、第1項の規定に基づく責任の免除をしてはならない。

5 第1項の決議があった場合において、当該決議後に同項の役員又は会計監査人に対し退職慰労金その他の私立学校法施行規則で定める財産上の利益を与えるときは、評議員会の決議による承認を受けなければならない。

(責任限定契約)

第62条 理事（理事長、代表業務執行理事及びこの法人の職員である理事を除く。以下この条において「非業務執行理事」という。）、監事又は会計監査人が任務を怠ったことによって生じた損害についてこの法人に対し賠償する責任は、当該非業務執行理事、監事又は会計監査人が職務を行うにつき善意でかつ重大な過失がないときは、金10万円以上であらかじめ定めた額と

私立学校法第92条の規定に基づく最低責任限度額とのいずれか高い額を限度とする旨の契約を非業務執行理事、監事又は会計監査人と締結することができる。

## 第11章 資産及び会計

### (資産)

第63条 この法人の資産は、財産目録記載のとおりとする。

### (資産の区分)

第64条 この法人の資産は、これを分けて基本財産、運用財産及び収益事業用財産とする。

- 2 基本財産は、この法人の設置する学校に必要な施設及び設備又はこれらに要する資金とし、財産目録中基本財産の部に記載する財産及び将来基本財産に編入された財産とする。
- 3 運用財産は、この法人の設置する学校の経営に必要な財産とし、財産目録中運用財産の部に記載する財産及び将来運用財産に編入された財産とする。
- 4 収益事業用財産は、この法人の収益を目的とする事業に必要な財産とし、財産目録中収益事業用財産の部に記載する財産及び将来収益事業用財産に編入された財産とする。
- 5 寄附金品については、寄附者の指定がある場合には、その指定に従って基本財産、運用財産又は収益事業用財産に編入する。

### (基本財産の処分の制限)

第65条 基本財産は、これを処分してはならない。ただし、この法人の事業の遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会の決議によって、その一部に限り処分することができる。

### (積立金の保管)

第66条 基本財産及び運用財産中の積立金は、確実な有価証券を購入し、又は確実な信託銀行に信託し、又は確実な銀行に定期預金とし、若しくは定額郵便貯金として理事長が保管する。

### (経費の支弁)

第67条 この法人の設置する学校の経営に要する費用は、基本財産並びに運用財産中の不動産及び積立金から生ずる果実、授業料収入、入学金収入、検定料収入その他の運用財産をもって支弁する。

### (会計)

第68条 この法人の会計は、学校法人会計基準により行う。

2 この法人の会計は、学校の経営に関する会計（以下「学校会計」という。）及び収益事業に関する会計（以下「収益事業会計」という。）に区分するものとする。

（予算外の新たな義務の負担又は権利の放棄）

第69条 予算をもって定めるものを除くほか、新たに義務の負担をし、又は権利の放棄をしようとするときは、理事会で決議しなければならない。借入金（当該会計年度内の収入をもって償還する一時の借入金を除く。）についても、同様とする。

（事業報告及び決算）

第70条 この法人の事業報告及び決算については、毎会計年度終了後、理事長が次の書類を作成し、監事の監査を受け、かつ、第3号から第5号までの書類について会計監査人の監査を受けた上で、理事会の承認を受けなければならない。

（1）事業報告

（2）事業報告の附属明細書

（3）計算書類

（4）計算書類の附属明細書

（5）財産目録

2 理事長は、前項の承認を受けた書類のうち、第1号、第3号及び第5号の書類の内容を定時評議員会に報告し、その意見を聽かなければならない。

3 収益事業会計の決算上生じた利益金は、その一部又は全部を学校会計に繰り入れなければならない。

（財産目録等の備置き及び閲覧等）

第71条 この法人は、毎会計年度終了後3か月以内に役員等名簿（役員及び評議員の氏名及び住所を記載した名簿をいう。以下第3項及び第77条第2号において同じ。）を作成しなければならない。

2 この法人は、前条第1項各号及び前項の書類、監査報告、会計監査報告、役員及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類並びにこの寄附行為を事務所に備えて置き、請求があった場合には、正当な理由がある場合を除いて、これを閲覧に供し又はこれらの書類の謄本若しくは抄本を交付しなければならない。

3 前項の規定にかかわらず、この法人は、役員等名簿について評議員以外の者から同項の請求があった場合には、役員等名簿に記載された事項中、個人の住所に係る記載の部分を除外して、同項の閲覧をさせ又は交付をすることができる。

#### (資産総額の変更登記)

第72条 この法人の資産総額の変更は、毎会計年度末の現在により、会計年度終了後3か月以内に登記しなければならない。

### 第12章 寄附行為の変更

#### (寄附行為の変更)

第73条 この寄附行為を変更しようとするときは、理事会の決議及び評議員会の決議（私立学校法第23条第1項第1号から第3号まで及び第5号から第15号に定める事項を除く寄附行為の変更にあっては、評議員会への諮問。次項において同じ。）を得て、文部科学大臣の認可を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、私立学校法施行規則に定める届出事項については、理事会の決議及び評議員会の決議を得て、文部科学大臣に届け出なければならない。

### 第13章 解散及び合併

#### (解散)

第74条 この法人は、次の各号に掲げる事由によって解散する。

- (1) 理事会の決議及び評議員会の決議による決定
- (2) この法人の目的たる事業の成功的不能
- (3) 合併
- (4) 破産手続開始の決定
- (5) 文部科学大臣の解散命令

2 前項第1号又は第2号に掲げる事由による解散は、文部科学大臣の認可を受けなければならない。

#### (残余財産の帰属者)

第75条 この法人が解散した場合（合併又は破産手続開始の決定によって解散した場合を除く。）における残余財産は、解散のときにおける理事会の決議により選定した学校法人又は教育の事業を行う公益社団法人若しくは公益財団法人に帰属する。

#### (合併)

第76条 この法人が合併しようとするときは、理事会の決議及び評議員会の決議を得て、文部科学大臣の認可を受けなければならない。

### 第14章 補則

(情報の公表)

第77条 この法人は、次の各号に掲げる場合の区分に応じ、遅滞なく、インターネットの利用により、当該各号に定める事項を公表しなければならない。

- (1) 寄附行為若しくは寄附行為変更の認可を受けたとき、又は寄附行為変更の届出をしたとき 寄附行為の内容
- (2) 計算書類及び事業報告書並びにこれらの附属明細書、監査報告、会計監査報告、財産目録、役員等名簿並びに役員及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類を作成したとき これらの書類の内容

(公告の方法)

第78条 この法人の公告は、この法人のホームページに掲載する方法により行う。

(施行細則)

第79条 この寄附行為の施行についての細則その他この法人及びこの法人の設置する学校の管理及び運営に関し必要な事項は、理事会が定める。

附 則

この法人合併当初の役員は、次のとおりとする。

理事長 人見圓吉  
理事 保坂みやた  
同 坂本由五郎  
同 玉井幸助  
同 人見楠郎  
同 上井磯吉  
同 松平俊子  
監事 和田ツヤコ  
同 尾崎克孝

附 則

この寄附行為は、文部大臣の認可の日（昭和六十一年三月十八日）から施行する。

附 則

この寄附行為は文部大臣の認可の日（平成元年三月十七日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部大臣の認可の日（平成三年十二月二十日）から施行す

る。

#### 附 則

この寄附行為は、文部大臣の認可の日（平成四年三月十六日）から施行する。

#### 附 則

平成五年十二月二十一日文部大臣認可のこの寄附行為は、平成六年四月一日から施行する。

ただし、家政学部は、名称変更後の寄附行為第四条第一項の規定にかかわらず、平成六年三月三十一日に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。（家政学部存続に関する経過処置）

#### 附 則

この寄附行為は、文部大臣認可の日（平成七年六月五日）から施行する。

#### 附 則

この寄附行為は、文部大臣の認可の日（平成9年3月17日）から施行する。

#### 附 則

この寄附行為は、文部大臣の認可の日（平成10年2月19日）から施行する。

ただし、生活美学科は、名称変更後の寄附行為第4条第一号の規定にかかわらず、平成10年3月31日に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。

（生活美学科存続に関する経過処置）

#### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成13年3月16日）から施行する

#### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成13年8月1日）から施行する

#### 附 則

平成13年8月1日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、平成14年4月1日から施行する。

#### 附 則

平成14年6月18日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、平成15年4月1日から施行する。

ただし、文学部日本文学科、英米文学科、心理学科及び日本文化史学科は、名称変更後の寄附行為第4条第一号の規定にかかわらず、平成15年3月31日に在学する者が当該学部学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。（文学部日本文学科、英米文学科、心理学科及び日本文化史学科存続に関する経過処

置)

附 則

平成14年7月30日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

平成14年12月19日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、平成15年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成16年3月30日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、理事会承認日（平成16年10月21日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成17年3月30日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成17年12月5日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成18年4月1日から施行する。（昭和女子大学短期大学部初等教育学科の存続に関する経過措置）昭和女子大学短期大学部初等教育学科は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかわらず平成18年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間存続するものとする。

附 則

平成18年7月31日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、平成18年8月28日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成19年4月1日から施行する。（短期大学部文化創造学科第一部存続に関する経過措置）昭和女子大学短期大学部文化創造学科第一部は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかわらず平成19年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この寄附行為は、平成20年4月1日から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、平成21年4月1日から施行する。（昭和女子大学人間社会学部福祉環境学科、生活科学部生活環境学科及び生活科学部生活科学科存続に関する経過措置）昭和女子大学人間社会学部福祉環境学科、生活科学部生活環境学科及び生活科学部生活科学科は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかわらず平成21年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

### 附 則

この寄附行為は、平成22年4月1日から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、平成22年10月21日から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、平成23年4月1日から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成23年5月24日）から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、平成25年4月1日から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成25年8月21日）から施行する。

### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成26年8月29日）から施行する。

### 附 則

平成28年4月1日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、平成28年4月1日から施行する。

### 附 則

1 理事長の下に、当分の間、総長を置く。

2 総長は、理事の中から理事長が指名する。この場合において、理事会の承認を得なければならない。

3 総長は、次に掲げる職務を掌理する。

(1) 大学及び附属校の将来構想に係る企画の策定、推進及び運営

(2) 国際連携

(3) ダイバーシティ推進

(4) その他、理事会において決議した事項

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成28年7月13日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（平成28年10月21日）から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成29年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、平成30年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

令和2年3月26日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

令和3年1月15日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和3年4月1日から施行する。

附 則

この寄附行為は、令和3年4月1日から施行する。（昭和女子大学生活科学部環境デザイン学科、生活科学部健康デザイン学科、生活科学部管理栄養学科及び生活科学部食安全マネジメント学科の存続に関する経過措置）

生活科学部環境デザイン学科、生活科学部健康デザイン学科、生活科学部管理栄養学科及び生活科学部食安全マネジメント学科は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかわらず令和3年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

附 則

この寄附行為は、令和4年4月1日から施行する。

附 則

令和4年8月31日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和5年4月1日から施行する。

附 則

令和5年1月23日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和5年4月6日から施行

する。

#### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（令和5年2月3日）から施行する。

#### 附 則

平成28年7月13日施行の附則1項から3項までを失効とする。

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（令和5年8月9日）から施行する。

#### 附 則

令和6年5月15日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和6年7月1日から施行する。

この寄附行為の施行の際、現に在任する役員又は評議員であって、令和7年度の定時評議員会の日より前に任期が満了するものの任期については、その終期を令和7年度の定時評議員会の終結の時まで伸長する。

#### 附 則

1 令和6年9月3日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和7年4月1日から施行する。ただし、会計監査人及び常勤監事に関する規定は、令和7年度の定時評議員会の終結の時から施行する。

2 この寄附行為の施行の際現に在任する役員及び評議員の定数、資格及び構成については、令和7年度の定時評議員会の終結の時までは、なお従前の例による。この場合において、理事と評議員を兼職する者については、当該終結の時に、この法人と協議の上、理事又は評議員のいずれかを辞任しなければならない。

3 この寄附行為の施行の際現に在任する役員又は評議員であって、私立学校法第31条、第46条及び第62条の資格及び構成を満たすものの任期は、残任期間と同一の期間とする。ただし、当該期間の満了の時が令和9年度の定時評議員会の終結の時以後である場合は、当該終結の時までとする。

4 前項の理事又は評議員の解任は、なお従前の例による。

#### 附 則

この寄附行為は、文部科学大臣の認可の日（令和6年11月15日）から施行する。

#### 附 則

この寄附行為は、令和7年4月1日から施行する。

（昭和女子大学国際学部英語コミュニケーション学科の存続に関する経過措置）

国際学部英語コミュニケーション学科は、改正後の寄附行為第4条の規定にかかる

らず令和7年3月31日に当該学科に在学する者が当該学科に在学しなくなるまでの間、存続するものとする。

#### 附 則

令和7年3月11日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和7年4月1日から施行する。

#### 附 則

この寄附行為は、理事会承認の日（令和7年5月22日）から施行する。

## 新 旧 の 比 較 対 照 表

新	旧
第2章 目的及び設置する学校	第2章 目的及び設置する学校
第4条 この法人は、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。	第4条 この法人は、前条に規定する目的を達成するため、次に掲げる学校を設置する。
(1) 昭和女子大学	(1) 昭和女子大学
昭和女子大学大学院 文学研究科	昭和女子大学大学院 文学研究科
生活機構研究科	生活機構研究科
福祉社会・経営研究科（専門職大学院）	福祉社会・経営研究科（専門職大学院）
人間文化学部 日本語日本文学科	人間文化学部 日本語日本文学科
歴史文化学科	歴史文化学科
国際学部 国際教養学科	国際学部 国際教養学科
国際日本学科	国際日本学科
国際学科	国際学科
グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科	グローバルビジネス学部 ビジネスデザイン学科
会計ファイナンス学科	会計ファイナンス学科
人間社会学部 心理学科	人間社会学部 心理学科
福祉社会学科	福祉社会学科
現代教養学科	現代教養学科
初等教育学科	初等教育学科
環境デザイン学部 環境デザイン学科	環境デザイン学部 環境デザイン学科
食健康科学部 健康デザイン学科	食健康科学部 健康デザイン学科
管理栄養学科	管理栄養学科
食安全マネジメント学科	食安全マネジメント学科 <u>（新設）</u>
総合情報学部 <u>データサイエンス学科</u> <u>デジタルイノベーション学科</u>	
(2) 昭和女子大学附属昭和高等学校 全日制の課程 普通科	(2) 昭和女子大学附属昭和高等学校 全日制の課程 普通科
(3) 昭和女子大学附属昭和中学校	(3) 昭和女子大学附属昭和中学校
(4) 昭和女子大学附属昭和小学校	(4) 昭和女子大学附属昭和小学校
(5) 昭和女子大学附属昭和こども園	(5) 昭和女子大学附属昭和こども園
(6) プリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和	(6) プリティッシュ・スクール・イン・トウキョウ昭和
<u>附 則</u> 令和 年 月 日文部科学大臣認可のこの寄附行為は、令和8年 <u>4月1日から施行する。</u>	

## 経費の見積り及び資金計画を記載した書類

設置経費及び経常経費並びにその支払い計画を記載した書類									
年 度 分		令和6年度	開設年度の前年度	開設年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	合 計	
設置 経費	校 地 (うち造成費)	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	施 設 基 準 内	—	640,277千円	0千円	11,226千円	0千円	0千円	651,503千円	
	施 設 基 準 外	—	—	—	—	—	—	—	
	設 備 図 書	—	—	—	—	—	—	—	
	設 備 教 具 校 具 備 品		534,431千円	0千円	74,140千円	0千円	0千円	608,571千円	
	小 計		1,174,708千円	0千円	85,366千円	0千円	0千円	1,260,074千円	
新設校の開設年度の経常経費									
合 計		1,174,708千円	0千円	85,366千円	0千円	0千円	1,260,074千円		

既 設 校 転 用 共 用 から	施 設 基 準 内	1,040,890 千円
	基 準 外	— 千円
	設 備 図 書	73,168 千円
	教具・校具・備品	— 千円

設置経費及び経常経費の財源の調達方法を記載した書類		
区分	財源充当額	財源の調達方法
現金預金	257,275千円	2023年度までに学納金等事業活動収入から積み立てられた現金預金11,614,514千円のうち257,275千円を財源に充当
補助金収入	1,002,799千円	大学・高専成長分野転換支援基金助成金1,002,799千円を財源に充当
合計	1,260,074千円	

## 財産の一覧(総括表)

年 度 科 目	2022年度末 (開設年度から3年前の年度)	2023年度末 (開設年度の前々年度)	申請時 (2025年3月31日)
一 基本財産	30,199,300 千円	29,784,817 千円	29,183,659 千円
二 運用財産	29,870,279 千円	31,820,113 千円	34,132,718 千円
三 負債額	7,192,011 千円	7,175,437 千円	7,635,447 千円
1 固定負債	3,063,243 千円	2,964,721 千円	3,111,597 千円
2 流動負債	4,128,768 千円	4,210,716 千円	4,523,850 千円
四 基本財産+運用財産	60,069,579 千円	61,640,929 千円	63,316,377 千円
五 純資産(四-三)	52,877,569千円	54,429,493千円	55,680,930千円

## 貸借対照表

2025年3月31日

(単位 円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定資産</b>	48,006,996,200	47,733,304,594	273,691,606
<b>有形固定資産</b>	29,363,593,998	29,965,620,942	△ 602,026,944
<b>特定資産</b>	12,722,515,924	11,802,359,549	920,156,375
<b>その他の固定資産</b>	5,920,886,278	5,965,324,103	△ 44,437,825
<b>流動資産</b>	15,309,381,026	13,871,624,825	1,437,756,201
<b>資産の部合計</b>	63,316,377,226	61,604,929,419	1,711,447,807
負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>固定負債</b>	3,111,596,706	2,964,720,803	146,875,903
<b>流動負債</b>	4,523,850,187	4,210,715,860	313,134,327
<b>負債の部合計</b>	7,635,446,893	7,175,436,663	460,010,230
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
<b>基本金</b>	59,067,661,125	58,550,682,480	516,978,645
<b>第1号基本金</b>	58,140,661,125	57,623,682,480	516,978,645
<b>第4号基本金</b>	927,000,000	927,000,000	0
<b>繰越収支差額</b>	△ 3,386,730,792	△ 4,121,189,724	734,458,932
<b>純資産の部合計</b>	55,680,930,333	54,429,492,756	1,251,437,577
<b>負債及び純資産の部合計</b>	63,316,377,226	61,604,929,419	1,711,447,807

## 事業計画及びこれに伴う予算書

## 事業計画

## 1 施設又は設備の整備計画

年度	事項	事業規模等	実施時期	備考
令和7年度	事業用建物・同敷地購入	建物:鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根地下1階付7階建 (延床面積745.27m <sup>2</sup> ) 敷地:146.88m <sup>2</sup>	令和7年5月	法人用建物
	留学生寮賃貸借	建物:鉄筋コンクリート造地上4階建 (延床面積1,866.96m <sup>2</sup> )	契約開始 令和7年8月予定 (10年)	借用校舎
	収益事業用建物耐震補強工事	建物:鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根4階建 (延床面積430.57m <sup>2</sup> )	令和7年9月予定	法人用建物
	倉庫・同敷地購入	建物:木造スレート葺2階建 (延床面積41.85m <sup>2</sup> ) 土地:36.20m <sup>2</sup>	令和7年10月予定	法人用建物
令和7年度 令和9年度	総合情報学部(仮称)設置に 伴う設置経費	改築対象建物・フロア  10号館 2235.68m <sup>2</sup> 1号館5F 274.9m <sup>2</sup>  教具・校具・備品  AV機器(10・1号館) 420点 教室什器(10・1号館) 85点 事務什器(10号館) 41点 その他教具 76点 複合機 2点	改築 10号館 令和7年8月着工 令和8年3月完成予定 1号館 令和9年8月着工 令和10年3月完成予定  教具・校具・備品 10号館 令和7年10月～ 令和8年3月購入予定 1号館 令和10年2・3月購入予定	1号館 大学共用  10号館 申請学部専用
令和8年度	付随事業開始に伴う土地・ 建物賃貸借	建物:木造スレート葺2階建 現況鉄骨造2階建 (延床面積432.25 m <sup>2</sup> ) 敷地:1,214.64 m <sup>2</sup>	契約開始 令和8年4月予定 (20年)	借用校舎
令和8年度 令和9年度	南体育館建設	建物:RC造、一部S造 地下1階・地上2階 (延床面積2,700m <sup>2</sup> ) ※見込	令和8年7月～ 令和10年9月予定	中学校・高校体育館
令和10年度	旧体育館解体	建物:鉄骨鉄筋コンクリート造 陸屋根2階建 (延床面積1,257m <sup>2</sup> )	令和10年10月予定	中学校・高校体育館

## 様式第10号その1(第13条関係)

## 資金収支予算決算総括表

(収入の部)

年 度 科 目	開設年度 (2026年度)	2027年度	2028年度	完成年度 (2029年度)
	新設校分	新設校分	新設校分	新設校分
学生生徒納付金収入	197,516	351,032	504,548	658,064
手数料収入	3,650	3,650	3,650	3,650
寄付金収入	0	0	0	0
補助金収入	2,000	4,000	6,000	8,000
資産売却収入	0	0	0	0
付随事業・収益事業収入	2,000	2,000	2,000	2,000
受取利息・配当金収入	0	0	0	0
雑収入	2,000	2,000	2,000	2,000
借入金等収入	0	0	0	0
前受金収入	0	0	0	0
その他の収入	0	0	0	0
資金収入調整勘定	0	0	0	0
前年度繰越支払資金	0	0	0	0
収入の部合計	207,166	362,682	518,198	673,714

(支出の部)

年 度 科 目	開設年度 (2026年度)	2027年度	2028年度	完成年度 (2029年度)
	新設校分	新設校分	新設校分	新設校分
人件費支出	94,247	141,370	188,494	235,617
教育研究経費支出	56,677	113,354	170,031	226,708
管理経費支出	13,916	27,832	41,748	55,664
借入金等利息支出	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0
施設関係支出	0	0	0	0
設備関係支出	7,350	7,350	7,350	7,350
資産運用支出	0	0	0	0
その他の支出	0	0	0	0
〔 予備費 〕	0	0	0	0
資金支出調整勘定	0	0	0	0
翌年度繰越支払資金	0	0	0	0
支出の部合計	172,190	289,906	407,623	525,339

## 事業活動収支予算決算総括表

(単位 千円)

科 目		年 度	開設年度(2026年度)	2027年度	2028年度	完成年度(2029年度)
			新設校分	新設校分	新設校分	新設校分
教育活動収支	学生生徒等納付金		197,516	351,032	504,548	658,064
	手数料		3,650	3,650	3,650	3,650
	寄付金		0	0	0	0
	経常費等補助金		2,000	4,000	6,000	8,000
	付隨事業収入		2,000	2,000	2,000	2,000
	雑収入		2,000	2,000	2,000	2,000
	教育活動収入 計		207,166	362,682	518,198	673,714
	人件費		94,247	141,370	188,494	235,617
	教育研究経費		56,677	114,354	171,031	227,708
	管理経費		13,916	27,832	41,748	55,664
教育活動外収支	徴収不能額等		0	0	0	0
	教育活動支出 計		164,840	283,556	401,273	518,989
	教育活動収支差額		42,326	79,126	116,925	154,725
	受取利息・配当金		0	0	0	0
	その他の教育活動外収入		0	0	0	0
教育活動外支出	教育活動外収入 計		0	0	0	0
	借入金等利息		0	0	0	0
	その他の教育活動外支出		0	0	0	0
	教育活動外支出 計		0	0	0	0
	教育活動外収支差額		0	0	0	0
経常収支差額			42,326	79,126	116,925	154,725
特別収支	資産売却差額		0	0	0	0
	その他の特別収入		0	0	0	0
	特別収入 計		0	0	0	0
	資産処分差額		0	0	0	0
	その他の特別支出		0	0	0	0
特 別 支 出	特別支出 計		0	0	0	0
	特別収支差額		0	0	0	0
〔 予備費 〕			0	0	0	0
基本金組入前当年度収支差額			42,326	79,126	116,925	154,725
基本金組入額合計			0	0	0	0
当年度収支差額			42,326	79,126	116,925	154,725
前年度繰越収支差額			0	0	0	0
基本金取崩額			0	0	0	0
翌年度繰越収支差額			0	0	0	0

(参考)

事業活動収入 計	207,166	362,682	518,198	673,714
事業活動支出 計	164,840	283,556	401,273	518,989

令和8年度開設予定の大学の学部等の設置に係る学校法人の寄附行為変更の認可申請に関する学校法人分科会の意見に対する回答について  
(学生の確保の見通し)

学校法人名等	大学名等	学部・学科・研究科名
学校法人昭和女子大学	昭和女子大学	総合情報学部

## 1. (意見)

アンケート調査の対象地域が、新設組織が想定する学生募集地域と異なるため、両者の地域を合わせた上で分析すること。

(回答)

今回の意見を受け、主な学生募集地域 5 都県のみに限定して、再度分析を行った。【追加資料 1】

なお、本学の主な学生募集地域は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県であり、令和 6 年度における出身高校の所在地県別入学者数の構成比は、全体の 82.4%を占めている。

## 2. (意見)

アンケート調査について、指定する方法によるクロス集計の結果、複数の新設学科に回答したものをお重複せずに集計し、新設組織の入学定員を超えているとしているが、重複回答の各学科への振り分け方法が不明確であるため説明した上で、改めて入学定員を充足する具体的な根拠を示すこと。

(回答)

## 《重複回答の振り分け》

重複回答の各学科への振り分け方法については、「データサイエンス学科の入学定員 110%を満たすよう計上し、残りをデジタルイノベーション学科に振り分ける」としていた。本学では複数学科出願制度を設けており、データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の両方に出願することが可能であるという実態を反映させたものである。

なお、上述の振り分け方法に加え、以下のとおり、新たな振り分け方法による検証を行った。

「入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）」に基づいて改めて振り分けを実施した。なお、意見 1 への回答のとおり、主な学生募集地域 5 都県のみに限定している。【追加資料 1】

その結果、総合情報学部に対応する学問分野に关心があり、「第一志望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択した者（以降、「入学意向者」という）の件数は、データサイエンス学科 65 件、デジタルイノベーション学科 34 件となった。

## 《入学定員の妥当性》

データサイエンス学科は、主な学生募集地域における入学意向者数が予定する入学定員 60 名を超えていることから、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

一方、デジタルイノベーション学科は入学定員 50 名を満たしていない状況である。

この状況を受け、デジタルイノベーション学科について追加のアンケート調査を実施し、再集計を行った。【追加資料2】

この追加アンケート結果を加味したところ、デジタルイノベーション学科の主な学生募集地域における入学意向者数は、46件となった。

#### 《デジタルイノベーション学科における入学定員の妥当性及び充足根拠》

デジタルイノベーション学科について、入学定員数の妥当性及び定員充足の根拠を示す。

デジタルイノベーション学科の定員数50名における、本学の全入学者に対する主な学生募集地域の出身高校所在地県別の入学者構成比（令和6年度）82.4%は、42件に相当する。【追加資料3】

デジタルイノベーション学科の主な学生募集地域における入学意向者数は46件であり、42件を超えている。このことから入学定員数以上の学生確保が十分見込まれる。

また、当初のアンケートでのデジタルイノベーション学科の主な学生募集地域以外における入学意向者数は15件である。【追加資料4】

これを含めると、合計61件となり、入学定員50名を超える結果となる。

以上のことから、デジタルイノベーション学科の入学意向者数は入学定員を超えていたため、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

加えて、本学では複数学科受験制度を利用する受験生が多い。例えば、令和7年度入試においては、3回の一般入試における実際の受験者数に対する志願者総数は133.2%となっており、これはおよそ3割の学生が複数学科に出願していることを示している。アンケート結果では、両方の学科を第一志望とする学生が多いため、総合情報学部においても、複数学科出願制度を利用して両学科を併願する受験生が多数いることが見込まれる。このため、実際の入試においても、問題なく定員の充足が見込めると考えられる。

さらに、本学の実態として、入学者には、第一志望以外の志望者も含まれる。

これに該当するデジタルイノベーション学科のアンケート調査結果は、以下のとおりである。

#### 【アンケート調査結果】

総合情報学部に対応する学問分野に関心があり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択し、且つ「入学する」「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した者（以降、「入学意向者（第二志望以降）」という）の件数は、137件（16件【追加資料2】+121件【追加資料5】）である。

#### 【新入生アンケート】

本学の新入生全員を対象としたアンケートにて志望順位を確認している。令和6年度入学者の志望順位状況は【追加資料6】のとおりである。

また、本学の合格者数、入学者数及び【追加資料6】から、令和6年度における本学を第二志望以降で志望した合格者の入学率は18.2%である。【追加資料7】

【アンケート調査結果】【新入生アンケート】から、デジタルイノベーション学科の入学意向者（第二志望以降）は137件であり、このうちの18.2%が入学すると仮定すると24件に相当する。これを元々の入学意向者数に加えると、70件（46件+24件）となり、予定する入学定員を超えていたことから、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

#### 3. (意見)

上記の審査意見のとおり、学生確保の見通しに関して、設定する定員が充足するか不明確であるため、新たな根拠に基づき学生確保の見通しがあることを説明し、設定する定員の妥当性を明らかにすることが難しい場合は、定員を見直すこと。

(回答)

上記の回答のとおり、データサイエンス学科、デジタルイノベーション学科ともに定員充足が見込まれており、入学定員数は妥当である。

※ 回答に関し、参考となる資料等がある場合は、必要に応じて添付してください。

**昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称: 設置構想中)  
設置に関する受容性調査 再集計  
【高校生】**

株式会社日本ドリコム  
令和7年5月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	6
3 属性等	8
4 受験意向・入学意向	9

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とすることを目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和6年7月1日～令和6年12月25日

- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査

令和6年7月～10月

- ・WEBインターネット調査（全国の高校2年生・女子を対象に実施）

令和6年11月～12月

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校2年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学オープンキャンパス参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。WEBインターネット調査については、全国の高校2年生・女子を対象に、回答者の属性管理等について一定の品質が保たれているLINEアンケートパネルを利用し調査を実施した。

### (4) 有効回答数 12,711件

- ・高等学校への依頼による調査（11,515件）
- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査（251件）
- ・WEBインターネット調査（945件）

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

(7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校2年生の女子生徒について、有効回答12,711件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答12,711件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答者は1,103件であり、募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者のみで集計した場合は923件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参照し、適宜選択しとして設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、総合情報学部データサイエンス学科65件、総合情報学部デジタルイノベーション学科35件であった。

尚、複数の学科にて、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」と回答したものは、ダブルカウントせずに、いずれか一つの学科・専攻のみで集計している。

#### ■総合情報学部 データサイエンス学科

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14.0%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	4	0.4%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	65	50. 4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3. 9%
入学しない	1	0. 8%
未回答	31	24. 0%
重複回答	27	20. 9%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したもののうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

■総合情報学部 デジタルイノベーション学科

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	34	44. 7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13. 2%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%
重複回答	32	42. 1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したもののうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	12711	割合
女性	12711	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	12711	割合
高校 3 年生	-	- %
高校 2 年生	12711	100.0%
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	12711	割合
東京都	4369	34.4%
神奈川県	2335	18.4%
千葉県	1774	14.0%
埼玉県	922	7.3%
その他（茨城県）	458	3.6%
その他（茨城県以外）	2846	22.4%
未回答	7	0.1%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した11,398件の内、設置者「私立」の回答は9,213件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	12711	割合
大学	11398	89.7%
短期大学	676	5.3%
専門職大学	381	3.0%
専門職短期大学	113	0.9%
専門学校	1677	13.2%
就職	383	3.0%
その他	93	0.7%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	11398	割合
私立	9213	80.8%
公立	2887	25.3%
国立	3312	29.1%
その他	74	0.6%

## (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学 等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス 等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は923件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県 923件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学 等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス 等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学 等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学 等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学 等)	449	4.9%
保健(医学、看護学 等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学 等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学 等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽 等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

### (3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 を 感 じる	ど ら と え 魅 力 を 感 じる	ち か い ば 魅 力 を 感 じ い	魅 力 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	1103	29.7%	45.8%	9.2%	6.8%	8.4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	1103	42.9%	36.9%	6.3%	5.4%	8.4%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	1103	33.3%	41.5%	10.1%	6.6%	8.5%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	1103	36.1%	40.7%	9.0%	5.6%	8.6%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	1103	34.4%	41.4%	10.2%	5.5%	8.4%	

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が129件、そのうち65件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した59件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14. 0%
第二志望として受験する	28	3. 0%
第三志望以降として受験する	139	15. 1%
受験しない	623	67. 5%
未回答	4	0. 4%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	65	50. 4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3. 9%
入学しない	1	0. 8%
未回答	31	24. 0%
重複回答	27	20. 9%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

#### ■ 受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	65	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	24	125
入学しない	1	4	13
重複回答	27	-	-

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が76件、そのうちデジタルイノベーション学科に35件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した59件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8.2%
第二志望として受験する	58	6.3%
第三志望以降として受験する	138	15.1%
受験しない	637	69.0%
未回答	14	1.5%

### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	34	44.7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13.2%
入学しない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
重複回答	32	42.1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	35	10	7
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	45	121
入学しない	0	3	9
重複回答	32	-	-

## 資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 1,161校（順不同）

### 選定の根拠

昭和女子大学への入学実績のある高等学校及びオープンキャンパス参加者実績のある高等学校

北海道札幌西高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校	秋田県立秋田中央高等学校
北海道札幌北高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	秋田県立秋田西高等学校
北海道札幌月寒高等学校	岩手県立盛岡第四高等学校	秋田県立湯沢翔北高等学校
北海道札幌啓成高等学校	岩手県立黒沢尻北高等学校	山形県立山形東高等学校
北海道札幌白石高等学校	岩手県立一関第一高等学校	山形県立山形西高等学校
市立札幌旭丘高等学校	岩手県立大船渡高等学校	山形県立山形北高等学校
市立札幌清田高等学校	岩手県立遠野高等学校	山形市立商業高等学校
北海道岩見沢東高等学校	岩手県立宮古高等学校	山形県立米沢東高等学校
北海道網走南ヶ丘高等学校	岩手県立釜石高等学校	山形県立庄内総合高等学校
北海道室蘭清水丘高等学校	盛岡白百合学園高等学校	山形県立酒田東高等学校
北海道帯広柏葉高等学校	盛岡大学附属高等学校	山形県立酒田西高等学校
北海道釧路湖陵高等学校	宮城県佐沼高等学校	惺山高等学校
北海道静内農業高等学校	宮城県石巻高等学校	東海大学山形高等学校
市立札幌新川高等学校	宮城県泉高等学校	福島県立福島高等学校
北海道札幌国際情報高等学校	宮城県宮城第一高等学校	福島県立安積黎明高等学校
市立札幌開成中等教育学校	宮城県仙台二華高等学校	福島県立白河高等学校
藤女子高等学校	宮城県古川黎明高等学校	福島県立白河旭高等学校
北星学園女子高等学校	宮城県仙台南高等学校	福島県立会津高等学校
札幌新陽高等学校	宮城県泉館山高等学校	福島県立葵高等学校
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	宮城県宮城野高等学校	福島県立喜多方高等学校
札幌聖心女子学院高等学校	仙台市立仙台青陵中等教育学校	福島県立磐城高等学校
遺愛女子高等学校	宮城県気仙沼高等学校	福島県立磐城桜が丘高等学校
帯広大谷高等学校	仙台育英学園高等学校	福島県立原町高等学校
札幌日本大学高等学校	宮城学院高等学校	福島県立郡山高等学校
青森県立青森高等学校	仙台白百合学園高等学校	福島県立福島東高等学校
青森県立青森東高等学校	尚絅学院高等学校	福島成蹊高等学校
青森県立青森南高等学校	常盤木学園高等学校	桜の聖母学院高等学校
青森県立弘前高等学校	聖ウルスラ学院英智高等学校	郡山女子大学附属高等学校
青森県立弘前中央高等学校	聖ドミニコ学院高等学校	尚志高等学校
青森県立八戸東高等学校	秋田県立秋田北高等学校	日本大学東北高等学校
青森県立八戸北高等学校	秋田県立秋田南高等学校	福島県磐城第一高等学校
青森県立八戸西高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	茨城県立日立第一高等学校
東奥義塾高等学校	秋田県立能代高等学校	茨城県立日立第二高等学校
弘前学院聖愛高等学校	秋田県立本荘高等学校	茨城県立多賀高等学校
青森明の星高等学校	秋田県立湯沢高等学校	茨城県立水戸第一高等学校

茨城県立水戸第二高等学校	岩瀬日本大学高等学校	群馬県立高崎北高等学校
茨城県立水戸第三高等学校	つくば国際大学東風高等学校	群馬県立太田東高等学校
茨城県立緑岡高等学校	栃木県立宇都宮東高等学校	群馬県立高崎東高等学校
茨城県立鉢田第一高等学校	栃木県立宇都宮南高等学校	高崎市立高崎経済大学附属高等学校
茨城県立鹿島高等学校	栃木県立宇都宮女子高等学校	群馬県立伊勢崎高等学校
茨城県立土浦第一高等学校	栃木県立宇都宮商業高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
茨城県立土浦第二高等学校	栃木県立鹿沼高等学校	群馬県立富岡高等学校
茨城県立土浦第三高等学校	栃木県立石橋高等学校	群馬県立桐生高等学校
茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	栃木県立小山高等学校	共愛学園高等学校
茨城県立取手第一高等学校	栃木県立栃木女子高等学校	新島学園高等学校
茨城県立藤代高等学校	栃木県立佐野高等学校	高崎商科大学附属高等学校
茨城県立下館第一高等学校	栃木県立足利高等学校	関東学園大学附属高等学校
茨城県立下館第二高等学校	栃木県立真岡女子高等学校	東京農業大学第二高等学校
茨城県立下妻第一高等学校	栃木県立大田原女子高等学校	樹徳高等学校
茨城県立水海道第一高等学校	栃木県立矢板東高等学校	高崎健康福祉大学高崎高等学校
茨城県立古河第二高等学校	栃木県立宇都宮北高等学校	ぐんま国際アカデミー高等部
茨城県立古河第三高等学校	栃木県立鹿沼東高等学校	筑波大学附属坂戸高等学校
茨城県立境高等学校	栃木県立さくら清修高等学校	埼玉県立川口高等学校
茨城県立竹園高等学校	栃木県立栃木翔南高等学校	埼玉県立浦和第一女子高等学校
茨城県立日立北高等学校	栃木県立佐野東高等学校	埼玉県立熊谷女子高等学校
茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	栃木県立宇都宮中央高等学校	埼玉県立川越女子高等学校
茨城県立牛久栄進高等学校	作新学院高等学校	埼玉県立春日部女子高等学校
茨城県立伊奈高等学校	宇都宮文星女子高等学校	埼玉県立松山女子高等学校
茨城県立並木中等教育学校	宇都宮短期大学附属高等学校	埼玉県立深谷第一高等学校
茨城県立古河中等教育学校	星の杜高等学校	埼玉県立浦和西高等学校
茨城県立勝田中等教育学校	國學院大學栃木高等学校	埼玉県立不動岡高等学校
明秀学園日立高等学校	佐野日本大学高等学校	埼玉県立本庄高等学校
茨城キリスト教学園高等学校	足利短期大学附属高等学校	埼玉県立越ヶ谷高等学校
茨城高等学校	足利大学附属高等学校	埼玉県立久喜高等学校
大成女子高等学校	白鷗大学足利高等学校	埼玉県立大宮高等学校
常磐大学高等学校	矢板中央高等学校	埼玉県立蕨高等学校
水城高等学校	佐野日本大学中等教育学校	埼玉県立草加高等学校
土浦日本大学高等学校	幸福の科学学園高等学校	埼玉県立朝霞高等学校
霞ヶ浦高等学校	群馬県立前橋南高等学校	埼玉県立岩槻高等学校
東洋大学附属牛久高等学校	群馬県立前橋女子高等学校	埼玉県立越谷北高等学校
清真学園高等学校	群馬県立高崎女子高等学校	埼玉県立坂戸高等学校
江戸川学園取手高等学校	群馬県立太田女子高等学校	埼玉県立大宮商業高等学校
茗溪学園高等学校	群馬県立沼田女子高等学校	埼玉県立与野高等学校
常総学院高等学校	群馬県立館林女子高等学校	埼玉県立鴻巣高等学校
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	群馬県立渋川女子高等学校	埼玉県立所沢高等学校
鹿島学園高等学校	前橋市立前橋高等学校	

埼玉県立上尾高等学校	大宮開成高等学校	千葉県立国府台高等学校
埼玉県立豊岡高等学校	狹山ヶ丘高等学校	千葉県立国分高等学校
埼玉県立桶川高等学校	本庄東高等学校	千葉県立松戸高等学校
埼玉県立越谷南高等学校	武藏越生高等学校	千葉県立小金高等学校
埼玉県立川口北高等学校	武南高等学校	千葉県立松戸国際高等学校
埼玉県立所沢北高等学校	浦和実業学園高等学校	千葉県立東葛飾高等学校
埼玉県立熊谷西高等学校	星野高等学校	千葉県立柏高等学校
埼玉県立川越南高等学校	大妻嵐山高等学校	千葉県立柏南高等学校
埼玉県立三郷高等学校	浦和明の星女子高等学校	千葉県立流山おおたかの森高等学校
埼玉県立草加南高等学校	青山学院大学系属浦和ルーテル学院高等学校	千葉県立我孫子高等学校
埼玉県立富士見高等学校	埼玉栄高等学校	千葉県立印旛明誠高等学校
埼玉県立春日部東高等学校	浦和学院高等学校	千葉県立佐倉高等学校
埼玉県立杉戸高等学校	栄東高等学校	千葉県立四街道高等学校
さいたま市立浦和高等学校	秀明高等学校	千葉県立成田国際高等学校
川越市立川越高等学校	昌平高等学校	千葉県立佐原高等学校
さいたま市立大宮北高等学校	獨協埼玉高等学校	千葉県立鎌子高等学校
さいたま市立浦和南高等学校	春日部共栄高等学校	千葉県立匝瑳高等学校
埼玉県立浦和北高等学校	西武台高等学校	千葉県立成東高等学校
埼玉県立越谷西高等学校	西武学園文理高等学校	千葉県立東金高等学校
埼玉県立坂戸西高等学校	花咲徳栄高等学校	千葉県立長生高等学校
埼玉県立所沢西高等学校	秋草学園高等学校	千葉県立茂原高等学校
埼玉県立南稜高等学校	開智高等学校	千葉県立長狭高等学校
埼玉県立三郷北高等学校	埼玉平成高等学校	千葉県立安房高等学校
埼玉県立松伏高等学校	東京農業大学第三高等学校	千葉県立木更津高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	国際学院高等学校	習志野市立習志野高等学校
埼玉県立新座総合技術高等学校	栄北高等学校	千葉市立千葉高等学校
埼玉県立入間向陽高等学校	開智未来高等学校	松戸市立松戸高等学校
埼玉県立伊奈学園総合高等学校	千葉県立千葉高等学校	鎌子市立鎌子高等学校
埼玉県立大宮光陵高等学校	千葉県立千葉女子高等学校	千葉県立磯辺高等学校
埼玉県立久喜北陽高等学校	千葉県立千葉東高等学校	千葉県立市川東高等学校
埼玉県立光国際高等学校	千葉県立千葉商業高等学校	柏市立柏高等学校
埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	千葉県立千葉南高等学校	千葉県立千城台高等学校
川口市立高等学校	千葉県立検見川高等学校	千葉県立津田沼高等学校
聖望学園高等学校	千葉県立千葉北高等学校	千葉県立柏陵高等学校
創明高等学校	千葉県立若松高等学校	千葉県立船橋芝山高等学校
浦和麗明高等学校	千葉県立八千代高等学校	千葉県立松戸六実高等学校
細田学園高等学校	千葉県立船橋高等学校	千葉県立八千代東高等学校
淑徳与野高等学校	千葉県立薬園台高等学校	千葉市立稻毛高等学校
本庄第一高等学校	千葉県立船橋東高等学校	千葉県立柏中央高等学校
山村学園高等学校	千葉県立船橋啓明高等学校	千葉県立市原八幡高等学校
山村国際高等学校	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	千葉県立千葉西高等学校

千葉県立市川昂高等学校	筑波大学附属高等学校	東京都立田園調布高等学校
千葉県立柏の葉高等学校	東京学芸大学附属高等学校	東京都立豊島高等学校
千葉県立幕張総合高等学校	東京大学教育学部附属中等教育学校	東京都立戸山高等学校
成田高等学校	東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京都立豊多摩高等学校
昭和学院高等学校	東京都立青山高等学校	東京都立西高等学校
千葉敬愛高等学校	東京都立足立高等学校	東京都立農業高等学校
千葉経済大学附属高等学校	東京都立井草高等学校	東京都立白鷗高等学校
市川高等学校	東京都立板橋高等学校	東京都立八王子東高等学校
東葉高等学校	東京都立上野高等学校	東京都立八丈高等学校
千葉黎明高等学校	東京都立江戸川高等学校	東京都立東高等学校
和洋国府台女子高等学校	東京都立園芸高等学校	東京都立東大和高等学校
麗澤高等学校	東京都立大泉高等学校	東京都立日野高等学校
千葉英和高等学校	東京都立大崎高等学校	東京都立日比谷高等学校
日出学園高等学校	東京都立大山高等学校	東京都立広尾高等学校
千葉明徳高等学校	東京都立葛飾商業高等学校	東京都立深川高等学校
千葉商科大学付属高等学校	東京都立北園高等学校	東京都立深沢高等学校
国府台女子学院高等部	東京都立清瀬高等学校	東京都立富士高等学校
東邦大学付属東邦高等学校	東京都立国立高等学校	東京都立府中高等学校
敬愛学園高等学校	東京都立小岩高等学校	東京都立府中東高等学校
専修大学松戸高等学校	東京都立国分寺高等学校	東京都立府中西高等学校
日本大学習志野高等学校	東京都立小山台高等学校	東京都立福生高等学校
千葉日本大学第一高等学校	東京都立江北高等学校	東京都立文京高等学校
二松学舎大学附属柏高等学校	東京都立神津高等学校	東京都立保谷高等学校
東海大学付属浦安高等学校	東京都立小平高等学校	東京都立本所高等学校
八千代松陰高等学校	東京都立狛江高等学校	東京都立町田高等学校
暁星国際高等学校	東京都立小松川高等学校	東京都立松原高等学校
東京学館高等学校	東京都立駒場高等学校	東京都立三田高等学校
植草学園大学附属高等学校	東京都立鷺宮高等学校	東京都立向丘高等学校
芝浦工業大学柏高等学校	東京都立桜町高等学校	東京都立武蔵高等学校
東京学館浦安高等学校	東京都立忍岡高等学校	東京都立武蔵丘高等学校
志学館高等部	東京都立石神井高等学校	東京都立目黒高等学校
昭和学院秀英高等学校	東京都立昭和高等学校	東京都立紅葉川高等学校
市原中央高等学校	東京都立新宿高等学校	東京都立八潮高等学校
光英V E R I T A S 高等学校	東京都立神代高等学校	東京都立雪谷高等学校
秀明大学学校教師学部附属秀明	東京都立杉並高等学校	東京都立両国高等学校
八千代高等学校	東京都立墨田川高等学校	東京都立小平西高等学校
流通経済大学付属柏高等学校	東京都立竹早高等学校	東京都立調布南高等学校
西武台千葉高等学校	東京都立立川高等学校	東京都立城東高等学校
翔凜高等学校	東京都立調布北高等学校	東京都立成瀬高等学校
木更津総合高等学校		東京都立武蔵野北高等学校
東京工業大学附属科学技術高等学校		東京都立小川高等学校

東京都立田柄高等学校	東京家政学院高等学校	文京学院大学女子高等学校
東京都立松が谷高等学校	東洋高等学校	広尾学園小石川高等学校
東京都立山崎高等学校	二松學舍大学附属高等学校	上野学園高等学校
東京都立小平南高等学校	雙葉高等学校	桜丘高等学校
東京都立東大和南高等学校	三輪田学園高等学校	順天高等学校
東京都立南平高等学校	和洋九段女子高等学校	女子聖学院高等学校
東京都立晴海総合高等学校	開智日本橋学園高等学校	駿台学園高等学校
東京都立つばさ総合高等学校	広尾学園高等学校	サレジアン国際学園高等学校
東京都立芦花高等学校	頌栄女子学院高等学校	成立学園高等学校
東京都立杉並総合高等学校	聖心女子学院高等科	瀧野川女子学園高等学校
東京都立上水高等学校	正則高等学校	東京成徳大学高等学校
東京都立千早高等学校	三田国際学園高等学校	武蔵野高等学校
東京都立翔陽高等学校	東京女子学園高等学校	北豊島高等学校
東京都立若葉総合高等学校	東洋英和女学院高等部	日本大学第一高等学校
東京都立青梅総合高等学校	普連土学園高等学校	安田学園高等学校
東京都立日野台高等学校	明治学院高等学校	中村高等学校
東京都立小金井北高等学校	山脇学園高等学校	潤徳女子高等学校
東京都立国際高等学校	学習院女子高等科	共栄学園高等学校
東京都立小石川中等教育学校	成女高等学校	修徳高等学校
東京都立桜修館中等教育学校	目白研心高等学校	愛國高等学校
東京都立板橋有徳高等学校	青山学院高等部	江戸川女子高等学校
東京都立東久留米総合高等学校	関東国際高等学校	関東第一高等学校
千代田区立九段中等教育学校	国学院高等学校	品川翔英高等学校
東京都立世田谷総合高等学校	実践女子学園高等学校	香蘭女学校高等科
東京都立大田桜台高等学校	渋谷教育学園渋谷高等学校	品川女子学院高等部
東京都立立川国際中等教育学校	東京女学館高等学校	青稜高等学校
東京都立総合芸術高等学校	富士見丘高等学校	朋優学院高等学校
東京都立町田総合高等学校	晃華学園高等学校	品川学藝高等学校
東京都立多摩科学技術高等学校	桐朋女子高等学校	品川エトワール女子高等学校
東京都立南多摩中等教育学校	跡見学園高等学校	立正大学付属立正高等学校
東京都立三鷹中等教育学校	郁文館高等学校	文教大学付属高等学校
東京都立王子総合高等学校	郁文館グローバル高等学校	トキワ松学園高等学校
大妻高等学校	桜蔭高等学校	目黒日本大学高等学校
かえつ有明高等学校	京華女子高等学校	目黒学院高等学校
神田女学園高等学校	東洋大学京北高等学校	多摩大学目黒高等学校
共立女子高等学校	駒込高等学校	八雲学園高等学校
錦城学園高等学校	小石川淑徳学園高等学校	大森学園高等学校
麹町学園女子高等学校	昭和第一高等学校	羽田国際高等学校
女子学院高等学校	貞静学園高等学校	東京高等学校
白百合学園高等学校	東京電機大学高等学校	田園調布学園高等部
武蔵野大学附属千代田高等学院	東洋女子高等学校	鷗友学園女子高等学校

国本女子高等学校	豊島岡女子学園高等学校	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
恵泉女学園高等学校	豊島学院高等学校	神奈川県立横浜平沼高等学校
佼成学園女子高等学校	豊南高等学校	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校
国士館高等学校	淑徳高等学校	神奈川県立横浜立野高等学校
駒沢学園女子高等学校	大東文化大学第一高等学校	神奈川県立光陵高等学校
駒澤大学高等学校	帝京高等学校	神奈川県立商工高等学校
駒場学園高等学校	東京家政大学附属女子高等学校	神奈川県立希望ヶ丘高等学校
松蔭大学附属松蔭高等学校	日本大学豊山女子高等学校	神奈川県立港北高等学校
成城学園高等学校	東京女子学院高等学校	神奈川県立川和高等学校
下北沢成徳高等学校	富士見高等学校	神奈川県立市ヶ尾高等学校
聖ドミニコ学園高等学校	共立女子第二高等学校	神奈川県立霧が丘高等学校
大東学園高等学校	工学院大学附属高等学校	神奈川県立柏陽高等学校
玉川聖学院高等部	帝京大学高等学校	神奈川県立松陽高等学校
田園調布雙葉高等学校	東京純心女子高等学校	神奈川県立金井高等学校
東京農業大学第一高等学校	八王子学園八王子高等学校	神奈川県立川崎高等学校
東京都市大学等々力高等学校	八王子実践高等学校	神奈川県立新城高等学校
日本大学櫻丘高等学校	昭和第一学園高等学校	神奈川県立川崎北高等学校
サレジアン国際学園世田谷高等学校	立川女子高等学校	神奈川県立多摩高等学校
日本工業大学駒場高等学校	明星高等学校	神奈川県立生田高等学校
和光高等学校	桜美林高等学校	神奈川県立百合丘高等学校
玉川学園高等部	錦城高等学校	神奈川県立横須賀高等学校
日本大学第三高等学校	白梅学園高等学校	神奈川県立横須賀大津高等学校
実践学園高等学校	創価高等学校	神奈川県立追浜高等学校
東亜学園高等学校	拓殖大学第一高等学校	神奈川県立平塚江南高等学校
新渡戸文化高等学校	明治学院東村山高等学校	神奈川県立鎌倉高等学校
大妻中野高等学校	明法高等学校	神奈川県立七里ガ浜高等学校
宝仙学園高等学校	国立音楽大学附属高等学校	神奈川県立湘南高等学校
杉並学院高等学校	聖徳学園高等学校	神奈川県立藤沢西高等学校
光塩女子学院高等科	吉祥女子高等学校	神奈川県立小田原高等学校
國學院大學久我山高等学校	成蹊高等学校	神奈川県立西湘高等学校
文化学園大学杉並高等学校	藤村女子高等学校	神奈川県立茅ヶ崎高等学校
女子美術大学付属高等学校	大成高等学校	神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校
中央大学杉並高等学校	明星学園高等学校	神奈川県立鶴嶺高等学校
東京立正高等学校	武藏野大学高等学校	神奈川県立相原高等学校
日本大学第二高等学校	文華女子高等学校	神奈川県立上溝高等学校
日本大学鶴ヶ丘高等学校	国際基督教大学高等学校	神奈川県立相模原高等学校
立教女学院高等学校	東海大学菅生高等学校	神奈川県立麻溝台高等学校
川村高等学校	穎明館高等学校	神奈川県立上溝南高等学校
十文字高等学校	大妻多摩高等学校	神奈川県立津久井浜高等学校
城西大学附属城西高等学校	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	神奈川県立秦野高等学校
淑徳巣鴨高等学校	神奈川県立鶴見高等学校	神奈川県立厚木高等学校

神奈川県立伊志田高等学校	神奈川県立相模原中等教育学校	鵠沼高等学校
神奈川県立大和高等学校	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	湘南工科大学附属高等学校
神奈川県立座間高等学校	神奈川県立藤沢清流高等学校	湘南学園高等学校
神奈川県立大磯高等学校	神奈川県立横浜氷取沢高等学校	湘南白百合学園高等学校
神奈川県立新羽高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校	日本大学藤沢高等学校
神奈川県立生田東高等学校	フェリス女学院高等学校	聖園女学院高等学校
神奈川県立綾瀬高等学校	横浜雙葉高等学校	向上高等学校
横浜市立南高等学校	横浜共立学園高等学校	相洋高等学校
横浜市立桜丘高等学校	横浜女学院高等学校	アセイア湘南高等学校
横浜市立金沢高等学校	中央大学附属横浜高等学校	聖和学院高等学校
横浜市立戸塚高等学校	関東学院高等学校	光明学園相模原高等学校
横浜市立東高等学校	青山学院横浜英和高等学校	相模女子大学高等部
川崎市立川崎高等学校	横浜清風高等学校	東海大学付属相模高等学校
川崎市立高津高等学校	神奈川学園高等学校	麻布大学附属高等学校
川崎市立橘高等学校	横浜創英高等学校	聖セシリ亞女子高等学校
横浜市立横浜商業高等学校	搜真女学校高等学部	立花学園高等学校
川崎市立幸高等学校	白鵬女子高等学校	函嶺白百合学園高等学校
神奈川県立二宮高等学校	橘学苑高等学校	神奈川大学附属高等学校
神奈川県立橋本高等学校	鶴見大学附属高等学校	横浜隼人高等学校
神奈川県立荏田高等学校	聖ヨゼフ学園高等学校	桐光学園高等学校
神奈川県立海老名高等学校	法政大学国際高等学校	森村学園高等部
神奈川県立住吉高等学校	横浜商科大学高等学校	横浜翠陵高等学校
神奈川県立岸根高等学校	英理女子学院高等学校	公文国際学園高等部
神奈川県立新栄高等学校	桐蔭学園高等学校	自修館中等教育学校
神奈川県立大船高等学校	日本大学高等学校	横浜富士見丘学園高等学校
神奈川県立有馬高等学校	横浜学園高等学校	新潟県立新潟高等学校
神奈川県立元石川高等学校	関東学院六浦高等学校	新潟県立新潟中央高等学校
神奈川県立麻生高等学校	横浜創学館高等学校	新潟県立新潟南高等学校
神奈川県立湘南台高等学校	横浜高等学校	新潟県立新潟江南高等学校
神奈川県立深沢高等学校	山手学院高等学校	新潟県立新潟商業高等学校
神奈川県立大和西高等学校	湘南学院高等学校	新潟県立新発田高等学校
神奈川県立城郷高等学校	三浦学苑高等学校	新潟県立長岡高等学校
神奈川県立神奈川総合高等学校	横須賀学院高等学校	新潟県立長岡大手高等学校
横浜市立みなと総合高等学校	カリタス女子高等学校	新潟県立三条高等学校
神奈川県立横浜南陵高等学校	洗足学園高等学校	新潟県立三条東高等学校
横須賀市立横須賀総合高等学校	日本女子大学附属高等学校	新潟県立十日町高等学校
神奈川県立横浜清陵高等学校	平塚学園高等学校	新潟県立柏崎高等学校
神奈川県立横浜国際高等学校	鎌倉女学院高等学校	新潟県立高田北城高等学校
神奈川県立横浜栄高等学校	北鎌倉女子学園高等学校	新潟県立佐渡高等学校
神奈川県立座間総合高等学校	鎌倉女子大学高等部	新潟市立万代高等学校
神奈川県立平塚中等教育学校	清泉女学院高等学校	新潟県立新発田南高等学校

新潟県立長岡向陵高等学校	福井県立高志高等学校	長野県下諏訪向陽高等学校
新潟県立国際情報高等学校	福井県立羽水高等学校	長野県大町岳陽高等学校
新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	福井県立武生高等学校	松本第一高等学校
新潟県立燕中等教育学校	福井県立金津高等学校	長野清泉女学院高等学校
新潟県立津南中等教育学校	仁愛女子高等学校	文化学園長野高等学校
新潟県立直江津中等教育学校	山梨県立甲府第一高等学校	上田西高等学校
新潟明訓高等学校	山梨県立甲府南高等学校	東京都市大学塩尻高等学校
新潟青陵高等学校	山梨県立巨摩高等学校	佐久長聖高等学校
北越高等学校	山梨県立都留高等学校	松本秀峰中等教育学校
中越高等学校	山梨県立吉田高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
新潟清心女子高等学校	山梨県立甲府西高等学校	岐阜県立岐阜北高等学校
新潟第一高等学校	山梨県立甲府東高等学校	岐阜県立岐山高等学校
東京学館新潟高等学校	北杜市立甲陵高等学校	岐阜県立加納高等学校
富山県立桜井高等学校	山梨県立甲府昭和高等学校	岐阜県立大垣北高等学校
富山県立滑川高等学校	山梨英和高等学校	岐阜県立関高等学校
富山県立富山北部高等学校	駿台甲府高等学校	岐阜県立多治見北高等学校
富山県立富山東高等学校	山梨学院高等学校	岐阜県立恵那高等学校
富山県立富山南高等学校	東海大学付属甲府高等学校	岐阜県立斐太高等学校
富山県立富山高等学校	日本大学明誠高等学校	聖マリア女学院高等学校
富山県立富山いずみ高等学校	日本航空高等学校	大垣日本大学高等学校
富山県立富山中部高等学校	長野県須坂高等学校	高山西高等学校
富山県立富山西高等学校	長野県長野吉田高等学校	静岡県立韮山高等学校
富山県立高岡高等学校	長野県長野高等学校	静岡県立三島南高等学校
富山県立氷見高等学校	長野県長野西高等学校	静岡県立三島北高等学校
富山県立砺波高等学校	長野県長野商業高等学校	静岡県立御殿場南高等学校
富山県立吳羽高等学校	長野県篠ノ井高等学校	静岡県立沼津東高等学校
富山県立南砺福野高等学校	長野県屋代高等学校	静岡県立沼津西高等学校
富山第一高等学校	長野県上田染谷丘高等学校	静岡県立吉原高等学校
富山国際大学付属高等学校	長野県岩村田高等学校	静岡県立富士高等学校
片山学園高等学校	長野県野沢北高等学校	静岡県立清水南高等学校
石川県立小松高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	静岡県立静岡高等学校
石川県立金沢錦丘高等学校	長野県諏訪二葉高等学校	静岡県立静岡城北高等学校
石川県立金沢二水高等学校	長野県岡谷南高等学校	静岡県立静岡東高等学校
石川県立金沢桜丘高等学校	長野県伊那北高等学校	静岡県立焼津中央高等学校
石川県立羽咋高等学校	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校	静岡県立藤枝東高等学校
石川県立七尾高等学校	長野県飯田高等学校	静岡県立島田高等学校
石川県立小松明峰高等学校	長野県飯田風越高等学校	静岡県立榛原高等学校
星稜高等学校	長野県松本県ヶ丘高等学校	静岡県立掛川西高等学校
小松大谷高等学校	長野県松本深志高等学校	静岡県立袋井高等学校
鵬学園高等学校	長野県松本蟻ヶ崎高等学校	静岡県立磐田南高等学校
福井県立藤島高等学校	長野県豊科高等学校	静岡県立浜松北高等学校

静岡県立浜松西高等学校	愛知県立豊橋東高等学校	兵庫県立八鹿高等学校
静岡県立浜名高等学校	愛知県立豊丘高等学校	兵庫県立川西北陵高等学校
沼津市立沼津高等学校	愛知県立小坂井高等学校	兵庫県立芦屋国際中等教育学校
富士市立高等学校	名古屋市立桜台高等学校	親和女子高等学校
静岡市立高等学校	愛知県立豊田北高等学校	神戸常盤女子高等学校
浜松市立高等学校	愛知県立豊田南高等学校	愛徳学園高等学校
静岡県立富士東高等学校	名古屋市立名東高等学校	帝塚山高等学校
静岡県立伊豆中央高等学校	愛知高等学校	智辯学園奈良カレッジ高等部
静岡県立浜北西高等学校	愛知淑徳高等学校	和歌山県立向陽高等学校
静岡県立下田高等学校	桜花学園高等学校	和歌山県立日高高等学校
静岡県立駿河総合高等学校	愛知工業大学名電高等学校	和歌山県立田辺高等学校
不二聖心女子学院高等学校	名城大学附属高等学校	近畿大学附属新宮高等学校
知徳高等学校	聖霊高等学校	近畿大学附属和歌山高等学校
日本大学三島高等学校	清林館高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校
加藤学園高等学校	杜若高等学校	鳥取県立米子西高等学校
星陵高等学校	栄徳高等学校	鳥取城北高等学校
東海大学付属静岡翔洋高等学校	大成高等学校	島根県立出雲高等学校
静岡雙葉高等学校	三重県立四日市南高等学校	島根県立大社高等学校
常葉大学附属常葉高等学校	三重県立津西高等学校	島根県立浜田高等学校
静岡学園高等学校	三重県立松阪高等学校	松江市立皆美が丘女子高等学校
常葉大学附属菊川高等学校	三重県立上野高等学校	島根県立松江東高等学校
磐田東高等学校	暁高等学校	出雲北陵高等学校
浜松学芸高等学校	高田高等学校	岡山県立岡山操山高等学校
静岡県西遠女子学園高等学校	セントヨゼフ女子学園高等学校	岡山県立倉敷青陵高等学校
浜松聖星高等学校	三重高等学校	岡山県立玉島高等学校
浜松日体高等学校	桜丘高等学校	岡山県立総社南高等学校
聖隸クリストファー高等学校	滋賀学園高等学校	岡山県立岡山城東高等学校
桐陽高等学校	京都府立桃山高等学校	広島県立呉三津田高等学校
藤枝明誠高等学校	京都女子高等学校	広島県立尾道北高等学校
名古屋大学教育学部附属高等学校	大阪府立箕面高等学校	広島県立福山葦陽高等学校
愛知県立旭丘高等学校	大阪府立阿倍野高等学校	広島市立舟入高等学校
愛知県立松蔭高等学校	大阪府立泉陽高等学校	広島市立広島中等教育学校
愛知県立名古屋西高等学校	大阪府立水都国際高等学校	安田女子高等学校
愛知県立鳴海高等学校	賢明学院高等学校	比治山女子高等学校
愛知県立長久手高等学校	帝塚山学院高等学校	ノートルダム清心高等学校
愛知県立岩倉総合高等学校	常翔啓光学園高等学校	広島工業大学高等学校
愛知県立一宮西高等学校	ヴェリタス城星学園高等学校	盈進高等学校
愛知県立木曽川高等学校	金蘭千里高等学校	銀河学院高等学校
愛知県立半田高等学校	四天王寺東高等学校	如水館高等学校
愛知県立吉良高等学校	兵庫県立西宮北高等学校	山口県立華陵高等学校
愛知県立岡崎北高等学校	兵庫県立姫路東高等学校	徳島県立脇町高等学校

徳島県立徳島北高等学校	熊本県立小国高等学校
香川県立丸亀高等学校	熊本県立天草高等学校
高松市立高松第一高等学校	熊本信愛女学院高等学校
香川県立高松西高等学校	ルーテル学院高等学校
香川県立高松桜井高等学校	秀岳館高等学校
香川県立三木高等学校	熊本学園大学付属高等学校
英明高等学校	熊本マリスト学園高等学校
大手前高松高等学校	大分県立別府鶴見丘高等学校
愛媛県立新居浜東高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
愛媛県立新居浜西高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校
愛媛県立西条高等学校	大分県立大分商業高等学校
愛媛県立今治西高等学校	大分県立大分西高等学校
愛媛県立宇和島南中等教育学校	大分県立佐伯鶴城高等学校
新田青雲中等教育学校	大分県立中津南高等学校
高知県立高知国際高等学校	大分県立中津北高等学校
土佐女子高等学校	大分東明高等学校
福岡県立新宮高等学校	宮崎県立延岡高等学校
福岡県立筑紫丘高等学校	宮崎県立日向高等学校
久留米市立久留米商業高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校
福岡県立香住丘高等学校	宮崎県立宮崎南高等学校
明治学園高等学校	鵬翔高等学校
九州国際大学付属高等学校	宮崎第一高等学校
飯塚高等学校	延岡学園高等学校
福岡大学附属大濠高等学校	日向学院高等学校
福岡大学附属若葉高等学校	鹿児島県立鹿児島中央高等学校
西南学院高等学校	鹿児島県立国分高等学校
筑紫女学園高等学校	鹿児島県立鹿屋高等学校
福岡女学院高等学校	鹿児島県立屋久島高等学校
福岡工業大学附属城東高等学校	鹿児島県立大島高等学校
福岡雙葉高等学校	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
久留米信愛高等学校	鹿児島県立開陽高等学校
自由ヶ丘高等学校	鹿児島情報高等学校
佐賀県立致遠館高等学校	沖縄県立宜野湾高等学校
佐賀清和高等学校	沖縄県立那覇西高等学校
弘学館高等学校	沖縄県立那覇国際高等学校
早稲田佐賀高等学校	
長崎県立長崎西高等学校	
長崎県立佐世保北高等学校	
熊本県立熊本高等学校	
熊本県立第一高等学校	

## 資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

**昭和女子大学 総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）に関するアンケート**

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。  
このアンケートの回答内容があなたの今後の進路（受験・入学等）に影響することはありません。また、高校2年生以外の方もご回答いただけます。  
※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

■質問の答えとなる番号に○をつけてください。

Q1) あなたの性別をお答えください。

1 女性 2 男性

Q2) あなたの学年をお答えください。

1 高校2年生 2 高校1年生 3 高校3年生 4 その他

Q3) あなたの高校の所在都道府県をお答えください。

1 東京都 2 神奈川県 3 千葉県 4 埼玉県 5 その他（道府県）

Q4) 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。（複数回答可）

1 大学 2 短期大学 3 専門職大学 4 専門職短期大学 5 専門学校 6 就職 7 その他（）

Q5) 進学を希望する場合の大学等の設置者

Q4で1～4と回答した人への質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

1 私立 2 公立 3 国立 4 その他（）

Q6) 高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。（複数回答可）

- |                         |               |                      |               |
|-------------------------|---------------|----------------------|---------------|
| ①数学                     | ④電気通信工学       | ⑦人文科学（文学、史学、哲学、言語学等） | ⑩商船（商船学）      |
| ②理学その他（数理・情報科学等）        | ⑤物理学・化学・生物・地学 | ⑧社会科学（法學、経済学、社会学等）   | ⑪家政（家政学、被服学等） |
| ③工学その他（情報・AI・データサイエンス等） | ⑥機械工学・土木建築工学  | ⑨農学（農学、水産学等）         | ⑫教育（教育学、体育学等） |
|                         |               | ⑩保健（医学、看護学等）         | ⑬芸術（美術、音楽等）   |
|                         |               | ⑮その他                 |               |

Q7以降の質問は、一緒に配布した学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。

Q7) より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

①社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること

1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

②データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること

1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

③専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること

1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

④デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったメイン（領域）についても学べること

1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

⑤DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること

1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

Q8) 昭和女子大学総合情報学部が開設された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科で一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない

【デジタルイノベーション学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない

Q8で、1、2、3のいずれかで「受験する」を選択した方にお聞きします。

Q9) 昭和女子大学総合情報学部を受験して合格した場合、入学しますか。該当する学科について一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない

【デジタルイノベーション学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない

Q10) 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

Q11) 2024年7月から現在までの間に、昭和女子大学総合情報学部に関する同じ内容のアンケート調査（オンラインアンケート含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。

同様のアンケートに回答したことがある

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。なお、学部学科の名称、教育内容等は予定であり変更されることがあります。

### 資料3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## 総合情報学部

データサイエンス学科  
デジタルイノベーション学科

設置の  
場所

近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々接觸されるビッグデータを利用した問題解決の実践を図り、新たな価値を創造して活躍ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人物が不足している社会的な要因に対し、データを適切に扱い、デジタル技術(データサイエンス/IT)で習得し、本学が誇りとするソシオ・経営・心理の分野で能力を応用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

### □ 担当する人材像

現代社会やビジネスにおける問題に對し、(a)計算性、データサイエンスに対する専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける既存データを基に得られた経験を理解したうえで、(c)数量化データに基づき分析、実験的論理をし、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、推進できる人材を養成します。

データ  
サイ  
エ  
ン  
ス  
学  
科

### □ アドミッションポリシー

昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会データサイエンスの面白さに惹かれた者で、将来はデータサイエンス能力によるデータ分析や学習を駆使して問題を解決し、社会に貢献したいという意図のある人を求めます。また、本学科の教育目標に従事する資質と能力を備えた入学者を受け入れます。そのため多様な入試方法で入学を基準とし、多面的、総合的に選抜します。

### □ 担当する人材像

社会やビジネスにおける情報システム上の問題に對し、(a)ステータスデータベース等のデータ構造に対する理解とアルゴリズム・コンピュータサイエンスに関する研究知識を有し、(b)問題解決の実践的知識を備えたうえで、(c)デジタル技術に関するスキルを駆使した問題解決手段の開拓を実践的・創造的に行い、実践できる人材を養成します。

### □ アドミッションポリシー

昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会とICTとの両方に興味を持ち、将来はデータサイエンスとソーシャルコンピューティングの組合せができる知識と能力によって、社会やビジネスにおける問題を解決し、社会に貢献したいという意図のある人を求める。また、本学科の教育目標に従事する資質と能力を備えた入学者を受け入れます。そのため多様な入試方法で入学を基準とし、多面的、総合的に選抜します。

設置  
場所

昭和女子大学 西田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷 1-7-67



初年度  
第一回

1,598,000円  
(人学生、授業料、宿泊設備費 等)

※初年度加入料は予定金額のため、変更となる可能性があります。

類似  
学部

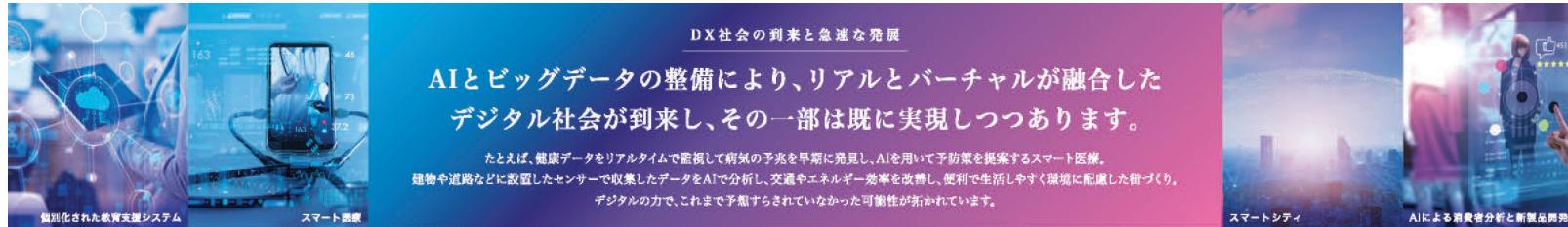
- 青山学院大学 社会情報学部
- 東京都市大学 デザイン・データ科学部
- 武蔵大学 データサイエンス学部
- 東洋大学 総合情報学部

※初年度加入料(全学年): 1,490,000円～1,670,000円  
※内訳: 2024年度4名生料+4名宿料  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

昭和女子大学  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
de-daiaku@swu.ac.jp

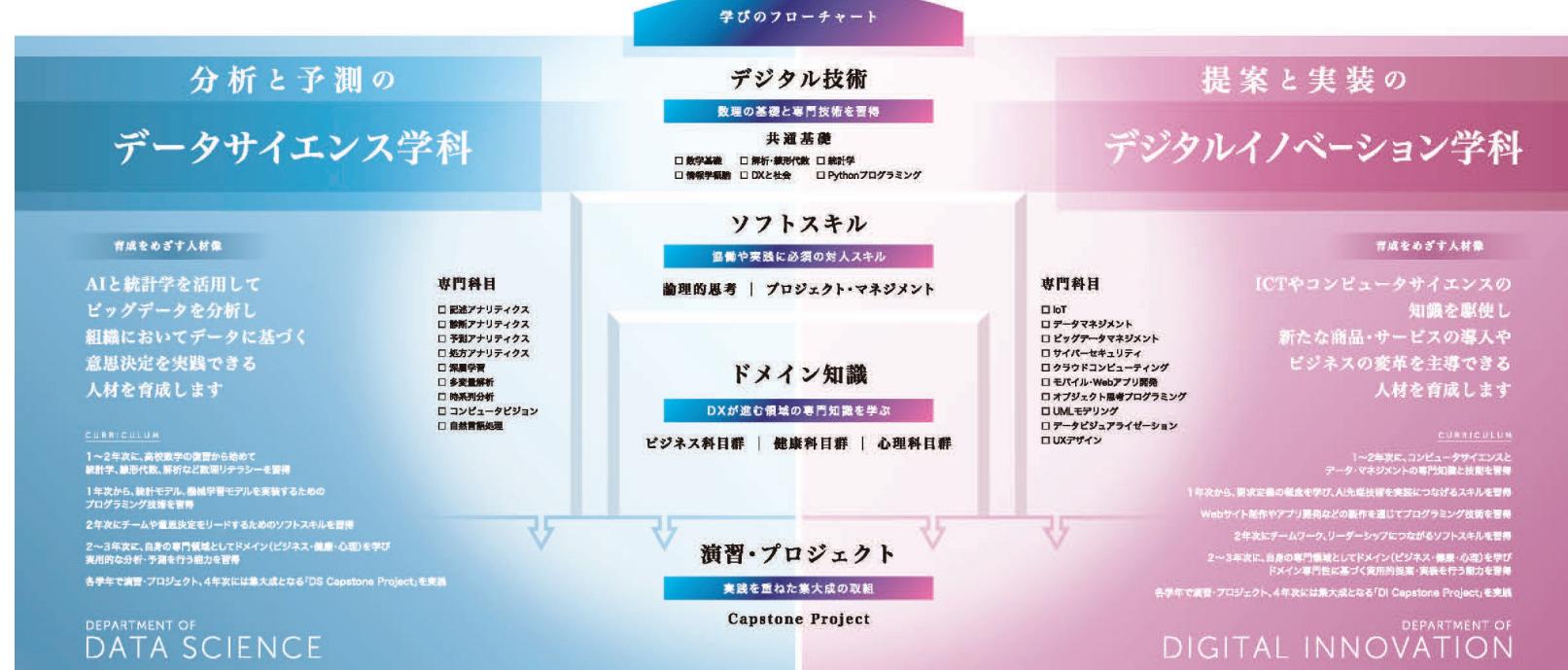




# 総合情報学部 FACULTY OF INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に着目。  
文理融合カリキュラムを構成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。



昭和女子大学  
総合情報学部  
デジタルイノベーション学科  
(仮称：設置構想中)  
設置に関する受容性調査  
【高校生】

追加調査

株式会社日本ドリコム  
令和7年5月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	5
3 属性等	6
4 受験意向・入学意向	7

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とすることを目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和7年4月25日～令和7年5月12日

- ・昭和女子大学の進学説明会等への参加者

令和7年4月25日～令和7年5月12日

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校3年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学の進学説明会等参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。

### (4) 有効回答数 737件

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

### (7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校3年生の女子生徒について、有効回答737件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答737件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学 等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答は58件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参考し、適宜選択として設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学 等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した58件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、12件であった。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	58	割合
第一志望として受験する	12	20.7%
第二志望として受験する	10	17.2%
第三志望以降として受験する	8	13.8%
受験しない	24	41.4%
未回答	4	6.9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	12	割合
入学する	12	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0.0%
入学しない	0	0.0%
未回答	0	0.0%

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	737	割合
女性	737	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	737	割合
高校 3 年生	737	100.0%
高校 2 年生	-	- %
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	737	割合
東京都	254	34.5%
神奈川県	217	29.4%
千葉県	0	0.0%
埼玉県	266	36.1%
その他（茨城県）	0	0.0%
その他（茨城県以外）	0	0.0%
未回答	0	0.0%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した637件の内、設置者「私立」の回答は615件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	737	割合
大学	650	88. 2%
短期大学	73	9. 9%
専門職大学	10	1. 4%
専門職短期大学	3	0. 4%
専門学校	89	12. 1%
就職	30	4. 1%
その他	19	2. 6%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	650	割合
私立	628	96. 6%
公立	211	32. 5%
国立	239	36. 8%
その他	3	0. 5%

## (2)興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した628件のうち、総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）への回答は58件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は58件であった。

58件（内 募集対象の5都県 58件）

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	628	割合
数学	21	3. 3%
理学その他（数理・情報科学等）	40	6. 4%
工学その他（情報・AI・データサイエンス等）	53	8. 4%
電気通信工学	12	1. 9%
物理学・化学・生物・地学	42	6. 7%
機械工学・土木建築工学	23	3. 7%
人文科学（文学、史学、哲学、言語学等）	242	38. 5%
社会科学（商学、経済学等）	224	35. 7%
社会科学（法学、政治学、社会学等）	200	31. 8%
農学（農学、水産学等）	38	6. 1%
保健（医学、看護学等）	153	24. 4%
商船（商船学）	4	0. 6%
家政（家政学、被服学等）	30	4. 8%
教育（教育学、体育学等）	149	23. 7%
芸術（美術、音楽等）	81	12. 9%
その他	61	9. 7%

### (3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	ど ら と え 魅 力 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	魅 力 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	58	24. 1%	60. 3%	5. 2%	6. 9%	3. 4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	58	36. 2%	32. 8%	12. 1%	13. 8%	5. 2%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	58	43. 1%	43. 1%	5. 2%	3. 4%	5. 2%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	58	50. 0%	34. 5%	5. 2%	3. 4%	6. 9%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	58	22. 4%	58. 6%	5. 2%	3. 4%	10. 3%	

#### (4) 総合情報学部 デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野を回答した58件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が12件、そのうち12件が「入学する」と回答している。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	58	割合
第一志望として受験する	12	20. 7%
第二志望として受験する	10	17. 2%
第三志望以降として受験する	8	13. 8%
受験しない	24	41. 4%
未回答	4	6. 9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	130	割合
入学する	12	100. 0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0. 0%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	12	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	9	6
入学しない	0	1	1

資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 7校（順不同）

**選定の根拠**

昭和女子大学の学生募集において高校訪問等を行っている高等学校

埼玉県立久喜北陽高等学校

山村学園高等学校

東京都立片倉高等学校

東京都立美原高等学校

豊南高等学校

自由が丘学園高等学校

横浜隼人高等学校

資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

昭和女子大学

総合情報学部

デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）

（仮称・構想中）

に関するアンケート

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。  
このアンケートの回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。また、高校3年生以外の方もご回答いただけます。  
※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

**Q1.** あなたの高等学校についてお答えください。

\*

- 国立
- 都道府県立
- 市立
- 私立
- その他

**Q6.** 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。

\* (複数選択)

- 大学
- 短期大学
- 専門職大学
- 専門職短期大学
- 専門学校
- 就職
- その他

**Q2.** あなたの高等学校の学校名を記載してください。

例: ○○高校 \*

0文字

**Q3.** あなたの性別をお答えください。

\*

- 女性
- 男性

**Q4.** あなたの学年をお答えください。

\*

- 高校3年生
- 高校2年生
- 高校1年生
- その他

**Q5.** あなたの高等学校の所在都道府県をお答えください。

\*

- 東京都
- 神奈川県
- 千葉県
- 埼玉県
- 茨城県
- その他

**Q7.** 進学を希望する場合の大学等の設置者。

\* (複数選択)

- 私立
- 公立
- 国立
- その他

**Q8.**

高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。

\* (複数選択)

- 数学
- 理学その他（数理・情報科学等）
- 工学その他（情報・AI・データサイエンス等）
- 電気通信工学
- 物理学・化学・生物・地学
- 機械工学・土木建築工学
- 人文科学（文学、史学、哲学、言語学等）
- 社会科学（商学・経済学）
- 社会科学（法学・政治学・社会学等）
- 農学（農学、水産学等）
- 保健（医学、看護学等）
- 商船（商船学）
- 家政（家政学、被服学等）
- 教育（教育学、体育学等）
- 芸術（美術、音楽等）

■以降の質問は、次のURLをクリックし、学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。  
別画面でリーフレットが開きます。

→ (リーフレット) [https://daijanen.github.io/ba\\_dsc\\_pdf/swu20240717.pdf](https://daijanen.github.io/ba_dsc_pdf/swu20240717.pdf)

**Q9.**

より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

\*

	どちらかといえば魅 力を感じる	どちらかといえば魅 力を感じる	どちらかといえば魅 力を感じない	魅力を感じない
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

**Q10.** 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科が開設された場合、受験を希望しますか。

\*

- 第一志望で受験する
- 第二志望で受験する
- 第三志望以降で受験する
- 受験しない

**Q11.** 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科を受験して合格した場合、入学しますか。

\*

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない

**Q12.** 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

0文字

**Q13.**

2024年7月から現在までの間に、『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査（アンケート用紙での回答含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。  
(複数選択)

- 以前に回答したことがある

**総合情報学部** 〔仮称〕

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**設置の趣旨**

近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々蓄積されるビッグデータを活用して問題解決を図り、新たな価値を創造して創気ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを適応に据い、デジタル技術（データサイエンス／IT）に習熟し、本学が目指すビジネス・経営・心理学の分野で能力を活用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 開設する人材像  
昭和女子大学における問題に對し、(a)統計学、データサイエンスにおける専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける現象を理解する社会知識を理解したりうえで、(c)高度化データに基づき分析、実験設計をし、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、実験できる人材を養成します。

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会ヒューマンインプットの面からも安心な気持ち、何よりもデータサイエンス能力によるデータ分析や予測を基礎として問題を解決し、社会に貢献したいという意欲のある人をめざします。また、本学科の教育課程に従事する教員は、能力を備えた入学者を受け入れます。そのためには多様な入試方法で入学者を募集し、多方面、総合的に選抜します。

**設置場所**  
昭和女子大学 西田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷1-7-67

**初年度  
総収入額**  
1,598,000円  
(入学金、授業料、施設設備費等)  
※前年度収入額を公示するため、変更となる可能性があります。

**類似学部**

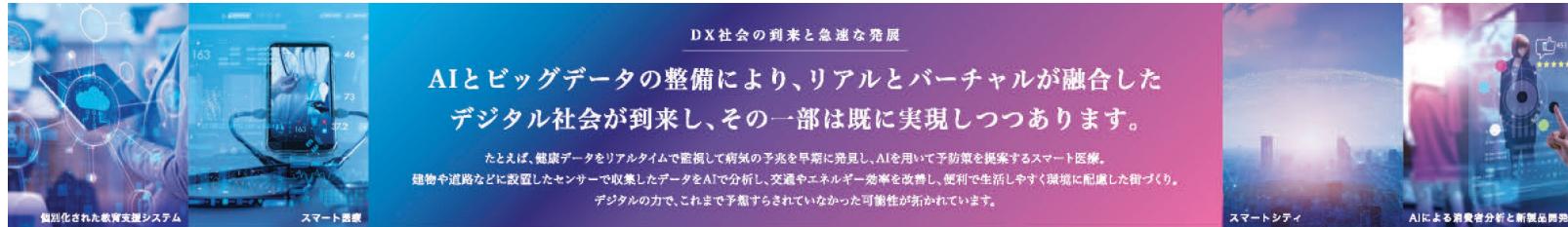
- ・青山学院大学 社会情報学部
- ・東京都市大学 デザイン・データ科学部
- ・筑波大学 データサイエンス学部
- ・東洋大 学習情報学部

※前年度収入額(参考)：1,490,000円～1,670,000円  
開設期：2026年4月 大学4年より  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
da-daiaku@swu.ac.jp





# 総合情報学部

FACULTY OF  
INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に着目。  
文理融合カリキュラムを構成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。

## 分析と予測の データサイエンス学科

育成をめざす人材像

AIと統計学を活用して  
ビッグデータを分析し  
組織においてデータに基づく  
意思決定を実践できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、高校数学の復習から始めて  
統計学、線形代数、解析などの数理リテラシーを獲得

1年次から、統計モデル、機械学習モデルを実装するための  
プログラミング技術を習得

2年次にチームや意思決定をリードするためのソフトスキルを獲得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を学び  
実用的な分析・予測を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DS Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DATA SCIENCE

## 学びのフローチャート

### デジタル技術

数理の基礎と専門技術を習得

共通基礎

- 数学基礎
- 分析・統計学
- 機械学習
- 物理学基礎
- DXと社会
- Pythonプログラミング

### ソフトスキル

監督や実践に必須の対人スキル

論理的思考 | プロジェクト・マネジメント

### ドメイン知識

DXが進む領域の専門知識を学ぶ

ビジネス科目群 | 健康科目群 | 心理科目群

### 演習・プロジェクト

実績を重ねた集大成の取組

Capstone Project

## 提案と実装の デジタルイノベーション学科

育成をめざす人材像

ICTやコンピュータサイエンスの  
知識を駆使し  
新たな商品・サービスの導入や  
ビジネスの変革を主導できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、コンピュータサイエンスと  
データマネジメントの専門知識と技術を習得

1年次から、要求定義の概念を学び、AI基礎技術を実践につなげるスキルを獲得  
Webサイト制作やアプリ開発などの製作を通じてプログラミング技術を習得

2年次にチームワーク、リーダーシップにつながるソフトスキルを習得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を選び  
ドメイン専門性に基づく実用的知識・実験を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DI Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DIGITAL INNOVATION

2024年度 出身高校別所在地入学者数

	人間文化学部	人間社会学部	食健康科学部	グローバルビジネス学部	国際学部	環境デザイン学部	総計
北海道	2	3	1	2	1	3	12
青森	0	0	0	0	0	2	2
岩手	2	1	0	0	0	1	4
宮城	2	1	0	0	0	0	3
秋田	0	0	2	0	0	0	2
山形	0	0	0	1	0	0	1
福島	4	3	1	0	2	2	12
茨城	12	17	13	5	15	7	69
栃木	10	12	7	4	8	2	43
群馬	7	6	2	5	2	0	22
埼玉	45	53	41	42	54	35	270
千葉	32	49	29	19	34	22	185
東京	64	115	63	71	93	83	489
神奈川	35	66	57	37	55	28	278
新潟	3	4	3	1	5	3	19
富山	0	2	0	0	2	0	4
石川	1	1	0	1	1	1	5
福井	1	1	0	0	0	0	2
山梨	0	3	1	3	4	5	16
長野	3	1	3	0	3	5	15
岐阜	0	1	0	0	0	1	2
静岡	2	10	5	3	6	2	28
愛知	2	2	0	1	1	1	7
三重	0	0	1	1	0	1	3
滋賀	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0	0
大阪	0	1	0	0	0	0	1
兵庫	1	0	0	0	1	1	3
奈良	0	0	0	0	1	1	2
和歌山	0	1	0	0	0	0	1
鳥取	0	0	0	0	0	0	0
島根	1	0	1	2	0	0	4
岡山	1	0	0	0	1	2	4
広島	1	1	0	0	1	0	3
山口	0	0	0	0	1	0	1
徳島	0	0	0	0	0	0	0
香川	0	0	0	0	1	0	1
愛媛	1	0	1	0	0	1	3
高知	1	0	0	0	0	0	1
福岡	1	1	1	1	0	2	6
佐賀	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0
熊本	0	0	0	3	0	0	3
大分	0	0	1	1	0	0	2
宮崎	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	1	2	0	1	3	0	7
沖縄	2	2	0	3	1	0	8
その他	5	3	4	2	8	2	24
総計	242	362	237	209	304	213	1,567

5県合計	1,291
入学者比率	82.4%

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称：設置構想中)  
設置に関する受容性調査  
【高校生】

補足資料 2

- 4 受験意向・入学意向  
(2) 興味のある学問分野  
(4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向  
(5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

株式会社日本ドリコム

令和7年1月

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県以外で集計した場合は180件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県以外180件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学等)	449	4.9%
保健(医学、看護学等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）以外に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した180件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が27件、そのうち15件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した19件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	180	割合
第一志望として受験する	27	15. 0%
第二志望として受験する	5	2. 8%
第三志望以降として受験する	44	24. 4%
受験しない	103	57. 2%
未回答	1	0. 6%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	27	割合
入学する	15	55. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0. 0%
入学しない	0	0. 0%
未回答	3	11. 1%
重複回答	9	33. 3%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

#### ■ 受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	15	0	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	2	4
入学しない	0	2	38
重複回答	9	-	-

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）以外に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した180件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が27件、そのうちデジタルイノベーション学科に15件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した19件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	180	割合
第一志望として受験する	27	15. 0%
第二志望として受験する	26	14. 4%
第三志望以降として受験する	15	8. 3%
受験しない	107	59. 4%
未回答	5	2. 8%

### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	27	割合
入学する	15	55. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	3. 7%
入学しない	1	3. 7%
未回答	0	0. 0%
重複回答	10	37. 0%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	15	0	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	24	4
入学しない	1	2	9
重複回答	10	-	-

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称：設置構想中)  
設置に関する受容性調査 再集計  
【高校生】

**補足資料1**

4 受験意向・入学意向

- (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向
- (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

株式会社日本ドリコム  
令和7年1月

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、第二志望以下の受験意向と入学意向をたずねたところ、第二志望以下で受験するとの回答が167件、そのうち98件が「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した114件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

#### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	130	14.1%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	3	0.3%

#### ■第二志望以下の入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	167	割合
入学する	1	0.6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	97	58.1%
入学しない	17	10.2%
未回答	0	0.0%
重複回答	52	31.1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答したもののうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野への回答者923件を対象に、第二志望以下の受験意向と入学意向をたずねたところ、第二志望以下で受験するとの回答が196件、そのうち121件が「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した114件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

### ■第二志望以下の入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	196	割合
入学する	17	8. 7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	104	53. 1%
入学しない	12	6. 1%
未回答	1	0. 5%
重複回答	62	31. 6%

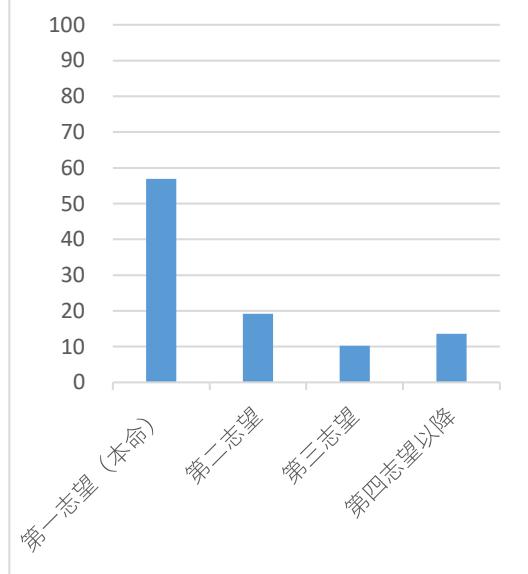
※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答したもののうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

## 令和6年度 新入生対象アンケート

1年

昭和女子大学の志望順位は何番目でしたか。（1年生のみ）

選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	57	852
2	第二志望	19	287
3	第三志望	10	153
4	第四志望以降	14	204

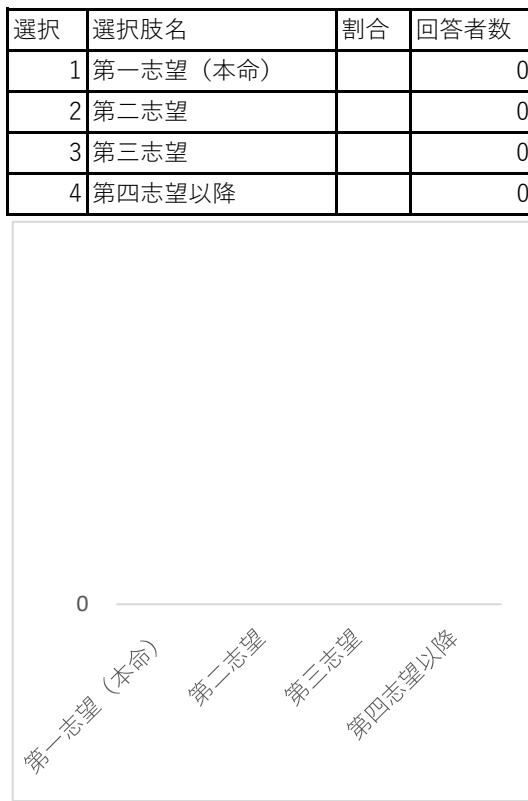


2年

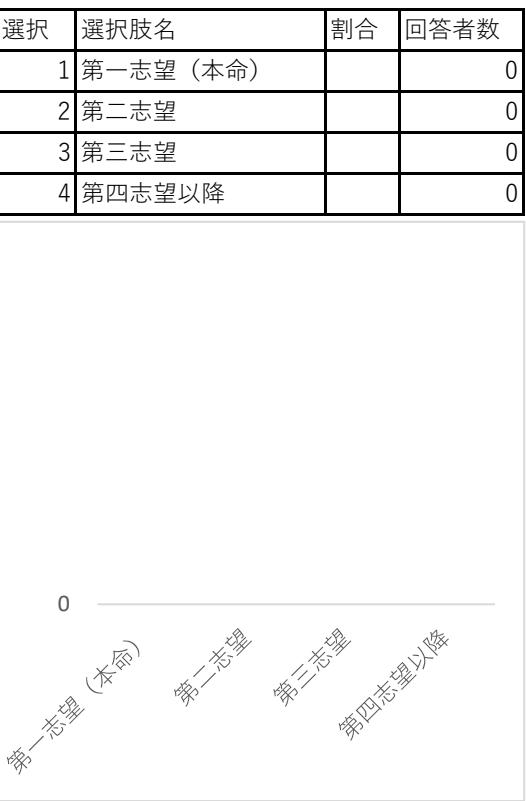
3年

4年

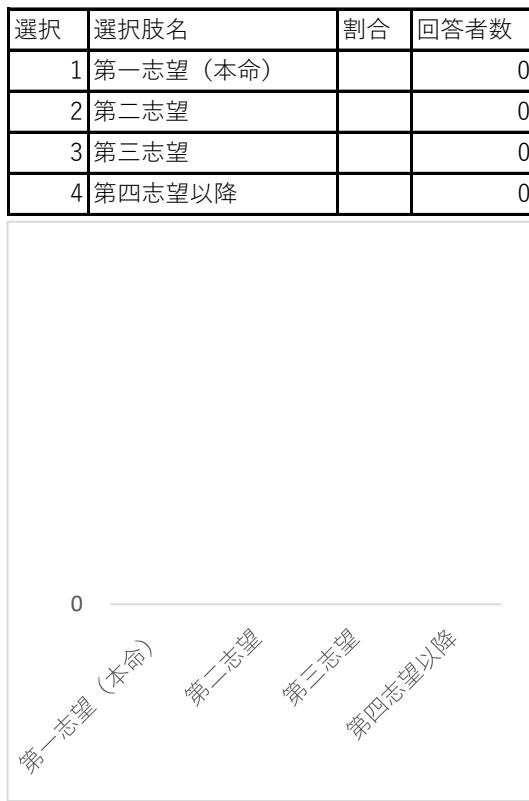
選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0



選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0



選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0



追加資料 7

第二志望以降で志望した合格者の入学率

	R6年度
①：合格者総数	4,467
②：入学者数	1,567
③：②のうち、第一志望	852
④：②のうち、第二志望以降	644
⑤：②のうち、志望順位不明 (② - (③ + ④))	71
⑥：第二志望以降合格者数 (① - (③ + ⑤))	3,544
⑦：第二志望以降入学率 (④ / ⑥)	18.2%

令和8年度開設予定の大学の学部等の設置等に係る学校法人の寄附行為変更の認可申請に関する学校法人分科会の意見に対する回答について  
(書面・面接審査)

学校法人名等	大学名等	学部・学科・研究科名
昭和女子大学	昭和女子大学	総合情報学部 データサイエンス学科 デジタルイノベーション学科

## 1. (意見)

令和5年度に実施した業務・活動内容について、監事監査支援のための事務体制組織としての役割が不確  
明であることから、業務・活動内容における監事監査支援のための事務体制組織としての役割につ  
いて具体的に説明すること。

## (回答)

令和5年度・6年度ともに、総務部が監事の独立性に配慮しつつ、以下の支援業務を行った。

- ・理事会、評議員会、常勤役員会に関する会議資料の事前提供
- ・監事からの質問・意見に対する一時対応及び関係部署への展開及び回答の集約及び調整
- ・緊急かつ重要な案件の即時の情報共有
- ・文部科学省・東京都・私学団体からのガバナンス、教学に係る通知に関する情報提供
- ・学外における諸会議・研究会への出席手配および交通費精算等の事務処理
- ・必要備品の調達
- ・情報端末の維持管理

## 2. (意見)

監査計画を策定している場合には審査参考資料所定の箇所に、直近の監査計画を添付すること。

## (回答)

6月27日提出の審査参考資料の修正版に、令和7年5月22日付「2025(令和7)年度学校法人昭和女子大学監事監査計画」を所定の個所に添付した

## 3. (意見)

審査参考資料の財務比率表に、完成年度における財務比率の記載がないため、修正の上、改めて提出すること。また、完成年度における学生生徒等納付金に対する教育活動支出の割合が同系統の学校法人に比べ低い場合は、学生生徒等学納金の学生への還元方策について説明すること。

## (回答)

審査参考資料の財務比率表については、修正の上6月27日に提出した。

当該財務比率の数値が低いのは、教育活動支出の半分以上を占めている人件費が他大学と比較して低く抑  
えられていることが要因であり、学生への還元が不足していることが理由とは考えていない。(教育研究經  
費比率が全国平均に比べて高い数値が出ていることからも明らかである。)

また、完成年度の予測値は最低限の支出を算出したものであり、物価の高騰時に上振れしても充分学生に  
還元できる経営体制を反映させたものである。

## 4. (意見)

アンケートの集計方法について疑義があることから、以下について説明すること。

- (1) 「データサイエンス学科の入学定員 110%を満たすように計上」とあるが、重複回答の振り分け方法として妥当性を欠いていると考えられることから、改めて入学定員を充足する別の具体的な根拠を示すこと。

(2) 振り分け方法を変更して、デジタルイノベーション学科についての追加アンケート調査を実

施し、以前のアンケート調査における入学意向者数との合計を入学見込み者数として提示しているが、追加のアンケート調査の対象校が以前行ったアンケート調査の対象校と重複していると見受けられ、集計結果が妥当性を欠いていると考えられることから、改めて入学定員を充足する別の具体的な根拠を示すこと。

(回答)

『(1) 「データサイエンス学科の入学定員 110%を満たすように計上」とあるが、重複回答の振り分け方法として妥当性を欠いていると考えられることから、改めて入学定員を充足する別の具体的な根拠を示すこと。』

重複回答の各学科への振り分け方法について妥当性を欠くとの審査意見を受け、以下のとおり新たな振り分け方法を用いて再分析を行った。

## 《概要》

両学科を第一志望で入学意思あり（重複回答 59 名）：両学科が第一志望であり、志望度は同程度

重複回答者については、「両学科への関心や志望度が等しい（ために現段階ではどちらか一方を選択できなかった）」とみなすことが最も妥当であると考えられる。この回答をした人にとっては両学科への志望度の差がないことになるので、どちらかを選ぶかはランダムで同確率となり 1 : 1 で振り分けることになる。この考え方に基づき、重複回答者を 1 : 1 比率で振り分けたうえで分析を実施した。〈方法①〉

あわせて、両学科の定員を同時に充足するうえで「1 : 1 比率」よりも厳しい条件設定として、「入学定員比率」に基づく振り分けでも、分析を実施した。〈方法②〉

## 《1-1\_新たな振り分け方法による再分析》

### 〈方法① 1 : 1 振り分け〉

重複回答については、「両学科への関心や志望度が等しい（ために現段階ではどちらか一方を選択できなかった）」とみなし、1 : 1 の比率で振り分けを実施した（以降、「方法①」）。重複回答者は両学科への志望度の差がなく、どちらを選択するかはランダムで同確率となるため、1 : 1 の比率により振り分けることは妥当と考える。

なお、回答は、本学の主な学生募集地域 5 都県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県）のみに限定している。

その結果、当初のアンケート調査（令和 6 年度調査）（以降、「当初調査」）において、総合情報学部に対応する学問分野に関心があり、「第一志望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択した者（以降、「入学意向者」）の件数は、データサイエンス学科 63 件、デジタルイノベーション学科 36 件となった。【追加資料 1】

データサイエンス学科は、主な学生募集地域における入学意向者数が予定する入学定員 60 名を超えていることから、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

一方、デジタルイノベーション学科は、入学定員 50 名を満たしていない状況である。

## 《1-2\_追加アンケート調査》

上記の状況を受け、デジタルイノベーション学科について追加のアンケート調査（令和 7 年度調査）（以降、「追加調査」）を実施し、再集計を行った。【追加資料 2】

なお、追加調査にあたっては、当初調査に「回答がなかった高校」を対象に選定し、調査を実施した。また、アンケート用紙には、「『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査に回答したことがあるか」を確認する項目を設けており、過去に回答したことがないことを、追加調査のアンケート結果において確認している。

この追加調査結果を加味したところ、デジタルイノベーション学科の主な学生募集地域における入学意向者数は、48 件となった。（36 件【追加資料 1】+12 件【追加資料 2】）

### 《1-3 デジタルイノベーション学科における入学定員の妥当性及び充足根拠》

デジタルイノベーション学科について、入学定員数の妥当性及び定員充足の根拠を示す。

本学の全入学者に対する主な学生募集地域の出身高校所在地県別の入学者構成比（令和 6 年度）は 82.4%である。これをデジタルイノベーション学科の入学定員数 50 名に当てはめた場合、42 件に相当する。【追加資料 3】

デジタルイノベーション学科の主な学生募集地域における入学意向者数は 48 件であり、42 件を超える。このことから入学定員数以上の学生確保が十分見込まれる。

また、当初調査でのデジタルイノベーション学科の主な学生募集地域以外における入学意向者数は 15 件である。【追加資料 4】

これを含めると、合計 63 件となり、入学定員 50 名を超える結果となる。

以上のことから、デジタルイノベーション学科の入学意向者数は入学定員を超えていたため、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

### 《補足（第一志望以外の志望者）》

さらに、本学の実態として、入学者には第一志望以外の志望者も含まれる。これに該当するデジタルイノベーション学科のアンケート調査結果は、以下のとおりである。

#### 【アンケート調査結果】

総合情報学部に対応する学問分野に関心があり、「第二志望として受験する」「第三志望以降として受験する」を選択し、且つ「入学する」「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」を選択した者（以降、「入学意向者(第二志望以降)」）の件数は、142 件（16 件【追加資料 2】+126 件【追加資料 5】）である。

#### 【新入生アンケート】

本学の新入生全員を対象としたアンケートにて本学受験時の志望順位を確認している。令和 6 年度入学者の志望順位状況は【追加資料 6】のとおりである。

また、本学の合格者数、入学者数及び【追加資料 6】から、令和 6 年度における本学を第二志望以降で志望した合格者の入学率は 18.2%である。【追加資料 7】

【アンケート調査結果】【新入生アンケート】から、デジタルイノベーション学科の入学意向者(第二志望以降)は 142 件であり、このうちの 18.2%が入学すると仮定すると 25 件に相当する。これを主な学生募集地域における入学意向者数に加えると、73 件(48 件+25 件)となり、予定する入学定員を超えていることから、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

### 《補足（学生募集活動）》

今回のアンケート結果において、デジタルイノベーション学科の入学意向者が少なかった要因の一つとして、データサイエンス学科に比べて高校生への認知度が低いと考えられる。

今後は、学科の魅力や特色が的確に伝わるよう、広報活動をより一層強化していく。オープンキャンパスでは、学科説明、模擬授業、個別相談などを通じて、学修内容や学生生活を、高校生が具体的にイメージできるような企画を展開する。また、地方の高校生にもアプローチできるよう、オンラインオープンキャンパスも積極的に実施する。高校内での相談会や説明会では、授業内容、卒業後の進路、社会での活躍の実例などを紹介し、デジタルイノベーション学科に対する認知度及び志望度の向上を図る。

### 《2\_その他の振り分け方法》

#### 〈方法② 入学定員比率振り分け〉

志望者が、入学定員の大小や予想される出願者数の大小を踏まえて行動する可能性を考慮し、両学科の定員を同時に充足するうえで〈方法①〉よりも厳しい条件設定として、「設置計画における入学定員

比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）」に基づく振り分けも実施した（以降、「方法②」）。

なお、回答は、本学の主な学生募集地域 5 都県（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県）のみに限定している。

その結果は、以下のとおりである。

当初調査：データサイエンス学科 65 件、デジタルイノベーション学科 34 件【追加資料 8】

追加調査：デジタルイノベーション学科 12 件【追加資料 2】

当初調査(主な学生募集地域以外)：デジタルイノベーション学科 15 件【追加資料 9】

上記より、デジタルイノベーション学科の主な学生募集地域における入学意向者数は 46 件（34 件【追加資料 8】+12 件【追加資料 2】）であり、42 件（入学定員 50 名の 82.4%）を超えている。このことから入学定員数以上の学生確保が十分見込まれる。

また、当初調査でのデジタルイノベーション学科の主な学生募集地域以外における入学意向者数は 15 件である。

これを含めると、合計 61 件となり、入学定員 50 名を超える結果となる。

以上のことから、両学科の定員を同時に充足するうえで〈方法①〉より条件の厳しい〈方法②〉においても、データサイエンス学科及びデジタルイノベーション学科の入学意向者数は入学定員を超えているため、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

#### 《補足（第一志望以外の志望者）》

〈方法②〉におけるデジタルイノベーション学科の入学意向者(第二志望以降)の件数は、137 件（16 件【追加資料 2】+121 件【追加資料 10】）であり、このうちの 18.2%が入学すると仮定すると 24 件に相当する。これを主な学生募集地域における入学意向者数に加えると、70 件(46 件+24 件)となり、予定する入学定員を超えていることから、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

『（2）振り分け方法を変更して、デジタルイノベーション学科についての追加アンケート調査を実施し、以前のアンケート調査における入学意向者数との合計を入学見込み者数として提示しているが、追加のアンケート調査の対象校が以前行ったアンケート調査の対象校と重複していると見受けられ、集計結果が妥当性を欠いていると考えられることから、改めて入学定員を充足する別の具体的な根拠を示すこと。』

当初調査における「調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧」には、回答の有無に関わらず、協力依頼を送付した高校すべてを記載している。そのため、この一覧には、アンケートに回答があった高校と、回答がなかった高校が混在している。

今回の追加調査にあたっては、当初調査に「回答がなかった高校」を対象に選定し、調査を実施した。【追加資料 11】

また、アンケート用紙には、「『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査に回答したことがあるか」を確認する項目を設けており、過去に回答したことがないことを、追加調査のアンケート結果において確認している。【追加資料 2\_p14】

審査意見のとおり、前回の審査意見への回答では、追加のアンケート調査の対象校が以前行ったアンケート調査の対象校と重複していると見受けられてしまう可能性がある。これを踏まえ、【追加資料 2\_p11】の「選定の根拠」に『以前のアンケート調査（令和 6 年度調査）に回答がなかった高等学校』という一文を追記し、記述を修正した。

※ 回答に関し、参考となる資料等がある場合は、必要に応じて添付してください。

**昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称: 設置構想中)  
設置に関する受容性調査 再集計  
【高校生】**

株式会社日本ドリコム  
令和7年6月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	6
3 属性等	8
4 受験意向・入学意向	9

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とすることを目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和6年7月1日～令和6年12月25日

- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査

令和6年7月～10月

- ・WEBインターネット調査（全国の高校2年生・女子を対象に実施）

令和6年11月～12月

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校2年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学オープンキャンパス参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。WEBインターネット調査については、全国の高校2年生・女子を対象に、回答者の属性管理等について一定の品質が保たれているLINEアンケートパネルを利用し調査を実施した。

### (4) 有効回答数 12,711件

- ・高等学校への依頼による調査（11,515件）
- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査（251件）
- ・WEBインターネット調査（945件）

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

(7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校2年生の女子生徒について、有効回答12,711件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答12,711件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答者は1,103件であり、募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者のみで集計した場合は923件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参照し、適宜選択しとして設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、総合情報学部データサイエンス学科63件、総合情報学部デジタルイノベーション学科36件であった。

尚、複数の学科にて、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」と回答したものは、ダブルカウントせずに、いずれか一つの学科・専攻のみで集計している。

#### ■総合情報学部 データサイエンス学科

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14.0%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	4	0.4%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	63	48. 8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3. 9%
入学しない	1	0. 8%
未回答	31	24. 0%
重複回答	29	22. 5%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したもののうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

■総合情報学部 デジタルイノベーション学科

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	36	47. 3%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13. 2%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%
重複回答	30	39. 5%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したもののうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	12711	割合
女性	12711	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	12711	割合
高校 3 年生	-	- %
高校 2 年生	12711	100.0%
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	12711	割合
東京都	4369	34.4%
神奈川県	2335	18.4%
千葉県	1774	14.0%
埼玉県	922	7.3%
その他（茨城県）	458	3.6%
その他（茨城県以外）	2846	22.4%
未回答	7	0.1%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した11,398件の内、設置者「私立」の回答は9,213件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	12711	割合
大学	11398	89.7%
短期大学	676	5.3%
専門職大学	381	3.0%
専門職短期大学	113	0.9%
専門学校	1677	13.2%
就職	383	3.0%
その他	93	0.7%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	11398	割合
私立	9213	80.8%
公立	2887	25.3%
国立	3312	29.1%
その他	74	0.6%

## (2)興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は923件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県 923件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学等)	449	4.9%
保健(医学、看護学等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

### (3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 を 感 じる	ど ら と え 魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 を 感 じ い	魅 力 を 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	1103	29.7%	45.8%	9.2%	6.8%	8.4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	1103	42.9%	36.9%	6.3%	5.4%	8.4%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	1103	33.3%	41.5%	10.1%	6.6%	8.5%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	1103	36.1%	40.7%	9.0%	5.6%	8.6%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	1103	34.4%	41.4%	10.2%	5.5%	8.4%	

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が129件、そのうち63件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した59件は2等分にし、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

##### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14.0%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	4	0.4%

##### 入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	63	48.8%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3.9%
入学しない	1	0.8%
未回答	31	24.0%
重複回答	29	22.5%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

##### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	63	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	24	125
入学しない	1	4	13
重複回答	29	-	-

#### (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が76件、そのうちデジタルイノベーション学科に36件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した59件は2等分にし、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

#### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

#### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	36	47. 3%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13. 2%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%
重複回答	30	39. 5%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	36	10	7
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	45	121
入学しない	0	3	9
重複回答	30	-	-

## 資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 1,161校（順不同）

### 選定の根拠

昭和女子大学への入学実績のある高等学校及びオープンキャンパス参加者実績のある高等学校

北海道札幌西高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校	秋田県立秋田中央高等学校
北海道札幌北高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	秋田県立秋田西高等学校
北海道札幌月寒高等学校	岩手県立盛岡第四高等学校	秋田県立湯沢翔北高等学校
北海道札幌啓成高等学校	岩手県立黒沢尻北高等学校	山形県立山形東高等学校
北海道札幌白石高等学校	岩手県立一関第一高等学校	山形県立山形西高等学校
市立札幌旭丘高等学校	岩手県立大船渡高等学校	山形県立山形北高等学校
市立札幌清田高等学校	岩手県立遠野高等学校	山形市立商業高等学校
北海道岩見沢東高等学校	岩手県立宮古高等学校	山形県立米沢東高等学校
北海道網走南ヶ丘高等学校	岩手県立釜石高等学校	山形県立庄内総合高等学校
北海道室蘭清水丘高等学校	盛岡白百合学園高等学校	山形県立酒田東高等学校
北海道帯広柏葉高等学校	盛岡大学附属高等学校	山形県立酒田西高等学校
北海道釧路湖陵高等学校	宮城県佐沼高等学校	惺山高等学校
北海道静内農業高等学校	宮城県石巻高等学校	東海大学山形高等学校
市立札幌新川高等学校	宮城県泉高等学校	福島県立福島高等学校
北海道札幌国際情報高等学校	宮城県宮城第一高等学校	福島県立安積黎明高等学校
市立札幌開成中等教育学校	宮城県仙台二華高等学校	福島県立白河高等学校
藤女子高等学校	宮城県古川黎明高等学校	福島県立白河旭高等学校
北星学園女子高等学校	宮城県仙台南高等学校	福島県立会津高等学校
札幌新陽高等学校	宮城県泉館山高等学校	福島県立葵高等学校
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	宮城県宮城野高等学校	福島県立喜多方高等学校
札幌聖心女子学院高等学校	仙台市立仙台青陵中等教育学校	福島県立磐城高等学校
遺愛女子高等学校	宮城県気仙沼高等学校	福島県立磐城桜が丘高等学校
帯広大谷高等学校	仙台育英学園高等学校	福島県立原町高等学校
札幌日本大学高等学校	宮城学院高等学校	福島県立郡山高等学校
青森県立青森高等学校	仙台白百合学園高等学校	福島県立福島東高等学校
青森県立青森東高等学校	尚絅学院高等学校	福島成蹊高等学校
青森県立青森南高等学校	常盤木学園高等学校	桜の聖母学院高等学校
青森県立弘前高等学校	聖ウルスラ学院英智高等学校	郡山女子大学附属高等学校
青森県立弘前中央高等学校	聖ドミニコ学院高等学校	尚志高等学校
青森県立八戸東高等学校	秋田県立秋田北高等学校	日本大学東北高等学校
青森県立八戸北高等学校	秋田県立秋田南高等学校	福島県磐城第一高等学校
青森県立八戸西高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	茨城県立日立第一高等学校
東奥義塾高等学校	秋田県立能代高等学校	茨城県立日立第二高等学校
弘前学院聖愛高等学校	秋田県立本荘高等学校	茨城県立多賀高等学校
青森明の星高等学校	秋田県立湯沢高等学校	茨城県立水戸第一高等学校

茨城県立水戸第二高等学校	岩瀬日本大学高等学校	群馬県立高崎北高等学校
茨城県立水戸第三高等学校	つくば国際大学東風高等学校	群馬県立太田東高等学校
茨城県立緑岡高等学校	栃木県立宇都宮東高等学校	群馬県立高崎東高等学校
茨城県立鉢田第一高等学校	栃木県立宇都宮南高等学校	高崎市立高崎経済大学附属高等学校
茨城県立鹿島高等学校	栃木県立宇都宮女子高等学校	群馬県立伊勢崎高等学校
茨城県立土浦第一高等学校	栃木県立宇都宮商業高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
茨城県立土浦第二高等学校	栃木県立鹿沼高等学校	群馬県立富岡高等学校
茨城県立土浦第三高等学校	栃木県立石橋高等学校	群馬県立桐生高等学校
茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	栃木県立小山高等学校	共愛学園高等学校
茨城県立取手第一高等学校	栃木県立栃木女子高等学校	新島学園高等学校
茨城県立藤代高等学校	栃木県立佐野高等学校	高崎商科大学附属高等学校
茨城県立下館第一高等学校	栃木県立足利高等学校	関東学園大学附属高等学校
茨城県立下館第二高等学校	栃木県立真岡女子高等学校	東京農業大学第二高等学校
茨城県立下妻第一高等学校	栃木県立大田原女子高等学校	樹徳高等学校
茨城県立水海道第一高等学校	栃木県立矢板東高等学校	高崎健康福祉大学高崎高等学校
茨城県立古河第二高等学校	栃木県立宇都宮北高等学校	ぐんま国際アカデミー高等部
茨城県立古河第三高等学校	栃木県立鹿沼東高等学校	筑波大学附属坂戸高等学校
茨城県立境高等学校	栃木県立さくら清修高等学校	埼玉県立川口高等学校
茨城県立竹園高等学校	栃木県立栃木翔南高等学校	埼玉県立浦和第一女子高等学校
茨城県立日立北高等学校	栃木県立佐野東高等学校	埼玉県立熊谷女子高等学校
茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	栃木県立宇都宮中央高等学校	埼玉県立川越女子高等学校
茨城県立牛久栄進高等学校	作新学院高等学校	埼玉県立春日部女子高等学校
茨城県立伊奈高等学校	宇都宮文星女子高等学校	埼玉県立松山女子高等学校
茨城県立並木中等教育学校	宇都宮短期大学附属高等学校	埼玉県立深谷第一高等学校
茨城県立古河中等教育学校	星の杜高等学校	埼玉県立浦和西高等学校
茨城県立勝田中等教育学校	國學院大學栃木高等学校	埼玉県立不動岡高等学校
明秀学園日立高等学校	佐野日本大学高等学校	埼玉県立本庄高等学校
茨城キリスト教学園高等学校	足利短期大学附属高等学校	埼玉県立越ヶ谷高等学校
茨城高等学校	足利大学附属高等学校	埼玉県立久喜高等学校
大成女子高等学校	白鷗大学足利高等学校	埼玉県立大宮高等学校
常磐大学高等学校	矢板中央高等学校	埼玉県立蕨高等学校
水城高等学校	佐野日本大学中等教育学校	埼玉県立草加高等学校
土浦日本大学高等学校	幸福の科学学園高等学校	埼玉県立朝霞高等学校
霞ヶ浦高等学校	群馬県立前橋南高等学校	埼玉県立岩槻高等学校
東洋大学附属牛久高等学校	群馬県立前橋女子高等学校	埼玉県立越谷北高等学校
清真学園高等学校	群馬県立高崎女子高等学校	埼玉県立坂戸高等学校
江戸川学園取手高等学校	群馬県立太田女子高等学校	埼玉県立大宮商業高等学校
茗溪学園高等学校	群馬県立沼田女子高等学校	埼玉県立与野高等学校
常総学院高等学校	群馬県立館林女子高等学校	埼玉県立鴻巣高等学校
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	群馬県立渋川女子高等学校	埼玉県立所沢高等学校
鹿島学園高等学校	前橋市立前橋高等学校	

埼玉県立上尾高等学校	大宮開成高等学校	千葉県立国府台高等学校
埼玉県立豊岡高等学校	狹山ヶ丘高等学校	千葉県立国分高等学校
埼玉県立桶川高等学校	本庄東高等学校	千葉県立松戸高等学校
埼玉県立越谷南高等学校	武藏越生高等学校	千葉県立小金高等学校
埼玉県立川口北高等学校	武南高等学校	千葉県立松戸国際高等学校
埼玉県立所沢北高等学校	浦和実業学園高等学校	千葉県立東葛飾高等学校
埼玉県立熊谷西高等学校	星野高等学校	千葉県立柏高等学校
埼玉県立川越南高等学校	大妻嵐山高等学校	千葉県立柏南高等学校
埼玉県立三郷高等学校	浦和明の星女子高等学校	千葉県立流山おおたかの森高等学校
埼玉県立草加南高等学校	青山学院大学系属浦和ルーテル学院高等学校	千葉県立我孫子高等学校
埼玉県立富士見高等学校	埼玉栄高等学校	千葉県立印旛明誠高等学校
埼玉県立春日部東高等学校	浦和学院高等学校	千葉県立佐倉高等学校
埼玉県立杉戸高等学校	栄東高等学校	千葉県立四街道高等学校
さいたま市立浦和高等学校	秀明高等学校	千葉県立成田国際高等学校
川越市立川越高等学校	昌平高等学校	千葉県立佐原高等学校
さいたま市立大宮北高等学校	獨協埼玉高等学校	千葉県立鎌子高等学校
さいたま市立浦和南高等学校	春日部共栄高等学校	千葉県立匝瑳高等学校
埼玉県立浦和北高等学校	西武台高等学校	千葉県立成東高等学校
埼玉県立越谷西高等学校	西武学園文理高等学校	千葉県立東金高等学校
埼玉県立坂戸西高等学校	花咲徳栄高等学校	千葉県立長生高等学校
埼玉県立所沢西高等学校	秋草学園高等学校	千葉県立茂原高等学校
埼玉県立南稜高等学校	開智高等学校	千葉県立長狭高等学校
埼玉県立三郷北高等学校	埼玉平成高等学校	千葉県立安房高等学校
埼玉県立松伏高等学校	東京農業大学第三高等学校	千葉県立木更津高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	国際学院高等学校	習志野市立習志野高等学校
埼玉県立新座総合技術高等学校	栄北高等学校	千葉市立千葉高等学校
埼玉県立入間向陽高等学校	開智未来高等学校	松戸市立松戸高等学校
埼玉県立伊奈学園総合高等学校	千葉県立千葉高等学校	鎌子市立鎌子高等学校
埼玉県立大宮光陵高等学校	千葉県立千葉女子高等学校	千葉県立磯辺高等学校
埼玉県立久喜北陽高等学校	千葉県立千葉東高等学校	千葉県立市川東高等学校
埼玉県立光国際高等学校	千葉県立千葉商業高等学校	柏市立柏高等学校
埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	千葉県立千葉南高等学校	千葉県立千城台高等学校
川口市立高等学校	千葉県立検見川高等学校	千葉県立津田沼高等学校
聖望学園高等学校	千葉県立千葉北高等学校	千葉県立柏陵高等学校
創明高等学校	千葉県立若松高等学校	千葉県立船橋芝山高等学校
浦和麗明高等学校	千葉県立八千代高等学校	千葉県立松戸六実高等学校
細田学園高等学校	千葉県立船橋高等学校	千葉県立八千代東高等学校
淑徳与野高等学校	千葉県立薬園台高等学校	千葉市立稻毛高等学校
本庄第一高等学校	千葉県立船橋東高等学校	千葉県立柏中央高等学校
山村学園高等学校	千葉県立船橋啓明高等学校	千葉県立市原八幡高等学校
山村国際高等学校	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	千葉県立千葉西高等学校

千葉県立市川昂高等学校	筑波大学附属高等学校	東京都立田園調布高等学校
千葉県立柏の葉高等学校	東京学芸大学附属高等学校	東京都立豊島高等学校
千葉県立幕張総合高等学校	東京大学教育学部附属中等教育学校	東京都立戸山高等学校
成田高等学校	東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京都立豊多摩高等学校
昭和学院高等学校	東京都立青山高等学校	東京都立西高等学校
千葉敬愛高等学校	東京都立足立高等学校	東京都立農業高等学校
千葉経済大学附属高等学校	東京都立井草高等学校	東京都立白鷗高等学校
市川高等学校	東京都立板橋高等学校	東京都立八王子東高等学校
東葉高等学校	東京都立上野高等学校	東京都立八丈高等学校
千葉黎明高等学校	東京都立江戸川高等学校	東京都立東高等学校
和洋国府台女子高等学校	東京都立園芸高等学校	東京都立東大和高等学校
麗澤高等学校	東京都立大泉高等学校	東京都立日野高等学校
千葉英和高等学校	東京都立大崎高等学校	東京都立日比谷高等学校
日出学園高等学校	東京都立大山高等学校	東京都立広尾高等学校
千葉明徳高等学校	東京都立葛飾商業高等学校	東京都立深川高等学校
千葉商科大学付属高等学校	東京都立北園高等学校	東京都立深沢高等学校
国府台女子学院高等部	東京都立清瀬高等学校	東京都立富士高等学校
東邦大学付属東邦高等学校	東京都立国立高等学校	東京都立府中高等学校
敬愛学園高等学校	東京都立小岩高等学校	東京都立府中東高等学校
専修大学松戸高等学校	東京都立国分寺高等学校	東京都立府中西高等学校
日本大学習志野高等学校	東京都立小山台高等学校	東京都立福生高等学校
千葉日本大学第一高等学校	東京都立江北高等学校	東京都立文京高等学校
二松学舎大学附属柏高等学校	東京都立神津高等学校	東京都立保谷高等学校
東海大学付属浦安高等学校	東京都立小平高等学校	東京都立本所高等学校
八千代松陰高等学校	東京都立狛江高等学校	東京都立町田高等学校
暁星国際高等学校	東京都立松川高等学校	東京都立三田高等学校
東京学館高等学校	東京都立駒場高等学校	東京都立向丘高等学校
植草学園大学附属高等学校	東京都立鷺宮高等学校	東京都立武蔵高等学校
芝浦工業大学柏高等学校	東京都立桜町高等学校	東京都立武蔵丘高等学校
東京学館浦安高等学校	東京都立忍岡高等学校	東京都立目黒高等学校
志学館高等部	東京都立石神井高等学校	東京都立紅葉川高等学校
昭和学院秀英高等学校	東京都立昭和高等学校	東京都立八潮高等学校
市原中央高等学校	東京都立新宿高等学校	東京都立雪谷高等学校
光英V E R I T A S 高等学校	東京都立神代高等学校	東京都立両国高等学校
秀明大学学校教師学部附属秀明	東京都立杉並高等学校	東京都立小平西高等学校
八千代高等学校	東京都立墨田川高等学校	東京都立調布南高等学校
流通経済大学付属柏高等学校	東京都立竹早高等学校	東京都立城東高等学校
西武台千葉高等学校	東京都立立川高等学校	東京都立成瀬高等学校
翔凜高等学校	東京都立調布北高等学校	東京都立武蔵野北高等学校
木更津総合高等学校		東京都立小川高等学校
東京工業大学附属科学技術高等学校		

東京都立田柄高等学校	東京家政学院高等学校	文京学院大学女子高等学校
東京都立松が谷高等学校	東洋高等学校	広尾学園小石川高等学校
東京都立山崎高等学校	二松學舍大学附属高等学校	上野学園高等学校
東京都立小平南高等学校	雙葉高等学校	桜丘高等学校
東京都立東大和南高等学校	三輪田学園高等学校	順天高等学校
東京都立南平高等学校	和洋九段女子高等学校	女子聖学院高等学校
東京都立晴海総合高等学校	開智日本橋学園高等学校	駿台学園高等学校
東京都立つばさ総合高等学校	広尾学園高等学校	サレジアン国際学園高等学校
東京都立芦花高等学校	頌栄女子学院高等学校	成立学園高等学校
東京都立杉並総合高等学校	聖心女子学院高等科	瀧野川女子学園高等学校
東京都立上水高等学校	正則高等学校	東京成徳大学高等学校
東京都立千早高等学校	三田国際学園高等学校	武蔵野高等学校
東京都立翔陽高等学校	東京女子学園高等学校	北豊島高等学校
東京都立若葉総合高等学校	東洋英和女学院高等部	日本大学第一高等学校
東京都立青梅総合高等学校	普連土学園高等学校	安田学園高等学校
東京都立日野台高等学校	明治学院高等学校	中村高等学校
東京都立小金井北高等学校	山脇学園高等学校	潤徳女子高等学校
東京都立国際高等学校	学習院女子高等科	共栄学園高等学校
東京都立小石川中等教育学校	成女高等学校	修徳高等学校
東京都立桜修館中等教育学校	目白研心高等学校	愛國高等学校
東京都立板橋有徳高等学校	青山学院高等部	江戸川女子高等学校
東京都立東久留米総合高等学校	関東国際高等学校	関東第一高等学校
千代田区立九段中等教育学校	国学院高等学校	品川翔英高等学校
東京都立世田谷総合高等学校	実践女子学園高等学校	香蘭女学校高等科
東京都立大田桜台高等学校	渋谷教育学園渋谷高等学校	品川女子学院高等部
東京都立立川国際中等教育学校	東京女学館高等学校	青稜高等学校
東京都立総合芸術高等学校	富士見丘高等学校	朋優学院高等学校
東京都立町田総合高等学校	晃華学園高等学校	品川学藝高等学校
東京都立多摩科学技術高等学校	桐朋女子高等学校	品川エトワール女子高等学校
東京都立南多摩中等教育学校	跡見学園高等学校	立正大学付属立正高等学校
東京都立三鷹中等教育学校	郁文館高等学校	文教大学付属高等学校
東京都立王子総合高等学校	郁文館グローバル高等学校	トキワ松学園高等学校
大妻高等学校	桜蔭高等学校	目黒日本大学高等学校
かえつ有明高等学校	京華女子高等学校	目黒学院高等学校
神田女学園高等学校	東洋大学京北高等学校	多摩大学目黒高等学校
共立女子高等学校	駒込高等学校	八雲学園高等学校
錦城学園高等学校	小石川淑徳学園高等学校	大森学園高等学校
麹町学園女子高等学校	昭和第一高等学校	羽田国際高等学校
女子学院高等学校	貞静学園高等学校	東京高等学校
白百合学園高等学校	東京電機大学高等学校	田園調布学園高等部
武蔵野大学附属千代田高等学院	東洋女子高等学校	鷗友学園女子高等学校

国本女子高等学校	豊島岡女子学園高等学校	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
恵泉女学園高等学校	豊島学院高等学校	神奈川県立横浜平沼高等学校
佼成学園女子高等学校	豊南高等学校	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校
国士館高等学校	淑徳高等学校	神奈川県立横浜立野高等学校
駒沢学園女子高等学校	大東文化大学第一高等学校	神奈川県立光陵高等学校
駒澤大学高等学校	帝京高等学校	神奈川県立商工高等学校
駒場学園高等学校	東京家政大学附属女子高等学校	神奈川県立希望ヶ丘高等学校
松蔭大学附属松蔭高等学校	日本大学豊山女子高等学校	神奈川県立港北高等学校
成城学園高等学校	東京女子学院高等学校	神奈川県立川和高等学校
下北沢成徳高等学校	富士見高等学校	神奈川県立市ヶ尾高等学校
聖ドミニコ学園高等学校	共立女子第二高等学校	神奈川県立霧が丘高等学校
大東学園高等学校	工学院大学附属高等学校	神奈川県立柏陽高等学校
玉川聖学院高等部	帝京大学高等学校	神奈川県立松陽高等学校
田園調布雙葉高等学校	東京純心女子高等学校	神奈川県立金井高等学校
東京農業大学第一高等学校	八王子学園八王子高等学校	神奈川県立川崎高等学校
東京都市大学等々力高等学校	八王子実践高等学校	神奈川県立新城高等学校
日本大学櫻丘高等学校	昭和第一学園高等学校	神奈川県立川崎北高等学校
サレジアン国際学園世田谷高等学校	立川女子高等学校	神奈川県立多摩高等学校
日本工業大学駒場高等学校	明星高等学校	神奈川県立生田高等学校
和光高等学校	桜美林高等学校	神奈川県立百合丘高等学校
玉川学園高等部	錦城高等学校	神奈川県立横須賀高等学校
日本大学第三高等学校	白梅学園高等学校	神奈川県立横須賀大津高等学校
実践学園高等学校	創価高等学校	神奈川県立追浜高等学校
東亜学園高等学校	拓殖大学第一高等学校	神奈川県立平塚江南高等学校
新渡戸文化高等学校	明治学院東村山高等学校	神奈川県立鎌倉高等学校
大妻中野高等学校	明法高等学校	神奈川県立七里ガ浜高等学校
宝仙学園高等学校	国立音楽大学附属高等学校	神奈川県立湘南高等学校
杉並学院高等学校	聖徳学園高等学校	神奈川県立藤沢西高等学校
光塩女子学院高等科	吉祥女子高等学校	神奈川県立小田原高等学校
國學院大學久我山高等学校	成蹊高等学校	神奈川県立西湘高等学校
文化学園大学杉並高等学校	藤村女子高等学校	神奈川県立茅ヶ崎高等学校
女子美術大学付属高等学校	大成高等学校	神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校
中央大学杉並高等学校	明星学園高等学校	神奈川県立鶴嶺高等学校
東京立正高等学校	武藏野大学高等学校	神奈川県立相原高等学校
日本大学第二高等学校	文華女子高等学校	神奈川県立上溝高等学校
日本大学鶴ヶ丘高等学校	国際基督教大学高等学校	神奈川県立相模原高等学校
立教女学院高等学校	東海大学菅生高等学校	神奈川県立麻溝台高等学校
川村高等学校	穎明館高等学校	神奈川県立上溝南高等学校
十文字高等学校	大妻多摩高等学校	神奈川県立津久井浜高等学校
城西大学附属城西高等学校	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	神奈川県立秦野高等学校
淑徳巣鴨高等学校	神奈川県立鶴見高等学校	神奈川県立厚木高等学校

神奈川県立伊志田高等学校	神奈川県立相模原中等教育学校	鵠沼高等学校
神奈川県立大和高等学校	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	湘南工科大学附属高等学校
神奈川県立座間高等学校	神奈川県立藤沢清流高等学校	湘南学園高等学校
神奈川県立大磯高等学校	神奈川県立横浜氷取沢高等学校	湘南白百合学園高等学校
神奈川県立新羽高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校	日本大学藤沢高等学校
神奈川県立生田東高等学校	フェリス女学院高等学校	聖園女学院高等学校
神奈川県立綾瀬高等学校	横浜雙葉高等学校	向上高等学校
横浜市立南高等学校	横浜共立学園高等学校	相洋高等学校
横浜市立桜丘高等学校	横浜女学院高等学校	アセイア湘南高等学校
横浜市立金沢高等学校	中央大学附属横浜高等学校	聖和学院高等学校
横浜市立戸塚高等学校	関東学院高等学校	光明学園相模原高等学校
横浜市立東高等学校	青山学院横浜英和高等学校	相模女子大学高等部
川崎市立川崎高等学校	横浜清風高等学校	東海大学付属相模高等学校
川崎市立高津高等学校	神奈川学園高等学校	麻布大学附属高等学校
川崎市立橘高等学校	横浜創英高等学校	聖セシリ亞女子高等学校
横浜市立横浜商業高等学校	搜真女学校高等学部	立花学園高等学校
川崎市立幸高等学校	白鵬女子高等学校	函嶺白百合学園高等学校
神奈川県立二宮高等学校	橘学苑高等学校	神奈川大学附属高等学校
神奈川県立橋本高等学校	鶴見大学附属高等学校	横浜隼人高等学校
神奈川県立荏田高等学校	聖ヨゼフ学園高等学校	桐光学園高等学校
神奈川県立海老名高等学校	法政大学国際高等学校	森村学園高等部
神奈川県立住吉高等学校	横浜商科大学高等学校	横浜翠陵高等学校
神奈川県立岸根高等学校	英理女子学院高等学校	公文国際学園高等部
神奈川県立新栄高等学校	桐蔭学園高等学校	自修館中等教育学校
神奈川県立大船高等学校	日本大学高等学校	横浜富士見丘学園高等学校
神奈川県立有馬高等学校	横浜学園高等学校	新潟県立新潟高等学校
神奈川県立元石川高等学校	関東学院六浦高等学校	新潟県立新潟中央高等学校
神奈川県立麻生高等学校	横浜創学館高等学校	新潟県立新潟南高等学校
神奈川県立湘南台高等学校	横浜高等学校	新潟県立新潟江南高等学校
神奈川県立深沢高等学校	山手学院高等学校	新潟県立新潟商業高等学校
神奈川県立大和西高等学校	湘南学院高等学校	新潟県立新発田高等学校
神奈川県立城郷高等学校	三浦学苑高等学校	新潟県立長岡高等学校
神奈川県立神奈川総合高等学校	横須賀学院高等学校	新潟県立長岡大手高等学校
横浜市立みなと総合高等学校	カリタス女子高等学校	新潟県立三条高等学校
神奈川県立横浜南陵高等学校	洗足学園高等学校	新潟県立三条東高等学校
横須賀市立横須賀総合高等学校	日本女子大学附属高等学校	新潟県立十日町高等学校
神奈川県立横浜清陵高等学校	平塚学園高等学校	新潟県立柏崎高等学校
神奈川県立横浜国際高等学校	鎌倉女学院高等学校	新潟県立高田北城高等学校
神奈川県立横浜栄高等学校	北鎌倉女子学園高等学校	新潟県立佐渡高等学校
神奈川県立座間総合高等学校	鎌倉女子大学高等部	新潟市立万代高等学校
神奈川県立平塚中等教育学校	清泉女学院高等学校	新潟県立新発田南高等学校

新潟県立長岡向陵高等学校	福井県立高志高等学校	長野県下諏訪向陽高等学校
新潟県立国際情報高等学校	福井県立羽水高等学校	長野県大町岳陽高等学校
新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	福井県立武生高等学校	松本第一高等学校
新潟県立燕中等教育学校	福井県立金津高等学校	長野清泉女学院高等学校
新潟県立津南中等教育学校	仁愛女子高等学校	文化学園長野高等学校
新潟県立直江津中等教育学校	山梨県立甲府第一高等学校	上田西高等学校
新潟明訓高等学校	山梨県立甲府南高等学校	東京都市大学塩尻高等学校
新潟青陵高等学校	山梨県立巨摩高等学校	佐久長聖高等学校
北越高等学校	山梨県立都留高等学校	松本秀峰中等教育学校
中越高等学校	山梨県立吉田高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
新潟清心女子高等学校	山梨県立甲府西高等学校	岐阜県立岐阜北高等学校
新潟第一高等学校	山梨県立甲府東高等学校	岐阜県立岐山高等学校
東京学館新潟高等学校	北杜市立甲陵高等学校	岐阜県立加納高等学校
富山県立桜井高等学校	山梨県立甲府昭和高等学校	岐阜県立大垣北高等学校
富山県立滑川高等学校	山梨英和高等学校	岐阜県立関高等学校
富山県立富山北部高等学校	駿台甲府高等学校	岐阜県立多治見北高等学校
富山県立富山東高等学校	山梨学院高等学校	岐阜県立恵那高等学校
富山県立富山南高等学校	東海大学付属甲府高等学校	岐阜県立斐太高等学校
富山県立富山高等学校	日本大学明誠高等学校	聖マリア女学院高等学校
富山県立富山いずみ高等学校	日本航空高等学校	大垣日本大学高等学校
富山県立富山中部高等学校	長野県須坂高等学校	高山西高等学校
富山県立富山西高等学校	長野県長野吉田高等学校	静岡県立韮山高等学校
富山県立高岡高等学校	長野県長野高等学校	静岡県立三島南高等学校
富山県立氷見高等学校	長野県長野西高等学校	静岡県立三島北高等学校
富山県立砺波高等学校	長野県長野商業高等学校	静岡県立御殿場南高等学校
富山県立吳羽高等学校	長野県篠ノ井高等学校	静岡県立沼津東高等学校
富山県立南砺福野高等学校	長野県屋代高等学校	静岡県立沼津西高等学校
富山第一高等学校	長野県上田染谷丘高等学校	静岡県立吉原高等学校
富山国際大学付属高等学校	長野県岩村田高等学校	静岡県立富士高等学校
片山学園高等学校	長野県野沢北高等学校	静岡県立清水南高等学校
石川県立小松高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	静岡県立静岡高等学校
石川県立金沢錦丘高等学校	長野県諏訪二葉高等学校	静岡県立静岡城北高等学校
石川県立金沢二水高等学校	長野県岡谷南高等学校	静岡県立静岡東高等学校
石川県立金沢桜丘高等学校	長野県伊那北高等学校	静岡県立焼津中央高等学校
石川県立羽咋高等学校	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校	静岡県立藤枝東高等学校
石川県立七尾高等学校	長野県飯田高等学校	静岡県立島田高等学校
石川県立小松明峰高等学校	長野県飯田風越高等学校	静岡県立榛原高等学校
星稜高等学校	長野県松本県ヶ丘高等学校	静岡県立掛川西高等学校
小松大谷高等学校	長野県松本深志高等学校	静岡県立袋井高等学校
鵬学園高等学校	長野県松本蟻ヶ崎高等学校	静岡県立磐田南高等学校
福井県立藤島高等学校	長野県豊科高等学校	静岡県立浜松北高等学校

静岡県立浜松西高等学校	愛知県立豊橋東高等学校	兵庫県立八鹿高等学校
静岡県立浜名高等学校	愛知県立豊丘高等学校	兵庫県立川西北陵高等学校
沼津市立沼津高等学校	愛知県立小坂井高等学校	兵庫県立芦屋国際中等教育学校
富士市立高等学校	名古屋市立桜台高等学校	親和女子高等学校
静岡市立高等学校	愛知県立豊田北高等学校	神戸常盤女子高等学校
浜松市立高等学校	愛知県立豊田南高等学校	愛徳学園高等学校
静岡県立富士東高等学校	名古屋市立名東高等学校	帝塚山高等学校
静岡県立伊豆中央高等学校	愛知高等学校	智辯学園奈良カレッジ高等部
静岡県立浜北西高等学校	愛知淑徳高等学校	和歌山県立向陽高等学校
静岡県立下田高等学校	桜花学園高等学校	和歌山県立日高高等学校
静岡県立駿河総合高等学校	愛知工業大学名電高等学校	和歌山県立田辺高等学校
不二聖心女子学院高等学校	名城大学附属高等学校	近畿大学附属新宮高等学校
知徳高等学校	聖霊高等学校	近畿大学附属和歌山高等学校
日本大学三島高等学校	清林館高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校
加藤学園高等学校	杜若高等学校	鳥取県立米子西高等学校
星陵高等学校	栄徳高等学校	鳥取城北高等学校
東海大学付属静岡翔洋高等学校	大成高等学校	島根県立出雲高等学校
静岡雙葉高等学校	三重県立四日市南高等学校	島根県立大社高等学校
常葉大学附属常葉高等学校	三重県立津西高等学校	島根県立浜田高等学校
静岡学園高等学校	三重県立松阪高等学校	松江市立皆美が丘女子高等学校
常葉大学附属菊川高等学校	三重県立上野高等学校	島根県立松江東高等学校
磐田東高等学校	暁高等学校	出雲北陵高等学校
浜松学芸高等学校	高田高等学校	岡山県立岡山操山高等学校
静岡県西遠女子学園高等学校	セントヨゼフ女子学園高等学校	岡山県立倉敷青陵高等学校
浜松聖星高等学校	三重高等学校	岡山県立玉島高等学校
浜松日体高等学校	桜丘高等学校	岡山県立総社南高等学校
聖隸クリストファー高等学校	滋賀学園高等学校	岡山県立岡山城東高等学校
桐陽高等学校	京都府立桃山高等学校	広島県立呉三津田高等学校
藤枝明誠高等学校	京都女子高等学校	広島県立尾道北高等学校
名古屋大学教育学部附属高等学校	大阪府立箕面高等学校	広島県立福山葦陽高等学校
愛知県立旭丘高等学校	大阪府立阿倍野高等学校	広島市立舟入高等学校
愛知県立松蔭高等学校	大阪府立泉陽高等学校	広島市立広島中等教育学校
愛知県立名古屋西高等学校	大阪府立水都国際高等学校	安田女子高等学校
愛知県立鳴海高等学校	賢明学院高等学校	比治山女子高等学校
愛知県立長久手高等学校	帝塚山学院高等学校	ノートルダム清心高等学校
愛知県立岩倉総合高等学校	常翔啓光学園高等学校	広島工業大学高等学校
愛知県立一宮西高等学校	ヴェリタス城星学園高等学校	盈進高等学校
愛知県立木曽川高等学校	金蘭千里高等学校	銀河学院高等学校
愛知県立半田高等学校	四天王寺東高等学校	如水館高等学校
愛知県立吉良高等学校	兵庫県立西宮北高等学校	山口県立華陵高等学校
愛知県立岡崎北高等学校	兵庫県立姫路東高等学校	徳島県立脇町高等学校

徳島県立徳島北高等学校	熊本県立小国高等学校
香川県立丸亀高等学校	熊本県立天草高等学校
高松市立高松第一高等学校	熊本信愛女学院高等学校
香川県立高松西高等学校	ルーテル学院高等学校
香川県立高松桜井高等学校	秀岳館高等学校
香川県立三木高等学校	熊本学園大学付属高等学校
英明高等学校	熊本マリスト学園高等学校
大手前高松高等学校	大分県立別府鶴見丘高等学校
愛媛県立新居浜東高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
愛媛県立新居浜西高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校
愛媛県立西条高等学校	大分県立大分商業高等学校
愛媛県立今治西高等学校	大分県立大分西高等学校
愛媛県立宇和島南中等教育学校	大分県立佐伯鶴城高等学校
新田青雲中等教育学校	大分県立中津南高等学校
高知県立高知国際高等学校	大分県立中津北高等学校
土佐女子高等学校	大分東明高等学校
福岡県立新宮高等学校	宮崎県立延岡高等学校
福岡県立筑紫丘高等学校	宮崎県立日向高等学校
久留米市立久留米商業高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校
福岡県立香住丘高等学校	宮崎県立宮崎南高等学校
明治学園高等学校	鵬翔高等学校
九州国際大学付属高等学校	宮崎第一高等学校
飯塚高等学校	延岡学園高等学校
福岡大学附属大濠高等学校	日向学院高等学校
福岡大学附属若葉高等学校	鹿児島県立鹿児島中央高等学校
西南学院高等学校	鹿児島県立国分高等学校
筑紫女学園高等学校	鹿児島県立鹿屋高等学校
福岡女学院高等学校	鹿児島県立屋久島高等学校
福岡工業大学附属城東高等学校	鹿児島県立大島高等学校
福岡雙葉高等学校	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
久留米信愛高等学校	鹿児島県立開陽高等学校
自由ヶ丘高等学校	鹿児島情報高等学校
佐賀県立致遠館高等学校	沖縄県立宜野湾高等学校
佐賀清和高等学校	沖縄県立那覇西高等学校
弘学館高等学校	沖縄県立那覇国際高等学校
早稲田佐賀高等学校	
長崎県立長崎西高等学校	
長崎県立佐世保北高等学校	
熊本県立熊本高等学校	
熊本県立第一高等学校	

## 資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

**昭和女子大学 総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）に関するアンケート**

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。

このアンケートの回答内容があなたの今後の進路（受験・入学等）に影響することはございません。また、高校2年生以外の方もご回答いただけます。

※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

■質問の答えとなる番号に○をつけてください。

Q1) あなたの性別をお答えください。

1 女性 2 男性

Q2) あなたの学年をお答えください。

1 高校2年生 2 高校1年生 3 高校3年生 4 その他

Q3) あなたの高校の所在都道府県をお答えください。

1 東京都 2 神奈川県 3 千葉県 4 埼玉県 5 その他（道府県）

Q4) 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。（複数回答可）

1 大学 2 短期大学 3 専門職大学 4 専門職短期大学 5 専門学校 6 就職 7 その他（）

Q5) 進学を希望する場合の大学等の設置者

Q4で1～4と回答した人への質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

1 私立 2 公立 3 国立 4 その他（）

Q6) 高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。（複数回答可）

①数学 ④電気通信工学 ⑦人文科学（文学、史学、哲学、言語学等） ⑪商船（商船学）  
②理学その他（数理・情報科学等） ⑤物理学・化学・生物・地学 ⑧社会科学（法学、経済学、社会学等） ⑫家政（家政学、被服学等）  
③工学その他（情報・AI・デザイン等） ⑥機械工学・土木建築工学 ⑨農学（農学、水産学等） ⑩保健（医学、看護学等）  
⑪教育（教育学、体育学等） ⑫芸術（美術、音楽等）  
⑯その他

Q7) 以降の質問は、一緒に配布した学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。

Q7) より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

①社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

②データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

③専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

④デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったメイン（領域）についても学べること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

⑤DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

Q8) 昭和女子大学総合情報学部が開設された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科で一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない  
【デジタルイノベーション学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない

Q8で、1、2、3のいずれかで「受験する」を選択した方にお聞きします。

Q9) 昭和女子大学総合情報学部を受験して合格した場合、入学しますか。該当する学科について一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない  
【デジタルイノベーション学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない

Q10) 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

Q11) 2024年7月から現在までの間に、昭和女子大学総合情報学部に関する同じ内容のアンケート調査（オンラインアンケート含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。

同様のアンケートに回答したことがある

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。なお、学部学科の名称、教育内容等は予定であり変更されることがあります。

資料3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

**総合情報学部** 〔仮称〕

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**設置の趣旨**

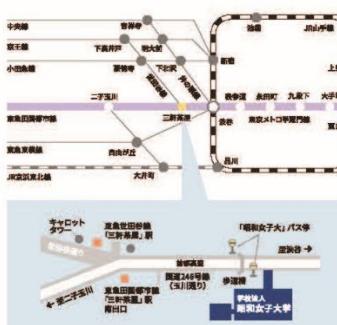
近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々蓄積されるビッグデータを活用して問題解決を図り、新たな価値を創造して創気ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを適応に据い、デジタル技術（データサイエンス／IT）に習熟し、本学が目指すビジネス・経営・心理学の分野で能力を活用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 開設する人材像  
昭和女子大学における問題に對し、(a)統計学、データサイエンスにおける専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける現象を理解するための知識を理解したりうえで、(c)高度化データに基づき分析、実験設計をし、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、実験できる人材を養成します。

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会ヒューマンインプットの観点から柔軟な学び、特にデータサイエンス能力によるデータ分析や子育てを通じて問題を解決し、社会に貢献したいという意欲のある人をめざします。また、本学科の教育課程に従事する教員は、能力を備えた入学者を受け入れます。そのために多様な入試と法で入学者を募集し、多面的、総合的に選抜します。

**設置場所**  
昭和女子大学 西田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷1-7-67



**初年度  
総入金**  
1,598,000円  
(入学金、授業料、施設設備費等)  
※前年度総収入金を予定金額のため、変更となる可能性があります。

**類似学部**

- ・青山学院大学 社会情報学部
- ・東京都市大学 デザイン・データ科学部
- ・筑波大学 データサイエンス学部
- ・東洋大 学習情報学部

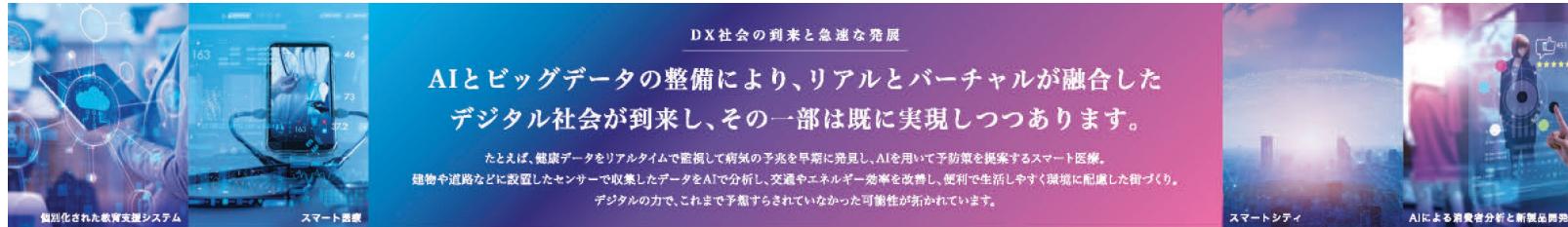
※前年度総収入金(参考)：1,490,000円～1,670,000円  
※開設：2026年4月 大学より  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
ds-daiaku@swu.ac.jp



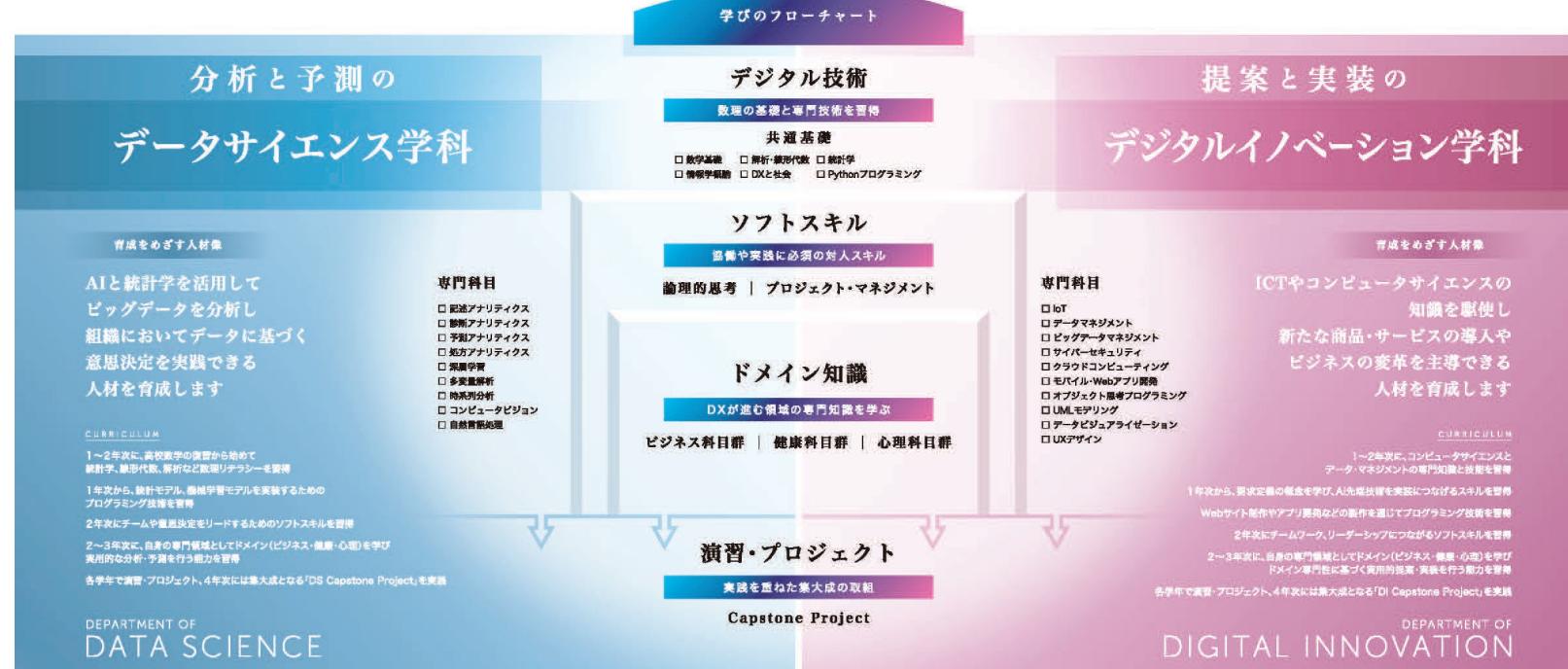




# 総合情報学部 FACULTY OF INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に着目。  
文理融合カリキュラムを構成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。



昭和女子大学  
総合情報学部  
デジタルイノベーション学科  
(仮称：設置構想中)  
設置に関する受容性調査  
【高校生】

追加調査

株式会社日本ドリコム  
令和7年6月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	5
3 属性等	6
4 受験意向・入学意向	7

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とすることを目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和7年4月25日～令和7年5月12日

- ・昭和女子大学の進学説明会等への参加者

令和7年4月25日～令和7年5月12日

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校3年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学の進学説明会等参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。

### (4) 有効回答数 737件

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

### (7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校3年生の女子生徒について、有効回答737件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答737件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学 等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答は58件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参考し、適宜選択として設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学 等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した58件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、12件であった。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	58	割合
第一志望として受験する	12	20.7%
第二志望として受験する	10	17.2%
第三志望以降として受験する	8	13.8%
受験しない	24	41.4%
未回答	4	6.9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	12	割合
入学する	12	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0.0%
入学しない	0	0.0%
未回答	0	0.0%

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	737	割合
女性	737	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	737	割合
高校 3 年生	737	100.0%
高校 2 年生	-	- %
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	737	割合
東京都	254	34.5%
神奈川県	217	29.4%
千葉県	0	0.0%
埼玉県	266	36.1%
その他（茨城県）	0	0.0%
その他（茨城県以外）	0	0.0%
未回答	0	0.0%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した650件の内、設置者「私立」の回答は628件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	737	割合
大学	650	88. 2%
短期大学	73	9. 9%
専門職大学	10	1. 4%
専門職短期大学	3	0. 4%
専門学校	89	12. 1%
就職	30	4. 1%
その他	19	2. 6%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	650	割合
私立	628	96. 6%
公立	211	32. 5%
国立	239	36. 8%
その他	3	0. 5%

## (2)興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した628件のうち、総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）への回答は58件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は58件であった。

58件（内 募集対象の5都県 58件）

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	628	割合
数学	21	3. 3%
理学その他（数理・情報科学等）	40	6. 4%
工学その他（情報・AI・データサイエンス等）	53	8. 4%
電気通信工学	12	1. 9%
物理学・化学・生物・地学	42	6. 7%
機械工学・土木建築工学	23	3. 7%
人文科学（文学、史学、哲学、言語学等）	242	38. 5%
社会科学（商学、経済学等）	224	35. 7%
社会科学（法学、政治学、社会学等）	200	31. 8%
農学（農学、水産学等）	38	6. 1%
保健（医学、看護学等）	153	24. 4%
商船（商船学）	4	0. 6%
家政（家政学、被服学等）	30	4. 8%
教育（教育学、体育学等）	149	23. 7%
芸術（美術、音楽等）	81	12. 9%
その他	61	9. 7%

### (3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	ど ら と え 魅 力 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	魅 力 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	58	24. 1%	60. 3%	5. 2%	6. 9%	3. 4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	58	36. 2%	32. 8%	12. 1%	13. 8%	5. 2%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	58	43. 1%	43. 1%	5. 2%	3. 4%	5. 2%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	58	50. 0%	34. 5%	5. 2%	3. 4%	6. 9%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	58	22. 4%	58. 6%	5. 2%	3. 4%	10. 3%	

#### (4) 総合情報学部 デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野を回答した58件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が12件、そのうち12件が「入学する」と回答している。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	58	割合
第一志望として受験する	12	20. 7%
第二志望として受験する	10	17. 2%
第三志望以降として受験する	8	13. 8%
受験しない	24	41. 4%
未回答	4	6. 9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	130	割合
入学する	12	100. 0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0. 0%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	12	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	9	6
入学しない	0	1	1

資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 7校（順不同）

**選定の根拠**

昭和女子大学の学生募集において高校訪問等を行っている高等学校、且つ以前のアンケート調査（令和6年度調査）に回答がなかった高等学校

埼玉県立久喜北陽高等学校

山村学園高等学校

東京都立片倉高等学校

東京都立美原高等学校

豊南高等学校

自由が丘学園高等学校

横浜隼人高等学校

資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

昭和女子大学

総合情報学部

デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）

（仮称・構想中）

に関するアンケート

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。  
このアンケートの回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。また、高校3年生以外の方もご回答いただけます。  
※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

**Q1.** あなたの高等学校についてお答えください。

\*

- 国立
- 都道府県立
- 市立
- 私立
- その他

**Q6.** 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。

\*

- 大学
- 短期大学
- 専門職大学
- 専門職短期大学
- 専門学校
- 就職
- その他

**Q2.** あなたの高等学校の学校名を記載してください。

例: ○○高校 \*

0文字

**Q3.** あなたの性別をお答えください。

\*

- 女性
- 男性

**Q4.** あなたの学年をお答えください。

\*

- 高校3年生
- 高校2年生
- 高校1年生
- その他

**Q5.** あなたの高等学校の所在都道府県をお答えください。

\*

- 東京都
- 神奈川県
- 千葉県
- 埼玉県
- 茨城県
- その他

**Q7.** 進学を希望する場合の大学等の設置者。

\*

- 私立
- 公立
- 国立
- その他

**Q8.**

高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。

\*

- 数学
- 理学その他（数理・情報科学等）
- 工学その他（情報・AI・データサイエンス等）
- 電気通信工学
- 物理学・化学・生物・地学
- 機械工学・土木建築工学
- 人文科学（文学、史学、哲学、言語学等）
- 社会科学（商学・経済学）
- 社会科学（法学・政治学・社会学等）
- 農学（農学、水産学等）
- 保健（医学、看護学等）
- 商船（商船学）
- 家政（家政学、被服学等）
- 教育（教育学、体育学等）
- 芸術（美術、音楽等）

■以降の質問は、次のURLをクリックし、学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。  
別画面でリーフレットが開きます。

→ (リーフレット) [https://daijanen.github.io/ba\\_dsc\\_pdf/swu20240717.pdf](https://daijanen.github.io/ba_dsc_pdf/swu20240717.pdf)

### Q9.

より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

\*

	どちらかといえば魅 力を感じる	どちらかといえば魅 力を感じない	魅力を感じない	
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### Q10. 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科が開設された場合、受験を希望しますか。

\*

- 第一志望で受験する
- 第二志望で受験する
- 第三志望以降で受験する
- 受験しない

### Q11. 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科を受験して合格した場合、入学しますか。

\*

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない

### Q12. 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

0文字

### Q13.

2024年7月から現在までの間に、『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査（アンケート用紙での回答含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。  
(複数選択)

- 以前に回答したことがある

**総合情報学部** 〔仮称〕

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**設置の趣旨**

近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々蓄積されるビッグデータを活用して問題解決を図り、新たな価値を創造して創気ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを適切に扱い、デジタル技術（データサイエンス／IT）に習熟し、本学が目指すビジネス・経営・心理学の分野で能力を活用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 開設する人材像  
昭和女子大学における問題に對し、(a)統計学、データサイエンスにおける専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける現象を理解する社会知識を用いて、(c)実験や解析等を用いて問題を理解したりうえで、(d)最適化データに基づき分析、実験結果をもとに、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、実験できる人材を養成します。

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会ヒューマンインプットの面からに需心を持ち、何れはデータサイエンス能力によるデータ分析や子育てを通じて問題を解決し、社会に貢献したいという意欲のある人をめざします。また、本学科の教育課程に従事する教員は、能力を備えた入学者を受け入れます。そのために多様な入試と法で入学者を募集し、多方面、総合的に選抜します。

**設置場所**  
昭和女子大学 世田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷1-7-67

**初年度  
総収入金**  
1,598,000円  
(入学金、授業料、施設設備費 等)  
※前年度収入金を予定金額のため、変更となる可能性があります。

**類似学部**

- ・青山学院大学 社会情報学部
- ・東京都市大学 デザイン・データ科学部
- ・筑波大学 データサイエンス学部
- ・東洋大 学習情報学部

※前年度収入金(参考)：1,490,000円～1,670,000円  
※開設：2026年4月 大学より  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
da-daiaku@swu.ac.jp





# 総合情報学部

FACULTY OF  
INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に着目。  
文理融合カリキュラムを構成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。

## 分析と予測の データサイエンス学科

育成をめざす人材像

AIと統計学を活用して  
ビッグデータを分析し  
組織においてデータに基づく  
意思決定を実践できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、高校数学の復習から始めて  
統計学、線形代数、解析などの数理リテラシーを獲得

1年次から、統計モデル、機械学習モデルを実装するための  
プログラミング技術を習得

2年次にチームや意思決定をリードするためのソフトスキルを獲得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を学び  
実用的な分析・予測を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DS Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DATA SCIENCE

学びのフローチャート

## デジタル技術

数理の基礎と専門技術を習得

共通基礎

- 数学基礎
- 分析・微分方程式
- 統計学
- 物理学基礎
- DXと社会
- Pythonプログラミング

## ソフトスキル

監督や実践に必須の対人スキル

論理的思考 | プロジェクト・マネジメント

## ドメイン知識

DXが進む領域の専門知識を学ぶ

ビジネス科目群 | 健康科目群 | 心理科目群

## 演習・プロジェクト

実績を重ねた集大成の取組

Capstone Project

## 提案と実装の デジタルイノベーション学科

育成をめざす人材像

ICTやコンピュータサイエンスの  
知識を駆使し  
新たな商品・サービスの導入や  
ビジネスの変革を主導できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、コンピュータサイエンスと  
データマネジメントの専門知識と技術を習得

1年次から、要求定義の概念を学び、AI基礎技術を実践につなげるスキルを獲得

Webサイト制作やアプリ開発などの製作を通じてプログラミング技術を習得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を選び

ドメイン専門性に基づく実用的授業・実践を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DI Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DIGITAL INNOVATION

2024年度 出身高校別所在地入学者数

	人間文化学部	人間社会学部	食健康科学部	グローバルビジネス学部	国際学部	環境デザイン学部	総計
北海道	2	3	1	2	1	3	12
青森	0	0	0	0	0	2	2
岩手	2	1	0	0	0	1	4
宮城	2	1	0	0	0	0	3
秋田	0	0	2	0	0	0	2
山形	0	0	0	1	0	0	1
福島	4	3	1	0	2	2	12
茨城	12	17	13	5	15	7	69
栃木	10	12	7	4	8	2	43
群馬	7	6	2	5	2	0	22
埼玉	45	53	41	42	54	35	270
千葉	32	49	29	19	34	22	185
東京	64	115	63	71	93	83	489
神奈川	35	66	57	37	55	28	278
新潟	3	4	3	1	5	3	19
富山	0	2	0	0	2	0	4
石川	1	1	0	1	1	1	5
福井	1	1	0	0	0	0	2
山梨	0	3	1	3	4	5	16
長野	3	1	3	0	3	5	15
岐阜	0	1	0	0	0	1	2
静岡	2	10	5	3	6	2	28
愛知	2	2	0	1	1	1	7
三重	0	0	1	1	0	1	3
滋賀	0	0	0	0	0	0	0
京都	0	0	0	0	0	0	0
大阪	0	1	0	0	0	0	1
兵庫	1	0	0	0	1	1	3
奈良	0	0	0	0	1	1	2
和歌山	0	1	0	0	0	0	1
鳥取	0	0	0	0	0	0	0
島根	1	0	1	2	0	0	4
岡山	1	0	0	0	1	2	4
広島	1	1	0	0	1	0	3
山口	0	0	0	0	1	0	1
徳島	0	0	0	0	0	0	0
香川	0	0	0	0	1	0	1
愛媛	1	0	1	0	0	1	3
高知	1	0	0	0	0	0	1
福岡	1	1	1	1	0	2	6
佐賀	0	0	0	0	0	0	0
長崎	0	0	0	0	0	0	0
熊本	0	0	0	3	0	0	3
大分	0	0	1	1	0	0	2
宮崎	0	0	0	0	0	0	0
鹿児島	1	2	0	1	3	0	7
沖縄	2	2	0	3	1	0	8
その他	5	3	4	2	8	2	24
総計	242	362	237	209	304	213	1,567

5県合計	1,291
入学者比率	82.4%

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称: 設置構想中)  
設置に関する受容性調査  
【高校生】

補足資料 1

- 4 受験意向・入学意向  
(2) 興味のある学問分野  
(4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向  
(5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

株式会社日本ドリコム

令和7年6月

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県以外で集計した場合は180件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県以外180件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学等)	449	4.9%
保健(医学、看護学等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）以外に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した180件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が27件、そのうち15件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した19件は2等分にし、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

##### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	180	割合
第一志望として受験する	27	15. 0%
第二志望として受験する	5	2. 8%
第三志望以降として受験する	44	24. 4%
受験しない	103	57. 2%
未回答	1	0. 6%

##### 入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	27	割合
入学する	15	55. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0. 0%
入学しない	0	0. 0%
未回答	3	11. 1%
重複回答	9	33. 3%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

##### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	15	0	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	2	4
入学しない	0	2	38
重複回答	9	-	-

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）以外に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した180件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が27件、そのうちデジタルイノベーション学科に15件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した19件は2等分にし、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	180	割合
第一志望として受験する	27	15. 0%
第二志望として受験する	26	14. 4%
第三志望以降として受験する	15	8. 3%
受験しない	107	59. 4%
未回答	5	2. 8%

### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	27	割合
入学する	15	55. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	3. 7%
入学しない	1	3. 7%
未回答	0	0. 0%
重複回答	10	37. 0%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

### ■受験意向と入学意向のクロス集計

#### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	15	0	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	24	4
入学しない	1	2	9
重複回答	10	-	-

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称：設置構想中)  
設置に関する受容性調査 再集計  
【高校生】

**補足資料2**

4 受験意向・入学意向

- (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向
- (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

株式会社日本ドリコム  
令和7年6月

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、第二志望以下の受験意向と入学意向をたずねたところ、第二志望以下で受験するとの回答が167件、そのうち93件が「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した114件は2等分にし、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

#### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	130	14.1%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	3	0.3%

#### ■第二志望以下の入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	167	割合
入学する	1	0.6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	92	55.1%
入学しない	17	10.2%
未回答	0	0.0%
重複回答	57	34.1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答したものの中、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野への回答者923件を対象に、第二志望以下の受験意向と入学意向をたずねたところ、第二志望以下で受験するとの回答が196件、そのうち126件が「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した114件は2等分にし、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

### ■第二志望以下の入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	196	割合
入学する	17	8. 7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	109	55. 6%
入学しない	12	6. 1%
未回答	1	0. 5%
重複回答	57	29. 1%

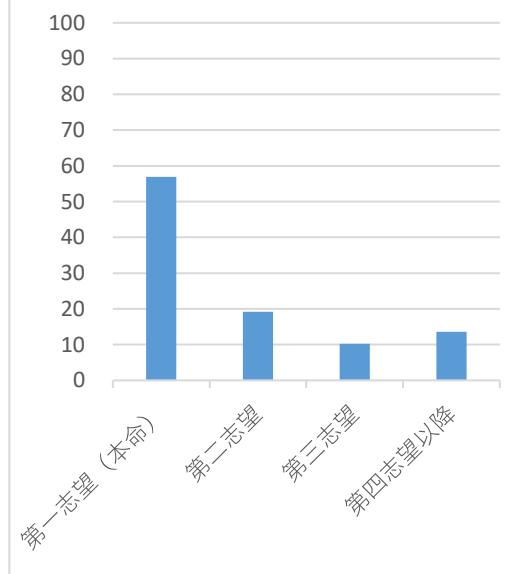
※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答したもののうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

## 令和6年度 新入生対象アンケート

1年

昭和女子大学の志望順位は何番目でしたか。（1年生のみ）

選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	57	852
2	第二志望	19	287
3	第三志望	10	153
4	第四志望以降	14	204



2年

3年

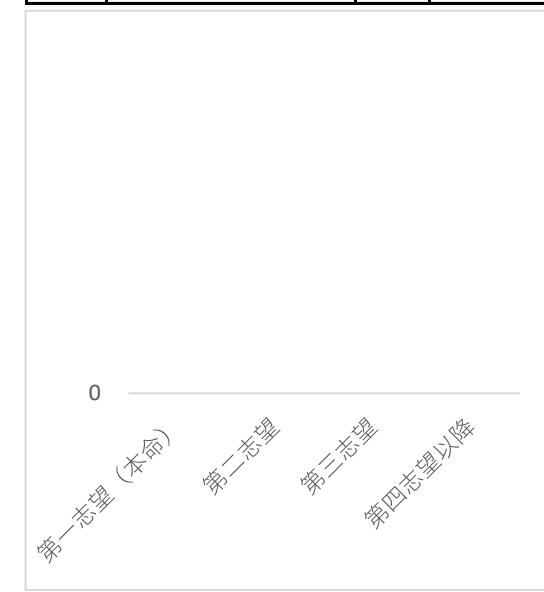
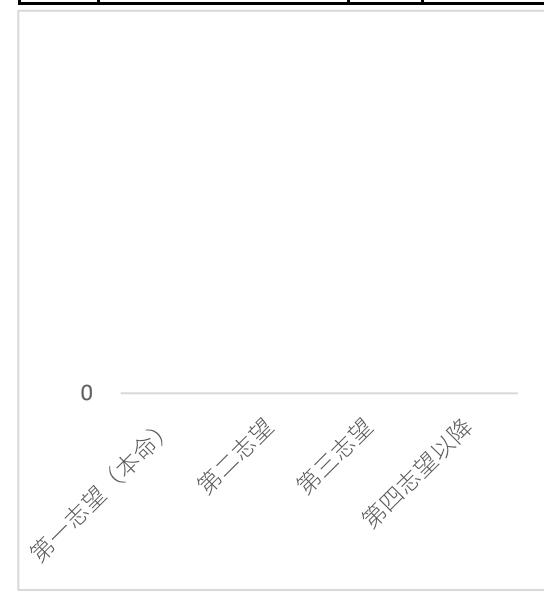
4年

選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0

選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0

選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0

選択	選択肢名	割合	回答者数
1	第一志望（本命）	0	0
2	第二志望	0	0
3	第三志望	0	0
4	第四志望以降	0	0



追加資料 7

第二志望以降で志望した合格者の入学率

	R6年度
①：合格者総数	4,467
②：入学者数	1,567
③：②のうち、第一志望	852
④：②のうち、第二志望以降	644
⑤：②のうち、志望順位不明 (② - (③ + ④))	71
⑥：第二志望以降合格者数 (① - (③ + ⑤))	3,544
⑦：第二志望以降入学率 (④ / ⑥)	18.2%

**昭和女子大学**

**総合情報学部**

**データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科**

**(仮称：設置構想中)**

**設置に関する受容性調査 再集計**

**【高校生】**

株式会社日本ドリコム

令和7年6月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	6
3 属性等	8
4 受験意向・入学意向	9

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とする目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和6年7月1日～令和6年12月25日

- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査

令和6年7月～10月

- ・WEBインターネット調査（全国の高校2年生・女子を対象に実施）

令和6年11月～12月

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校2年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学オープンキャンパス参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。WEBインターネット調査については、全国の高校2年生・女子を対象に、回答者の属性管理等について一定の品質が保たれているLINEアンケートパネルを利用し調査を実施した。

### (4) 有効回答数 12,711件

- ・高等学校への依頼による調査（11,515件）
- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査（251件）
- ・WEBインターネット調査（945件）

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

(7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校2年生の女子生徒について、有効回答12,711件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答12,711件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答者は1,103件であり、募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者のみで集計した場合は923件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参考し、適宜選択しとして設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、総合情報学部データサイエンス学科65件、総合情報学部デジタルイノベーション学科34件であった。

尚、複数の学科にて、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」と回答したものは、ダブルカウントせずに、いずれか一つの学科・専攻のみで集計している。

#### ■総合情報学部 データサイエンス学科

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14.0%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	4	0.4%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	65	50. 4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3. 9%
入学しない	1	0. 8%
未回答	31	24. 0%
重複回答	27	20. 9%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したもののうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

■総合情報学部 デジタルイノベーション学科

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	34	44. 7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13. 2%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%
重複回答	32	42. 1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したもののうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	12711	割合
女性	12711	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	12711	割合
高校 3 年生	-	- %
高校 2 年生	12711	100.0%
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	12711	割合
東京都	4369	34.4%
神奈川県	2335	18.4%
千葉県	1774	14.0%
埼玉県	922	7.3%
その他（茨城県）	458	3.6%
その他（茨城県以外）	2846	22.4%
未回答	7	0.1%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した11,398件の内、設置者「私立」の回答は9,213件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	12711	割合
大学	11398	89.7%
短期大学	676	5.3%
専門職大学	381	3.0%
専門職短期大学	113	0.9%
専門学校	1677	13.2%
就職	383	3.0%
その他	93	0.7%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	11398	割合
私立	9213	80.8%
公立	2887	25.3%
国立	3312	29.1%
その他	74	0.6%

## (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学 等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス 等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は923件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県 923件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学 等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス 等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学 等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学 等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学 等)	449	4.9%
保健(医学、看護学 等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学 等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学 等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽 等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

### (3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 を 感 じる	ど ら と え 魅 力 を 感 じる	ち か い ば 魅 力 を 感 じ い	魅 力 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	1103	29.7%	45.8%	9.2%	6.8%	8.4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	1103	42.9%	36.9%	6.3%	5.4%	8.4%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	1103	33.3%	41.5%	10.1%	6.6%	8.5%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	1103	36.1%	40.7%	9.0%	5.6%	8.6%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	1103	34.4%	41.4%	10.2%	5.5%	8.4%	

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が129件、そのうち65件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した59件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14. 0%
第二志望として受験する	28	3. 0%
第三志望以降として受験する	139	15. 1%
受験しない	623	67. 5%
未回答	4	0. 4%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	65	50. 4%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3. 9%
入学しない	1	0. 8%
未回答	31	24. 0%
重複回答	27	20. 9%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

##### ■受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	65	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	24	125
入学しない	1	4	13
重複回答	27	-	-

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が76件、そのうちデジタルイノベーション学科に34件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した59件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8.2%
第二志望として受験する	58	6.3%
第三志望以降として受験する	138	15.1%
受験しない	637	69.0%
未回答	14	1.5%

### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	34	44.7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13.2%
入学しない	0	0.0%
未回答	0	0.0%
重複回答	32	42.1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	34	10	7
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	45	121
入学しない	0	3	9
重複回答	32	-	-

## 資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 1,161校（順不同）

### 選定の根拠

昭和女子大学への入学実績のある高等学校及びオープンキャンパス参加者実績のある高等学校

北海道札幌西高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校	秋田県立秋田中央高等学校
北海道札幌北高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	秋田県立秋田西高等学校
北海道札幌月寒高等学校	岩手県立盛岡第四高等学校	秋田県立湯沢翔北高等学校
北海道札幌啓成高等学校	岩手県立黒沢尻北高等学校	山形県立山形東高等学校
北海道札幌白石高等学校	岩手県立一関第一高等学校	山形県立山形西高等学校
市立札幌旭丘高等学校	岩手県立大船渡高等学校	山形県立山形北高等学校
市立札幌清田高等学校	岩手県立遠野高等学校	山形市立商業高等学校
北海道岩見沢東高等学校	岩手県立宮古高等学校	山形県立米沢東高等学校
北海道網走南ヶ丘高等学校	岩手県立釜石高等学校	山形県立庄内総合高等学校
北海道室蘭清水丘高等学校	盛岡白百合学園高等学校	山形県立酒田東高等学校
北海道帯広柏葉高等学校	盛岡大学附属高等学校	山形県立酒田西高等学校
北海道釧路湖陵高等学校	宮城県佐沼高等学校	惺山高等学校
北海道静内農業高等学校	宮城県石巻高等学校	東海大学山形高等学校
市立札幌新川高等学校	宮城県泉高等学校	福島県立福島高等学校
北海道札幌国際情報高等学校	宮城県宮城第一高等学校	福島県立安積黎明高等学校
市立札幌開成中等教育学校	宮城県仙台二華高等学校	福島県立白河高等学校
藤女子高等学校	宮城県古川黎明高等学校	福島県立白河旭高等学校
北星学園女子高等学校	宮城県仙台南高等学校	福島県立会津高等学校
札幌新陽高等学校	宮城県泉館山高等学校	福島県立葵高等学校
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	宮城県宮城野高等学校	福島県立喜多方高等学校
札幌聖心女子学院高等学校	仙台市立仙台青陵中等教育学校	福島県立磐城高等学校
遺愛女子高等学校	宮城県気仙沼高等学校	福島県立磐城桜が丘高等学校
帯広大谷高等学校	仙台育英学園高等学校	福島県立原町高等学校
札幌日本大学高等学校	宮城学院高等学校	福島県立郡山高等学校
青森県立青森高等学校	仙台白百合学園高等学校	福島県立福島東高等学校
青森県立青森東高等学校	尚絅学院高等学校	福島成蹊高等学校
青森県立青森南高等学校	常盤木学園高等学校	桜の聖母学院高等学校
青森県立弘前高等学校	聖ウルスラ学院英智高等学校	郡山女子大学附属高等学校
青森県立弘前中央高等学校	聖ドミニコ学院高等学校	尚志高等学校
青森県立八戸東高等学校	秋田県立秋田北高等学校	日本大学東北高等学校
青森県立八戸北高等学校	秋田県立秋田南高等学校	福島県磐城第一高等学校
青森県立八戸西高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	茨城県立日立第一高等学校
東奥義塾高等学校	秋田県立能代高等学校	茨城県立日立第二高等学校
弘前学院聖愛高等学校	秋田県立本荘高等学校	茨城県立多賀高等学校
青森明の星高等学校	秋田県立湯沢高等学校	茨城県立水戸第一高等学校

茨城県立水戸第二高等学校	岩瀬日本大学高等学校	群馬県立高崎北高等学校
茨城県立水戸第三高等学校	つくば国際大学東風高等学校	群馬県立太田東高等学校
茨城県立緑岡高等学校	栃木県立宇都宮東高等学校	群馬県立高崎東高等学校
茨城県立鉢田第一高等学校	栃木県立宇都宮南高等学校	高崎市立高崎経済大学附属高等学校
茨城県立鹿島高等学校	栃木県立宇都宮女子高等学校	群馬県立伊勢崎高等学校
茨城県立土浦第一高等学校	栃木県立宇都宮商業高等学校	伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校
茨城県立土浦第二高等学校	栃木県立鹿沼高等学校	群馬県立富岡高等学校
茨城県立土浦第三高等学校	栃木県立石橋高等学校	群馬県立桐生高等学校
茨城県立竜ヶ崎第一高等学校	栃木県立小山高等学校	共愛学園高等学校
茨城県立取手第一高等学校	栃木県立栃木女子高等学校	新島学園高等学校
茨城県立藤代高等学校	栃木県立佐野高等学校	高崎商科大学附属高等学校
茨城県立下館第一高等学校	栃木県立足利高等学校	関東学園大学附属高等学校
茨城県立下館第二高等学校	栃木県立真岡女子高等学校	東京農業大学第二高等学校
茨城県立下妻第一高等学校	栃木県立大田原女子高等学校	樹徳高等学校
茨城県立水海道第一高等学校	栃木県立矢板東高等学校	高崎健康福祉大学高崎高等学校
茨城県立古河第二高等学校	栃木県立宇都宮北高等学校	ぐんま国際アカデミー高等部
茨城県立古河第三高等学校	栃木県立鹿沼東高等学校	筑波大学附属坂戸高等学校
茨城県立境高等学校	栃木県立さくら清修高等学校	埼玉県立川口高等学校
茨城県立竹園高等学校	栃木県立栃木翔南高等学校	埼玉県立浦和第一女子高等学校
茨城県立日立北高等学校	栃木県立佐野東高等学校	埼玉県立熊谷女子高等学校
茨城県立水戸桜ノ牧高等学校	栃木県立宇都宮中央高等学校	埼玉県立川越女子高等学校
茨城県立牛久栄進高等学校	作新学院高等学校	埼玉県立春日部女子高等学校
茨城県立伊奈高等学校	宇都宮文星女子高等学校	埼玉県立松山女子高等学校
茨城県立並木中等教育学校	宇都宮短期大学附属高等学校	埼玉県立深谷第一高等学校
茨城県立古河中等教育学校	星の杜高等学校	埼玉県立浦和西高等学校
茨城県立勝田中等教育学校	國學院大學栃木高等学校	埼玉県立不動岡高等学校
明秀学園日立高等学校	佐野日本大学高等学校	埼玉県立本庄高等学校
茨城キリスト教学園高等学校	足利短期大学附属高等学校	埼玉県立越ヶ谷高等学校
茨城高等学校	足利大学附属高等学校	埼玉県立久喜高等学校
大成女子高等学校	白鷗大学足利高等学校	埼玉県立大宮高等学校
常磐大学高等学校	矢板中央高等学校	埼玉県立蕨高等学校
水城高等学校	佐野日本大学中等教育学校	埼玉県立草加高等学校
土浦日本大学高等学校	幸福の科学学園高等学校	埼玉県立朝霞高等学校
霞ヶ浦高等学校	群馬県立前橋南高等学校	埼玉県立岩槻高等学校
東洋大学附属牛久高等学校	群馬県立前橋女子高等学校	埼玉県立越谷北高等学校
清真学園高等学校	群馬県立高崎女子高等学校	埼玉県立坂戸高等学校
江戸川学園取手高等学校	群馬県立太田女子高等学校	埼玉県立大宮商業高等学校
茗溪学園高等学校	群馬県立沼田女子高等学校	埼玉県立与野高等学校
常総学院高等学校	群馬県立館林女子高等学校	埼玉県立鴻巣高等学校
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	群馬県立渋川女子高等学校	埼玉県立所沢高等学校
鹿島学園高等学校	前橋市立前橋高等学校	

埼玉県立上尾高等学校	大宮開成高等学校	千葉県立国府台高等学校
埼玉県立豊岡高等学校	狹山ヶ丘高等学校	千葉県立国分高等学校
埼玉県立桶川高等学校	本庄東高等学校	千葉県立松戸高等学校
埼玉県立越谷南高等学校	武藏越生高等学校	千葉県立小金高等学校
埼玉県立川口北高等学校	武南高等学校	千葉県立松戸国際高等学校
埼玉県立所沢北高等学校	浦和実業学園高等学校	千葉県立東葛飾高等学校
埼玉県立熊谷西高等学校	星野高等学校	千葉県立柏高等学校
埼玉県立川越南高等学校	大妻嵐山高等学校	千葉県立柏南高等学校
埼玉県立三郷高等学校	浦和明の星女子高等学校	千葉県立流山おおたかの森高等学校
埼玉県立草加南高等学校	青山学院大学系属浦和ルーテル学院高等学校	千葉県立我孫子高等学校
埼玉県立富士見高等学校	埼玉栄高等学校	千葉県立印旛明誠高等学校
埼玉県立春日部東高等学校	浦和学院高等学校	千葉県立佐倉高等学校
埼玉県立杉戸高等学校	栄東高等学校	千葉県立四街道高等学校
さいたま市立浦和高等学校	秀明高等学校	千葉県立成田国際高等学校
川越市立川越高等学校	昌平高等学校	千葉県立佐原高等学校
さいたま市立大宮北高等学校	獨協埼玉高等学校	千葉県立鎌子高等学校
さいたま市立浦和南高等学校	春日部共栄高等学校	千葉県立匝瑳高等学校
埼玉県立浦和北高等学校	西武台高等学校	千葉県立成東高等学校
埼玉県立越谷西高等学校	西武学園文理高等学校	千葉県立東金高等学校
埼玉県立坂戸西高等学校	花咲徳栄高等学校	千葉県立長生高等学校
埼玉県立所沢西高等学校	秋草学園高等学校	千葉県立茂原高等学校
埼玉県立南稜高等学校	開智高等学校	千葉県立長狭高等学校
埼玉県立三郷北高等学校	埼玉平成高等学校	千葉県立安房高等学校
埼玉県立松伏高等学校	東京農業大学第三高等学校	千葉県立木更津高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	国際学院高等学校	習志野市立習志野高等学校
埼玉県立新座総合技術高等学校	栄北高等学校	千葉市立千葉高等学校
埼玉県立入間向陽高等学校	開智未来高等学校	松戸市立松戸高等学校
埼玉県立伊奈学園総合高等学校	千葉県立千葉高等学校	鎌子市立鎌子高等学校
埼玉県立大宮光陵高等学校	千葉県立千葉女子高等学校	千葉県立磯辺高等学校
埼玉県立久喜北陽高等学校	千葉県立千葉東高等学校	千葉県立市川東高等学校
埼玉県立光国際高等学校	千葉県立千葉商業高等学校	柏市立柏高等学校
埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	千葉県立千葉南高等学校	千葉県立千城台高等学校
川口市立高等学校	千葉県立検見川高等学校	千葉県立津田沼高等学校
聖望学園高等学校	千葉県立千葉北高等学校	千葉県立柏陵高等学校
創明高等学校	千葉県立若松高等学校	千葉県立船橋芝山高等学校
浦和麗明高等学校	千葉県立八千代高等学校	千葉県立松戸六実高等学校
細田学園高等学校	千葉県立船橋高等学校	千葉県立八千代東高等学校
淑徳与野高等学校	千葉県立薬園台高等学校	千葉市立稻毛高等学校
本庄第一高等学校	千葉県立船橋東高等学校	千葉県立柏中央高等学校
山村学園高等学校	千葉県立船橋啓明高等学校	千葉県立市原八幡高等学校
山村国際高等学校	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	千葉県立千葉西高等学校

千葉県立市川昂高等学校	筑波大学附属高等学校	東京都立田園調布高等学校
千葉県立柏の葉高等学校	東京学芸大学附属高等学校	東京都立豊島高等学校
千葉県立幕張総合高等学校	東京大学教育学部附属中等教育学校	東京都立戸山高等学校
成田高等学校	東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京都立豊多摩高等学校
昭和学院高等学校	東京都立青山高等学校	東京都立西高等学校
千葉敬愛高等学校	東京都立足立高等学校	東京都立農業高等学校
千葉経済大学附属高等学校	東京都立井草高等学校	東京都立白鷗高等学校
市川高等学校	東京都立板橋高等学校	東京都立八王子東高等学校
東葉高等学校	東京都立上野高等学校	東京都立八丈高等学校
千葉黎明高等学校	東京都立江戸川高等学校	東京都立東高等学校
和洋国府台女子高等学校	東京都立園芸高等学校	東京都立東大和高等学校
麗澤高等学校	東京都立大泉高等学校	東京都立日野高等学校
千葉英和高等学校	東京都立大崎高等学校	東京都立日比谷高等学校
日出学園高等学校	東京都立大山高等学校	東京都立広尾高等学校
千葉明徳高等学校	東京都立葛飾商業高等学校	東京都立深川高等学校
千葉商科大学付属高等学校	東京都立北園高等学校	東京都立深沢高等学校
国府台女子学院高等部	東京都立清瀬高等学校	東京都立富士高等学校
東邦大学付属東邦高等学校	東京都立国立高等学校	東京都立府中高等学校
敬愛学園高等学校	東京都立小岩高等学校	東京都立府中東高等学校
専修大学松戸高等学校	東京都立国分寺高等学校	東京都立府中西高等学校
日本大学習志野高等学校	東京都立小山台高等学校	東京都立福生高等学校
千葉日本大学第一高等学校	東京都立江北高等学校	東京都立文京高等学校
二松学舎大学附属柏高等学校	東京都立神津高等学校	東京都立保谷高等学校
東海大学付属浦安高等学校	東京都立小平高等学校	東京都立本所高等学校
八千代松陰高等学校	東京都立狛江高等学校	東京都立町田高等学校
暁星国際高等学校	東京都立立川高等学校	東京都立松原高等学校
東京学館高等学校	東京都立柏高等学校	東京都立三田高等学校
植草学園大学附属高等学校	東京都立小松川高等学校	東京都立向丘高等学校
芝浦工業大学柏高等学校	東京都立駒場高等学校	東京都立武蔵高等学校
東京学館浦安高等学校	東京都立鷺宮高等学校	東京都立武蔵丘高等学校
志学館高等部	東京都立桜町高等学校	東京都立目黒高等学校
昭和学院秀英高等学校	東京都立忍岡高等学校	東京都立紅葉川高等学校
市原中央高等学校	東京都立石神井高等学校	東京都立八潮高等学校
光英V E R I T A S 高等学校	東京都立昭和高等学校	東京都立雪谷高等学校
秀明大学学校教師学部附属秀明	東京都立新宿高等学校	東京都立両国高等学校
八千代高等学校	東京都立神代高等学校	東京都立小平西高等学校
流通経済大学付属柏高等学校	東京都立杉並高等学校	東京都立調布南高等学校
西武台千葉高等学校	東京都立墨田川高等学校	東京都立城東高等学校
翔凜高等学校	東京都立竹早高等学校	東京都立成瀬高等学校
木更津総合高等学校	東京都立立川高等学校	東京都立武蔵野北高等学校
東京工業大学附属科学技術高等学校	東京都立調布北高等学校	東京都立小川高等学校

東京都立田柄高等学校	東京家政学院高等学校	文京学院大学女子高等学校
東京都立松が谷高等学校	東洋高等学校	広尾学園小石川高等学校
東京都立山崎高等学校	二松學舍大学附属高等学校	上野学園高等学校
東京都立小平南高等学校	雙葉高等学校	桜丘高等学校
東京都立東大和南高等学校	三輪田学園高等学校	順天高等学校
東京都立南平高等学校	和洋九段女子高等学校	女子聖学院高等学校
東京都立晴海総合高等学校	開智日本橋学園高等学校	駿台学園高等学校
東京都立つばさ総合高等学校	広尾学園高等学校	サレジアン国際学園高等学校
東京都立芦花高等学校	頌栄女子学院高等学校	成立学園高等学校
東京都立杉並総合高等学校	聖心女子学院高等科	瀧野川女子学園高等学校
東京都立上水高等学校	正則高等学校	東京成徳大学高等学校
東京都立千早高等学校	三田国際学園高等学校	武蔵野高等学校
東京都立翔陽高等学校	東京女子学園高等学校	北豊島高等学校
東京都立若葉総合高等学校	東洋英和女学院高等部	日本大学第一高等学校
東京都立青梅総合高等学校	普連土学園高等学校	安田学園高等学校
東京都立日野台高等学校	明治学院高等学校	中村高等学校
東京都立小金井北高等学校	山脇学園高等学校	潤徳女子高等学校
東京都立国際高等学校	学習院女子高等科	共栄学園高等学校
東京都立小石川中等教育学校	成女高等学校	修徳高等学校
東京都立桜修館中等教育学校	目白研心高等学校	愛國高等学校
東京都立板橋有徳高等学校	青山学院高等部	江戸川女子高等学校
東京都立東久留米総合高等学校	関東国際高等学校	関東第一高等学校
千代田区立九段中等教育学校	国学院高等学校	品川翔英高等学校
東京都立世田谷総合高等学校	実践女子学園高等学校	香蘭女学校高等科
東京都立大田桜台高等学校	渋谷教育学園渋谷高等学校	品川女子学院高等部
東京都立立川国際中等教育学校	東京女学館高等学校	青稜高等学校
東京都立総合芸術高等学校	富士見丘高等学校	朋優学院高等学校
東京都立町田総合高等学校	晃華学園高等学校	品川学藝高等学校
東京都立多摩科学技術高等学校	桐朋女子高等学校	品川エトワール女子高等学校
東京都立南多摩中等教育学校	跡見学園高等学校	立正大学付属立正高等学校
東京都立三鷹中等教育学校	郁文館高等学校	文教大学付属高等学校
東京都立王子総合高等学校	郁文館グローバル高等学校	トキワ松学園高等学校
大妻高等学校	桜蔭高等学校	目黒日本大学高等学校
かえつ有明高等学校	京華女子高等学校	目黒学院高等学校
神田女学園高等学校	東洋大学京北高等学校	多摩大学目黒高等学校
共立女子高等学校	駒込高等学校	八雲学園高等学校
錦城学園高等学校	小石川淑徳学園高等学校	大森学園高等学校
麹町学園女子高等学校	昭和第一高等学校	羽田国際高等学校
女子学院高等学校	貞静学園高等学校	東京高等学校
白百合学園高等学校	東京電機大学高等学校	田園調布学園高等部
武蔵野大学附属千代田高等学院	東洋女子高等学校	鷗友学園女子高等学校

国本女子高等学校	豊島岡女子学園高等学校	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
恵泉女学園高等学校	豊島学院高等学校	神奈川県立横浜平沼高等学校
佼成学園女子高等学校	豊南高等学校	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校
国士館高等学校	淑徳高等学校	神奈川県立横浜立野高等学校
駒沢学園女子高等学校	大東文化大学第一高等学校	神奈川県立光陵高等学校
駒澤大学高等学校	帝京高等学校	神奈川県立商工高等学校
駒場学園高等学校	東京家政大学附属女子高等学校	神奈川県立希望ヶ丘高等学校
松蔭大学附属松蔭高等学校	日本大学豊山女子高等学校	神奈川県立港北高等学校
成城学園高等学校	東京女子学院高等学校	神奈川県立川和高等学校
下北沢成徳高等学校	富士見高等学校	神奈川県立市ヶ尾高等学校
聖ドミニコ学園高等学校	共立女子第二高等学校	神奈川県立霧が丘高等学校
大東学園高等学校	工学院大学附属高等学校	神奈川県立柏陽高等学校
玉川聖学院高等部	帝京大学高等学校	神奈川県立松陽高等学校
田園調布雙葉高等学校	東京純心女子高等学校	神奈川県立金井高等学校
東京農業大学第一高等学校	八王子学園八王子高等学校	神奈川県立川崎高等学校
東京都市大学等々力高等学校	八王子実践高等学校	神奈川県立新城高等学校
日本大学櫻丘高等学校	昭和第一学園高等学校	神奈川県立川崎北高等学校
サレジアン国際学園世田谷高等学校	立川女子高等学校	神奈川県立多摩高等学校
日本工業大学駒場高等学校	明星高等学校	神奈川県立生田高等学校
和光高等学校	桜美林高等学校	神奈川県立百合丘高等学校
玉川学園高等部	錦城高等学校	神奈川県立横須賀高等学校
日本大学第三高等学校	白梅学園高等学校	神奈川県立横須賀大津高等学校
実践学園高等学校	創価高等学校	神奈川県立追浜高等学校
東亜学園高等学校	拓殖大学第一高等学校	神奈川県立平塚江南高等学校
新渡戸文化高等学校	明治学院東村山高等学校	神奈川県立鎌倉高等学校
大妻中野高等学校	明法高等学校	神奈川県立七里ガ浜高等学校
宝仙学園高等学校	国立音楽大学附属高等学校	神奈川県立湘南高等学校
杉並学院高等学校	聖徳学園高等学校	神奈川県立藤沢西高等学校
光塩女子学院高等科	吉祥女子高等学校	神奈川県立小田原高等学校
國學院大學久我山高等学校	成蹊高等学校	神奈川県立西湖高等学校
文化学園大学杉並高等学校	藤村女子高等学校	神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校
女子美術大学付属高等学校	大成高等学校	神奈川県立茅ヶ崎高等学校
中央大学杉並高等学校	明星学園高等学校	神奈川県立鶴嶺高等学校
東京立正高等学校	武藏野大学高等学校	神奈川県立相原高等学校
日本大学第二高等学校	文華女子高等学校	神奈川県立上溝高等学校
日本大学鶴ヶ丘高等学校	国際基督教大学高等学校	神奈川県立相模原高等学校
立教女学院高等学校	東海大学菅生高等学校	神奈川県立麻溝台高等学校
川村高等学校	穎明館高等学校	神奈川県立上溝南高等学校
十文字高等学校	大妻多摩高等学校	神奈川県立津久井浜高等学校
城西大学附属城西高等学校	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	神奈川県立秦野高等学校
淑徳巣鴨高等学校	神奈川県立鶴見高等学校	神奈川県立厚木高等学校

神奈川県立伊志田高等学校	神奈川県立相模原中等教育学校	鵠沼高等学校
神奈川県立大和高等学校	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	湘南工科大学附属高等学校
神奈川県立座間高等学校	神奈川県立藤沢清流高等学校	湘南学園高等学校
神奈川県立大磯高等学校	神奈川県立横浜氷取沢高等学校	湘南白百合学園高等学校
神奈川県立新羽高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校	日本大学藤沢高等学校
神奈川県立生田東高等学校	フェリス女学院高等学校	聖園女学院高等学校
神奈川県立綾瀬高等学校	横浜雙葉高等学校	向上高等学校
横浜市立南高等学校	横浜共立学園高等学校	相洋高等学校
横浜市立桜丘高等学校	横浜女学院高等学校	アセイア湘南高等学校
横浜市立金沢高等学校	中央大学附属横浜高等学校	聖和学院高等学校
横浜市立戸塚高等学校	関東学院高等学校	光明学園相模原高等学校
横浜市立東高等学校	青山学院横浜英和高等学校	相模女子大学高等部
川崎市立川崎高等学校	横浜清風高等学校	東海大学付属相模高等学校
川崎市立高津高等学校	神奈川学園高等学校	麻布大学附属高等学校
川崎市立橘高等学校	横浜創英高等学校	聖セシリ亞女子高等学校
横浜市立横浜商業高等学校	搜真女学校高等学部	立花学園高等学校
川崎市立幸高等学校	白鵬女子高等学校	函嶺白百合学園高等学校
神奈川県立二宮高等学校	橘学苑高等学校	神奈川大学附属高等学校
神奈川県立橋本高等学校	鶴見大学附属高等学校	横浜隼人高等学校
神奈川県立荏田高等学校	聖ヨゼフ学園高等学校	桐光学園高等学校
神奈川県立海老名高等学校	法政大学国際高等学校	森村学園高等部
神奈川県立住吉高等学校	横浜商科大学高等学校	横浜翠陵高等学校
神奈川県立岸根高等学校	英理女子学院高等学校	公文国際学園高等部
神奈川県立新栄高等学校	桐蔭学園高等学校	自修館中等教育学校
神奈川県立大船高等学校	日本大学高等学校	横浜富士見丘学園高等学校
神奈川県立有馬高等学校	横浜学園高等学校	新潟県立新潟高等学校
神奈川県立元石川高等学校	関東学院六浦高等学校	新潟県立新潟中央高等学校
神奈川県立麻生高等学校	横浜創学館高等学校	新潟県立新潟南高等学校
神奈川県立湘南台高等学校	横浜高等学校	新潟県立新潟江南高等学校
神奈川県立深沢高等学校	山手学院高等学校	新潟県立新潟商業高等学校
神奈川県立大和西高等学校	湘南学院高等学校	新潟県立新発田高等学校
神奈川県立城郷高等学校	三浦学苑高等学校	新潟県立長岡高等学校
神奈川県立神奈川総合高等学校	横須賀学院高等学校	新潟県立長岡大手高等学校
横浜市立みなと総合高等学校	カリタス女子高等学校	新潟県立三条高等学校
神奈川県立横浜南陵高等学校	洗足学園高等学校	新潟県立三条東高等学校
横須賀市立横須賀総合高等学校	日本女子大学附属高等学校	新潟県立十日町高等学校
神奈川県立横浜清陵高等学校	平塚学園高等学校	新潟県立柏崎高等学校
神奈川県立横浜国際高等学校	鎌倉女学院高等学校	新潟県立高田北城高等学校
神奈川県立横浜栄高等学校	北鎌倉女子学園高等学校	新潟県立佐渡高等学校
神奈川県立座間総合高等学校	鎌倉女子大学高等部	新潟市立万代高等学校
神奈川県立平塚中等教育学校	清泉女学院高等学校	新潟県立新発田南高等学校

新潟県立長岡向陵高等学校	福井県立高志高等学校	長野県下諏訪向陽高等学校
新潟県立国際情報高等学校	福井県立羽水高等学校	長野県大町岳陽高等学校
新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	福井県立武生高等学校	松本第一高等学校
新潟県立燕中等教育学校	福井県立金津高等学校	長野清泉女学院高等学校
新潟県立津南中等教育学校	仁愛女子高等学校	文化学園長野高等学校
新潟県立直江津中等教育学校	山梨県立甲府第一高等学校	上田西高等学校
新潟明訓高等学校	山梨県立甲府南高等学校	東京都市大学塩尻高等学校
新潟青陵高等学校	山梨県立巨摩高等学校	佐久長聖高等学校
北越高等学校	山梨県立都留高等学校	松本秀峰中等教育学校
中越高等学校	山梨県立吉田高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
新潟清心女子高等学校	山梨県立甲府西高等学校	岐阜県立岐阜北高等学校
新潟第一高等学校	山梨県立甲府東高等学校	岐阜県立岐山高等学校
東京学館新潟高等学校	北杜市立甲陵高等学校	岐阜県立加納高等学校
富山県立桜井高等学校	山梨県立甲府昭和高等学校	岐阜県立大垣北高等学校
富山県立滑川高等学校	山梨英和高等学校	岐阜県立関高等学校
富山県立富山北部高等学校	駿台甲府高等学校	岐阜県立多治見北高等学校
富山県立富山東高等学校	山梨学院高等学校	岐阜県立恵那高等学校
富山県立富山南高等学校	東海大学付属甲府高等学校	岐阜県立斐太高等学校
富山県立富山高等学校	日本大学明誠高等学校	聖マリア女学院高等学校
富山県立富山いずみ高等学校	日本航空高等学校	大垣日本大学高等学校
富山県立富山中部高等学校	長野県須坂高等学校	高山西高等学校
富山県立富山西高等学校	長野県長野吉田高等学校	静岡県立韮山高等学校
富山県立高岡高等学校	長野県長野高等学校	静岡県立三島南高等学校
富山県立氷見高等学校	長野県長野西高等学校	静岡県立三島北高等学校
富山県立砺波高等学校	長野県長野商業高等学校	静岡県立御殿場南高等学校
富山県立吳羽高等学校	長野県篠ノ井高等学校	静岡県立沼津東高等学校
富山県立南砺福野高等学校	長野県屋代高等学校	静岡県立沼津西高等学校
富山第一高等学校	長野県上田染谷丘高等学校	静岡県立吉原高等学校
富山国際大学付属高等学校	長野県岩村田高等学校	静岡県立富士高等学校
片山学園高等学校	長野県野沢北高等学校	静岡県立清水南高等学校
石川県立小松高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	静岡県立静岡高等学校
石川県立金沢錦丘高等学校	長野県諏訪二葉高等学校	静岡県立静岡城北高等学校
石川県立金沢二水高等学校	長野県岡谷南高等学校	静岡県立静岡東高等学校
石川県立金沢桜丘高等学校	長野県伊那北高等学校	静岡県立焼津中央高等学校
石川県立羽咋高等学校	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校	静岡県立藤枝東高等学校
石川県立七尾高等学校	長野県飯田高等学校	静岡県立島田高等学校
石川県立小松明峰高等学校	長野県飯田風越高等学校	静岡県立榛原高等学校
星稜高等学校	長野県松本県ヶ丘高等学校	静岡県立掛川西高等学校
小松大谷高等学校	長野県松本深志高等学校	静岡県立袋井高等学校
鵬学園高等学校	長野県松本蟻ヶ崎高等学校	静岡県立磐田南高等学校
福井県立藤島高等学校	長野県豊科高等学校	静岡県立浜松北高等学校

静岡県立浜松西高等学校	愛知県立豊橋東高等学校	兵庫県立八鹿高等学校
静岡県立浜名高等学校	愛知県立豊丘高等学校	兵庫県立川西北陵高等学校
沼津市立沼津高等学校	愛知県立小坂井高等学校	兵庫県立芦屋国際中等教育学校
富士市立高等学校	名古屋市立桜台高等学校	親和女子高等学校
静岡市立高等学校	愛知県立豊田北高等学校	神戸常盤女子高等学校
浜松市立高等学校	愛知県立豊田南高等学校	愛徳学園高等学校
静岡県立富士東高等学校	名古屋市立名東高等学校	帝塚山高等学校
静岡県立伊豆中央高等学校	愛知高等学校	智辯学園奈良カレッジ高等部
静岡県立浜北西高等学校	愛知淑徳高等学校	和歌山県立向陽高等学校
静岡県立下田高等学校	桜花学園高等学校	和歌山県立日高高等学校
静岡県立駿河総合高等学校	愛知工業大学名電高等学校	和歌山県立田辺高等学校
不二聖心女子学院高等学校	名城大学附属高等学校	近畿大学附属新宮高等学校
知徳高等学校	聖霊高等学校	近畿大学附属和歌山高等学校
日本大学三島高等学校	清林館高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校
加藤学園高等学校	杜若高等学校	鳥取県立米子西高等学校
星陵高等学校	栄徳高等学校	鳥取城北高等学校
東海大学付属静岡翔洋高等学校	大成高等学校	島根県立出雲高等学校
静岡雙葉高等学校	三重県立四日市南高等学校	島根県立大社高等学校
常葉大学附属常葉高等学校	三重県立津西高等学校	島根県立浜田高等学校
静岡学園高等学校	三重県立松阪高等学校	松江市立皆美が丘女子高等学校
常葉大学附属菊川高等学校	三重県立上野高等学校	島根県立松江東高等学校
磐田東高等学校	暁高等学校	出雲北陵高等学校
浜松学芸高等学校	高田高等学校	岡山県立岡山操山高等学校
静岡県西遠女子学園高等学校	セントヨゼフ女子学園高等学校	岡山県立倉敷青陵高等学校
浜松聖星高等学校	三重高等学校	岡山県立玉島高等学校
浜松日体高等学校	桜丘高等学校	岡山県立総社南高等学校
聖隸クリストファー高等学校	滋賀学園高等学校	岡山県立岡山城東高等学校
桐陽高等学校	京都府立桃山高等学校	広島県立呉三津田高等学校
藤枝明誠高等学校	京都女子高等学校	広島県立尾道北高等学校
名古屋大学教育学部附属高等学校	大阪府立箕面高等学校	広島県立福山葦陽高等学校
愛知県立旭丘高等学校	大阪府立阿倍野高等学校	広島市立舟入高等学校
愛知県立松蔭高等学校	大阪府立泉陽高等学校	広島市立広島中等教育学校
愛知県立名古屋西高等学校	大阪府立水都国際高等学校	安田女子高等学校
愛知県立鳴海高等学校	賢明学院高等学校	比治山女子高等学校
愛知県立長久手高等学校	帝塚山学院高等学校	ノートルダム清心高等学校
愛知県立岩倉総合高等学校	常翔啓光学園高等学校	広島工業大学高等学校
愛知県立一宮西高等学校	ヴェリタス城星学園高等学校	盈進高等学校
愛知県立木曽川高等学校	金蘭千里高等学校	銀河学院高等学校
愛知県立半田高等学校	四天王寺東高等学校	如水館高等学校
愛知県立吉良高等学校	兵庫県立西宮北高等学校	山口県立華陵高等学校
愛知県立岡崎北高等学校	兵庫県立姫路東高等学校	徳島県立脇町高等学校

徳島県立徳島北高等学校	熊本県立小国高等学校
香川県立丸亀高等学校	熊本県立天草高等学校
高松市立高松第一高等学校	熊本信愛女学院高等学校
香川県立高松西高等学校	ルーテル学院高等学校
香川県立高松桜井高等学校	秀岳館高等学校
香川県立三木高等学校	熊本学園大学付属高等学校
英明高等学校	熊本マリスト学園高等学校
大手前高松高等学校	大分県立別府鶴見丘高等学校
愛媛県立新居浜東高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
愛媛県立新居浜西高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校
愛媛県立西条高等学校	大分県立大分商業高等学校
愛媛県立今治西高等学校	大分県立大分西高等学校
愛媛県立宇和島南中等教育学校	大分県立佐伯鶴城高等学校
新田青雲中等教育学校	大分県立中津南高等学校
高知県立高知国際高等学校	大分県立中津北高等学校
土佐女子高等学校	大分東明高等学校
福岡県立新宮高等学校	宮崎県立延岡高等学校
福岡県立筑紫丘高等学校	宮崎県立日向高等学校
久留米市立久留米商業高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校
福岡県立香住丘高等学校	宮崎県立宮崎南高等学校
明治学園高等学校	鵬翔高等学校
九州国際大学付属高等学校	宮崎第一高等学校
飯塚高等学校	延岡学園高等学校
福岡大学附属大濠高等学校	日向学院高等学校
福岡大学附属若葉高等学校	鹿児島県立鹿児島中央高等学校
西南学院高等学校	鹿児島県立国分高等学校
筑紫女学園高等学校	鹿児島県立鹿屋高等学校
福岡女学院高等学校	鹿児島県立屋久島高等学校
福岡工業大学附属城東高等学校	鹿児島県立大島高等学校
福岡雙葉高等学校	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
久留米信愛高等学校	鹿児島県立開陽高等学校
自由ヶ丘高等学校	鹿児島情報高等学校
佐賀県立致遠館高等学校	沖縄県立宜野湾高等学校
佐賀清和高等学校	沖縄県立那覇西高等学校
弘学館高等学校	沖縄県立那覇国際高等学校
早稲田佐賀高等学校	
長崎県立長崎西高等学校	
長崎県立佐世保北高等学校	
熊本県立熊本高等学校	
熊本県立第一高等学校	

## 資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

**昭和女子大学 総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）に関するアンケート**

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。

このアンケートの回答内容があなたの今後の進路（受験・入学等）に影響することはございません。また、高校2年生以外の方もご回答いただけます。

※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

■質問の答えとなる番号に○をつけてください。

Q1) あなたの性別をお答えください。

1 女性 2 男性

Q2) あなたの学年をお答えください。

1 高校2年生 2 高校1年生 3 高校3年生 4 その他

Q3) あなたの高校の所在都道府県をお答えください。

1 東京都 2 神奈川県 3 千葉県 4 埼玉県 5 その他（道府県）

Q4) 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。（複数回答可）

1 大学 2 短期大学 3 専門職大学 4 専門職短期大学 5 専門学校 6 就職 7 その他（）

Q5) 進学を希望する場合の大学等の設置者

Q4で1～4と回答した人への質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

1 私立 2 公立 3 国立 4 その他（）

Q6) 高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。（複数回答可）

①数学 ④電気通信工学 ⑦人文科学（文学、史学、哲学、言語学等） ⑪商船（商船学）  
②理学その他（数理・情報科学等） ⑤物理学・化学・生物・地学 ⑧社会科学（法学、経済学、社会学等） ⑫家政（家政学、被服学等）  
③工学その他（情報・AI・デザイン等） ⑥機械工学・土木建築工学 ⑨農学（農学、水産学等） ⑩保健（医学、看護学等）  
⑪教育（教育学、体育学等） ⑭芸術（美術、音楽等）  
⑮その他

Q7) 以降の質問は、一緒に配布した学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。

Q7) より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

①社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

②データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

③専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

④デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったメイン（領域）についても学べること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

⑤DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

Q8) 昭和女子大学総合情報学部が開設された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科で一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない  
【デジタルイノベーション学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない

Q8で、1、2、3のいずれかで「受験する」を選択した方にお聞きします。

Q9) 昭和女子大学総合情報学部を受験して合格した場合、入学しますか。該当する学科について一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない  
【デジタルイノベーション学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない

Q10) 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

Q11) 2024年7月から現在までの間に、昭和女子大学総合情報学部に関する同じ内容のアンケート調査（オンラインアンケート含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。

同様のアンケートに回答したことがある

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。なお、学部学科の名称、教育内容等は予定であり変更されることがあります。

資料3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

**総合情報学部** 〔仮称〕

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**設置の趣旨**

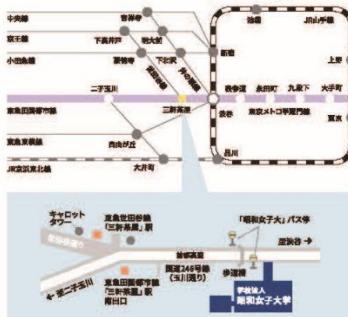
近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々蓄積されるビッグデータを活用して問題解決を図り、新たな価値を創造して創気ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを適切に扱い、デジタル技術（データサイエンス／IT）に習熟し、本学が目指すビジネス・組織・心地の分野で能力を活用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 開設する人材像  
昭和女子大学における問題に對し、(a)統計学、データサイエンスにおける専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける現象を理解するための知識を理解したりうえで、(c)高度化データに基づき分析、実験設計をし、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、実施できる人材を養成します。

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会とのつながりに关心を持ち、何よりもデータサイエンス能力によるデータ分析や予測を基礎として問題を解決し、社会に貢献したいという意欲のある人をめざします。また、本学科の教育課程に従事する教員は、能力を備えた入学者を受け入れます。そのために多様な入試方法で入学者を募集し、多面的・総合的に選抜します。

**設置場所**  
昭和女子大学 西田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷1-7-67



**初年度  
総入金**  
1,598,000円  
(入学金・授業料・施設設備費等)  
※前年度総収入金を予定金額のため、変更となる可能性があります。

**類似学部**

- ・青山学院大学 社会情報学部
- ・東京都市大学 デザイン・データ科学部
- ・筑波大学 データサイエンス学部
- ・東洋大 学習情報学部

※前年度総収入金(参考)：1,490,000円～1,670,000円  
※開設：2026年4月 大学予定より  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
da-daiaku@swu.ac.jp







# 総合情報学部

FACULTY OF  
INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に着目。  
文理融合カリキュラムを構成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。

## 分析と予測の データサイエンス学科

育成をめざす人材像

AIと統計学を活用して  
ビッグデータを分析し  
組織においてデータに基づく  
意思決定を実践できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、高校数学の復習から始めて  
統計学、線形代数、解析学などの数理リテラシーを獲得

1年次から、統計モデル、機械学習モデルを実装するための  
プログラミング技術を習得

2年次にチームや意思決定をリードするためのソフトスキルを獲得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を学び  
実用的な分析・予測を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DS Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DATA SCIENCE

FACULTY OF  
INFORMATICS

学部の  
特長

総合情報学部では、デジタル革新が加速する社会で活躍する力を養います。

文系理系を問わず、数理モデルやデータに基づく思考力と

デジタル技術に関する高度な知識、スキルを涵養します。

これらの能力、知識、スキルを自身の専門領域(ドメイン)に応用して

課題を発見・解決し、創造性のあるアイデアを社会実装できる女性を育成します。

## 学びのフローチャート

### デジタル技術

数理の基礎と専門技術を習得

共通基礎

- 数学基礎
- 分析・微分方程式
- 統計学
- 物理学基礎
- DXと社会
- Pythonプログラミング

### ソフトスキル

基盤や実践に必須の対人スキル

論理的思考　|　プロジェクト・マネジメント

### ドメイン知識

DXが進む領域の専門知識を学ぶ

ビジネス科目群　|　健康科目群　|　心理科目群

## 演習・プロジェクト

実績を重ねた集大成の取組

Capstone Project

## 提案と実装の デジタルイノベーション学科

育成をめざす人材像

ICTやコンピュータサイエンスの  
知識を駆使し  
新たな商品・サービスの導入や  
ビジネスの変革を主導できる  
人材を育成します

専門科目

- IoT
- データマネジメント
- ビッグデータマネジメント
- サイバーセキュリティ
- クラウドコンピューティング
- モバイル・Webアプリ開発
- オブジェクト指向プログラミング
- UMLモデリング
- データマジックアライゼーション
- UXデザイン

CURRICULUM

1～2年次に、コンピュータサイエンスと  
データマネジメントの専門知識と技術を習得

1年次から、要求定義の概念を学び、AI技術技術を実践につなげるスキルを獲得

Webサイト制作やアプリ開発などの製作を通じてプログラミング技術を習得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を選び  
ドメイン専門性に基づく実用的知識・実験を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DI Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DIGITAL INNOVATION

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称: 設置構想中)  
設置に関する受容性調査  
【高校生】

補足資料3

- 4 受験意向・入学意向  
(2) 興味のある学問分野  
(4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向  
(5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

株式会社日本ドリコム

令和7年6月

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県以外で集計した場合は180件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県以外180件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学等)	449	4.9%
保健(医学、看護学等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）以外に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した180件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が27件、そのうち15件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した19件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	180	割合
第一志望として受験する	27	15. 0%
第二志望として受験する	5	2. 8%
第三志望以降として受験する	44	24. 4%
受験しない	103	57. 2%
未回答	1	0. 6%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	27	割合
入学する	15	55. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0. 0%
入学しない	0	0. 0%
未回答	3	11. 1%
重複回答	9	33. 3%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

#### ■ 受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	15	0	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	2	4
入学しない	0	2	38
重複回答	9	-	-

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）以外に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した180件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が27件、そのうちデジタルイノベーション学科に15件が「入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」と回答した19件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	180	割合
第一志望として受験する	27	15. 0%
第二志望として受験する	26	14. 4%
第三志望以降として受験する	15	8. 3%
受験しない	107	59. 4%
未回答	5	2. 8%

### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	27	割合
入学する	15	55. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	3. 7%
入学しない	1	3. 7%
未回答	0	0. 0%
重複回答	10	37. 0%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」と回答したものの中のうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

##### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	15	0	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	24	4
入学しない	1	2	9
重複回答	10	-	-

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科  
(仮称: 設置構想中)  
設置に関する受容性調査 再集計  
【高校生】

補足資料4

4 受験意向・入学意向

- (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向
- (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

株式会社日本ドリコム  
令和7年6月

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件を対象に、第二志望以下の受験意向と入学意向をたずねたところ、第二志望以下で受験するとの回答が167件、そのうち98件が「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した114件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

#### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	130	14.1%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	3	0.3%

#### ■第二志望以下の入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	167	割合
入学する	1	0.6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	97	58.1%
入学しない	17	10.2%
未回答	0	0.0%
重複回答	52	31.1%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答したもののうち、デジタルイノベーション学科の集計に組み入れたもの。

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野への回答者923件を対象に、第二志望以下の受験意向と入学意向をたずねたところ、第二志望以下で受験するとの回答が196件、そのうち121件が「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答している。

※データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方に「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答した114件は入学定員比率（データサイエンス学科：デジタルイノベーション学科 = 60 : 50）に応じて配分し、いずれか1つの学科のみで集計を行っている。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

### ■第二志望以下の入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	196	割合
入学する	17	8. 7%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	104	53. 1%
入学しない	12	6. 1%
未回答	1	0. 5%
重複回答	62	31. 6%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で「入学する」もしくは「志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する」と回答したもののうち、データサイエンス学科の集計に組み入れたもの。

アンケート調査実施校（令和6年度調査）

※当初調査に回答があった高校

北星学園女子高等学校	二松学舎大学附属柏高等学校	帝京高等学校
青森県立八戸北高等学校	二松学舎大学附属高等学校	東京家政大学附属女子高等学校
秋田県立湯沢翔北高等学校	翔凛高等学校	共立女子第二高等学校
福島県立葵高等学校	東京学館高等学校	東京純心女子高等学校
桜の聖母学院高等学校	植草学園大学附属高等学校	八王子高等学校
茨城県立水戸第二高等学校	西武台千葉高等学校	桜美林高等学校
茨城県立水戸第三高等学校	東京都立小平高等学校	錦城高等学校
茨城県立土浦第二高等学校	東京都立忍岡高等学校	明法高等学校
茨城県立取手第一高等学校	東京都立広尾高等学校	大成高等学校
茨城県立下館第一高等学校	東京都立府中西高等学校	文華女子高等学校
茨城県立伊奈高等学校	東京都立本所高等学校	東海大学菅生高等学校
茨城県立並木中等教育学校	東京都立紅葉川高等学校	相模女子大学高等部
東洋大学附属牛久高等学校	東京都立成瀬高等学校	神奈川県立伊志田高等学校
常総学院高等学校	東京都立晴海総合高等学校	横浜市立戸塚高等学校
栃木県立栃木女子高等学校	神田女学園高等学校	神奈川県立大船高等学校
栃木県立矢板東高等学校	三輪田学園高等学校	神奈川県立元石川高等学校
栃木県立さくら清修高等学校	山脇学園高等学校	関東学院高等学校
栃木県立佐野東高等学校	関東国際高等学校	横浜清風高等学校
宇都宮文星女子高等学校	桐朋女子高等学校	神奈川学園高等学校
佐野日本大学高等学校	跡見学園高等学校	捜真女学校高等学部
群馬県立前橋女子高等学校	京華女子高等学校	英理女子学院高等学校
群馬県立沼田女子高等学校	小石川淑徳学園高等学校	横浜創学館高等学校
群馬県立渋川女子高等学校	昭和第一高等学校	鎌倉女学院高等学校
新島学園高等学校	貞静学園高等学校	北鎌倉女子学園高等学校
東京農業大学第二高等学校	東洋女子高等学校	鎌倉女子大学高等部
樹徳高等学校	潤徳女子高等学校	湘南白百合学園高等学校
埼玉県立浦和西高等学校	江戸川女子高等学校	聖園女学院高等学校
埼玉県立久喜高等学校	品川翔英高等学校	向上高等学校
埼玉県立越谷南高等学校	香蘭女学校高等科	相洋高等学校
本庄第一高等学校	品川女子学院高等学校	光明学園相模原高等学校
本庄東高等学校	国士館高等学校	聖セシリ亞女子高等学校
埼玉栄高等学校	田園調布学園高等部	桐光学園高等学校
浦和学院高等学校	国本女子高等学校	新潟清心女子高等学校
埼玉県立越ヶ谷高等学校	佼成学園女子高等学校	山梨県立都留高等学校
西武学園文理高等学校	駒場学園高等学校	長野県立岩村田高等学校
国際学院高等学校	日本大学櫻丘高等学校	静岡県立沼津西高等学校
千葉県立千葉女子高等学校	サレジアン国際学園世田谷高等学校	静岡県立掛川西高等学校
千葉県立千葉商業高等学校	東亜学園高等学校	不二聖心女子学院高等学校
千葉県立我孫子高等学校	新渡戸文化高等学校	聖靈高等学校
千葉県立佐原高等学校	國學院大學久我山高等学校	土佐女子高等学校
千葉経済大学附属高等学校	文化学園大学杉並高等学校	九州国際大学付属高等学校
千葉商科大学付属高等学校	日本大学第二高等学校	佐賀清和高等学校
敬愛学園高等学校		

令和8年度開設予定の大学等の設置に係る学校法人の寄附行為（変更）の認可申請に関する学校法人分科会の意見に対する回答について

学校法人名等	大学名等	学部・学科・研究科名
昭和女子大学	昭和女子大学	総合情報学部 データサイエンス学科 デジタルイノベーション学科

1. (意見) 学生確保に関するアンケート調査の集計方法について、疑義があることから、以下について説明し、必要に応じて定員を見直すこと。
- (1) 実施したアンケートにおいて、複数の学科に対し重複して回答できることから、集計結果及び重複回答の振り分け方法について妥当性に疑義があるため、改めて入学定員を充足する別の具体的な根拠を示すこと。
- (2) 既設組織の入学者を対象としたアンケート調査において、第二志望、第三志望、第四志望以降で受験したと回答した学生数を用いた志望順位ごとの入学率ではなく、当該学生数の合計を用いた第二志望以降の入学率によって、新設組織の学生確保に関するアンケート調査における第二志望以降のデジタルイノベーション学科への入学者見込み数を算出することは、妥当性を欠いていると考えられることから、改めて入学定員を充足する別の具体的な根拠を示すこと。

(回答)

今回の審査意見を踏まえ、アンケート調査の集計方法を見直した。当初調査において両学科を「第一志望として受験する」且つ「入学する」と回答した入学意向者<sup>※1</sup> 59件すべてを集計結果から除外した。

その上で、入学定員の適切性を説明するため、追加でアンケート調査（追加調査2回目）を新たに実施し、再集計を行った。

#### 《調査概要》

本学部に関するアンケート調査は、以下のとおり3回実施した。

1. 当初調査（令和6年度に実施、対象：高校2年生女子）【追加資料1】
2. 追加調査1回目（令和7年度4～5月に実施、対象：高校3年生女子）【追加資料2】
3. 追加調査2回目（令和7年度8～9月に実施、対象：高校3年生女子）【追加資料3】

なお、いずれも令和7年度に高等学校3年生である生徒を対象としたため、

- ・当初調査（令和6年度）は2年生
  - ・追加調査1回目・2回目（令和7年度）は3年生
- を対象として、入学意向者を調査した。

#### 《調査結果》

##### (1) 当初調査および追加調査1回目

学科名	入学定員	当初調査	追加調査 1回目
データサイエンス学科	60名	33件	—
デジタルイノベーション学科	50名	7件	12件

- ・当初調査：両学科を「第一志望」且つ「入学する」とした回答はすべて除外。<sup>※2</sup>
- ・追加調査1回目（デジタルイノベーション学科のみを対象とした調査）：デジタルイノベーション学科を「第一志望」且つ「入学する」とした入学意向者のみを計上。<sup>※2</sup>

## (2) 追加調査 2 回目

学科名	入学定員	追加調査
		2回目
データサイエンス学科	60名	53件
デジタルイノベーション学科	50名	47件

- 受験意向と入学意向は、いずれか一方の学科のみ回答できる仕様の調査を実施し、集計。<sup>※2</sup>
- 当初調査、追加調査 1 回目に回答済みの者の回答はすべて除外、且つ追加調査 2 回目の期間内における重複回答もすべて除外して集計。<sup>※2</sup>

## (3) 合計

学科名	入学定員	入学意向者
データサイエンス学科	60名	<b>86件</b>
デジタルイノベーション学科	50名	<b>66件</b>

- 当初調査、追加調査 1 回目、追加調査 2 回目の回答の合計。
- 過去に回答済みの者および同一調査期間内において複数回答した者を除外して集計。<sup>※2</sup>

上記のとおり、データサイエンス学科、デジタルイノベーション学科ともに、入学意向者数が予定する入学定員を超えていることから、入学定員数は妥当であり、定員充足が見込まれる。

### ※1 《入学意向者の定義》

- 新設予定の両学科それぞれについて、以下の条件を満たす回答者を「入学意向者」として計上した。
- 私立の大学への進学を希望していること
  - 該当学科に対応する学問分野に関心があること
  - 本学の主な学生募集地域である 5 都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していること
  - 該当学科について「第一志望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択した者

なお、当初調査においては両学科に対し重複して回答できる仕組みとなっていたため、両学科に「第一志望として受験する」且つ「入学する」とした回答はすべて除外した。

### ※2 《重複回答への対応》

#### (1) 学科間の重複排除（当初調査）

当初調査は、両学科に対し重複して回答できる仕組みとなっていたため、両学科を「第一志望として受験する」且つ「入学する」とした回答をすべて除外した。

#### (2) 学科間の重複排除（追加調査 1 回目）

追加調査 1 回目は、デジタルイノベーション学科のみを対象としているため、学科間の重複回答は発生しない。

#### (3) 学科間の重複排除（追加調査 2 回目）

追加調査 2 回目は、WEB 回答フォームを用いて実施した。回答の途中で「2 学科への関心」を確認する設問を設けアンケート対象学科を分岐させることで、受験意向と入学意向はいずれか一方の学科の

み回答可能とした。これにより、同一回答者が両学科に重複して回答できない仕組みとした。

※【追加資料3】21ページ設問10を参照。

#### (4) 同一回答者による複数回答の排除

無記名式の調査であるため、同一回答者による複数回答を有効回答として計上しないよう、すべての調査において、設問内に「『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査に回答したことがあるか」を確認する項目を設けている。これにより、過去に回答済みの者および同一調査期間内において複数回回答した者を除外し、調査に初めて回答する者のみを有効回答として計上している。

なお、当初調査における「調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧（【追加資料1】14ページ」には、回答の有無に関わらず、協力依頼を送付した高校すべてを記載している。そのため、この一覧には、アンケートに回答があった高校と、回答がなかった高校が含まれている。追加調査1回目においては、当初調査に「回答がなかった高校」を対象に選定し、調査を実施した。【追加資料4】

※ 回答に関し、参考となる資料等がある場合は、必要に応じて添付してください。

昭和女子大学

総合情報学部

データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科

(仮称：設置構想中)

設置に関する受容性調査 再集計

【高校生】

株式会社日本ドリコム

令和7年9月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	6
3 属性等	8
4 受験意向・入学意向	9

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とする目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和6年7月1日～令和6年12月25日

- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査

令和6年7月～10月

- ・WEBインターネット調査（全国の高校2年生・女子を対象に実施）

令和6年11月～12月

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校2年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学オープンキャンパス参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。WEBインターネット調査については、全国の高校2年生・女子を対象に、回答者の属性管理等について一定の品質が保たれているLINEアンケートパネルを利用し調査を実施した。

### (4) 有効回答数 12,711件

- ・高等学校への依頼による調査（11,515件）
- ・昭和女子大学のオープンキャンパス参加者への調査（251件）
- ・WEBインターネット調査（945件）

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

(7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校2年生の女子生徒について、有効回答12,711件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答12,711件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答は1,103件であり、募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者のみで集計した場合は923件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参照し、適宜選択として設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部両学科に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した923件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、総合情報学部データサイエンス学科33件、総合情報学部デジタルイノベーション学科7件であった。

尚、両学科双方において、受験意向を「第一志望として受験する」と回答し、且つ入学意向を「入学する」と回答した59件は集計に含まれていない。

#### ■総合情報学部 データサイエンス学科

##### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14.0%
第二志望として受験する	28	3.0%
第三志望以降として受験する	139	15.1%
受験しない	623	67.5%
未回答	4	0.4%

■入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n		129	割合
入学する		33	25. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する		5	3. 9%
入学しない		1	0. 8%
未回答		31	24. 0%
重複回答		59	45. 7%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で、受験意向を「第一志望として受験する」と回答し、且つ入学意向を「入学する」と回答したもの。

■総合情報学部 デジタルイノベーション学科

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n		923	割合
第一志望として受験する		76	8. 2%
第二志望として受験する		58	6. 3%
第三志望以降として受験する		138	15. 1%
受験しない		637	69. 0%
未回答		14	1. 5%

■入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n		76	割合
入学する		7	9. 2%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する		10	13. 2%
入学しない		0	0. 0%
未回答		0	0. 0%
重複回答		59	77. 6%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で、受験意向を「第一志望として受験する」と回答し、且つ入学意向を「入学する」と回答したもの。

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	12711	割合
女性	12711	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	12711	割合
高校 3 年生	-	- %
高校 2 年生	12711	100.0%
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	12711	割合
東京都	4369	34.4%
神奈川県	2335	18.4%
千葉県	1774	14.0%
埼玉県	922	7.3%
その他（茨城県）	458	3.6%
その他（茨城県以外）	2846	22.4%
未回答	7	0.1%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した11,398件の内、設置者「私立」の回答は9,213件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	12711	割合
大学	11398	89.7%
短期大学	676	5.3%
専門職大学	381	3.0%
専門職短期大学	113	0.9%
専門学校	1677	13.2%
就職	383	3.0%
その他	93	0.7%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	11398	割合
私立	9213	80.8%
公立	2887	25.3%
国立	3312	29.1%
その他	74	0.6%

## (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した9,213件のうち、総合情報学部両学科に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス等)・電気通信工学)への回答は1,103件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は923件であった。

1,103件 (内 募集対象の5都県 923件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	9213	割合
数学	283	3.1%
理学その他(数理・情報科学等)	531	5.8%
工学その他(情報・AI・データサイエンス等)	619	6.7%
電気通信工学	171	1.9%
物理学・化学・生物・地学	617	6.7%
機械工学・土木建築工学	352	3.8%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	2659	28.9%
社会科学(法学、経済学、社会学等)	2740	29.7%
農学(農学、水産学等)	449	4.9%
保健(医学、看護学等)	1778	19.3%
商船(商船学)	55	0.6%
家政(家政学、被服学等)	591	6.4%
教育(教育学、体育学等)	1436	15.6%
芸術(美術、音楽等)	1150	12.5%
その他	1045	11.3%

(3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 を 感 じる	ど ら と え 魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 を 感 じ い	魅 力 を 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	1103	29.7%	45.8%	9.2%	6.8%	8.4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	1103	42.9%	36.9%	6.3%	5.4%	8.4%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	1103	33.3%	41.5%	10.1%	6.6%	8.5%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	1103	36.1%	40.7%	9.0%	5.6%	8.6%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	1103	34.4%	41.4%	10.2%	5.5%	8.4%	

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答した923件に受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が129件、そのうち33件がデータサイエンス学科に「入学する」と回答している。

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	129	14. 0%
第二志望として受験する	28	3. 0%
第三志望以降として受験する	139	15. 1%
受験しない	623	67. 5%
未回答	4	0. 4%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	129	割合
入学する	33	25. 6%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	3. 9%
入学しない	1	0. 8%
未回答	31	24. 0%
重複回答	59	45. 7%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で、受験意向を「第一志望として受験する」と回答し、且つ入学意向を「入学する」と回答したもの。

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	33	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5	24	125
入学しない	1	4	13
重複回答	59	-	-

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野を回答した923件に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が76件、そのうち7件がデジタルイノベーション学科に「入学する」と回答している。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	923	割合
第一志望として受験する	76	8. 2%
第二志望として受験する	58	6. 3%
第三志望以降として受験する	138	15. 1%
受験しない	637	69. 0%
未回答	14	1. 5%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	76	割合
入学する	7	9. 2%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	13. 2%
入学しない	0	0. 0%
未回答	0	0. 0%
重複回答	59	77. 6%

※重複回答：データサイエンス学科とデジタルイノベーション学科の双方で、受験意向を「第一志望として受験する」と回答し、且つ入学意向を「入学する」と回答したもの。

### ■受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	7	10	7
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	10	45	121
入学しない	0	3	9
重複回答	59	-	-

## 資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 1,161校（順不同）

### 選定の根拠

昭和女子大学への入学実績のある高等学校及びオープンキャンパス参加者実績のある高等学校

北海道札幌西高等学校	岩手県立盛岡第一高等学校	秋田県立秋田中央高等学校
北海道札幌北高等学校	岩手県立盛岡第三高等学校	秋田県立秋田西高等学校
北海道札幌月寒高等学校	岩手県立盛岡第四高等学校	秋田県立湯沢翔北高等学校
北海道札幌啓成高等学校	岩手県立黒沢尻北高等学校	山形県立山形東高等学校
北海道札幌白石高等学校	岩手県立一関第一高等学校	山形県立山形西高等学校
市立札幌旭丘高等学校	岩手県立大船渡高等学校	山形県立山形北高等学校
市立札幌清田高等学校	岩手県立遠野高等学校	山形市立商業高等学校
北海道岩見沢東高等学校	岩手県立宮古高等学校	山形県立米沢東高等学校
北海道網走南ヶ丘高等学校	岩手県立釜石高等学校	山形県立庄内総合高等学校
北海道室蘭清水丘高等学校	盛岡白百合学園高等学校	山形県立酒田東高等学校
北海道帯広柏葉高等学校	盛岡大学附属高等学校	山形県立酒田西高等学校
北海道釧路湖陵高等学校	宮城県佐沼高等学校	惺山高等学校
北海道静内農業高等学校	宮城県石巻高等学校	東海大学山形高等学校
市立札幌新川高等学校	宮城県泉高等学校	福島県立福島高等学校
北海道札幌国際情報高等学校	宮城県宮城第一高等学校	福島県立安積黎明高等学校
市立札幌開成中等教育学校	宮城県仙台二華高等学校	福島県立白河高等学校
藤女子高等学校	宮城県古川黎明高等学校	福島県立白河旭高等学校
北星学園女子高等学校	宮城県仙台南高等学校	福島県立会津高等学校
札幌新陽高等学校	宮城県泉館山高等学校	福島県立葵高等学校
酪農学園大学附属とわの森三愛高等学校	宮城県宮城野高等学校	福島県立喜多方高等学校
札幌聖心女子学院高等学校	仙台市立仙台青陵中等教育学校	福島県立磐城高等学校
遺愛女子高等学校	宮城県気仙沼高等学校	福島県立磐城桜が丘高等学校
帯広大谷高等学校	仙台育英学園高等学校	福島県立原町高等学校
札幌日本大学高等学校	宮城学院高等学校	福島県立郡山高等学校
青森県立青森高等学校	仙台白百合学園高等学校	福島県立福島東高等学校
青森県立青森東高等学校	尚絅学院高等学校	福島成蹊高等学校
青森県立青森南高等学校	常盤木学園高等学校	桜の聖母学院高等学校
青森県立弘前高等学校	聖ウルスラ学院英智高等学校	郡山女子大学附属高等学校
青森県立弘前中央高等学校	聖ドミニコ学院高等学校	尚志高等学校
青森県立八戸東高等学校	秋田県立秋田北高等学校	日本大学東北高等学校
青森県立八戸北高等学校	秋田県立秋田南高等学校	福島県磐城第一高等学校
青森県立八戸西高等学校	秋田県立大館鳳鳴高等学校	茨城県立日立第一高等学校
東奥義塾高等学校	秋田県立能代高等学校	茨城県立日立第二高等学校
弘前学院聖愛高等学校	秋田県立本荘高等学校	茨城県立多賀高等学校
青森明の星高等学校	秋田県立湯沢高等学校	茨城県立水戸第一高等学校

茨城県立水戸第二高等学校  
茨城県立水戸第三高等学校  
茨城県立緑岡高等学校  
茨城県立鉢田第一高等学校  
茨城県立鹿島高等学校  
茨城県立土浦第一高等学校  
茨城県立土浦第二高等学校  
茨城県立土浦第三高等学校  
茨城県立竜ヶ崎第一高等学校  
茨城県立取手第一高等学校  
茨城県立藤代高等学校  
茨城県立下館第一高等学校  
茨城県立下館第二高等学校  
茨城県立下妻第一高等学校  
茨城県立水海道第一高等学校  
茨城県立古河第二高等学校  
茨城県立古河第三高等学校  
茨城県立境高等学校  
茨城県立竹園高等学校  
茨城県立日立北高等学校  
茨城県立水戸桜ノ牧高等学校  
茨城県立牛久栄進高等学校  
茨城県立伊奈高等学校  
茨城県立並木中等教育学校  
茨城県立古河中等教育学校  
茨城県立勝田中等教育学校  
明秀学園日立高等学校  
茨城キリスト教学園高等学校  
茨城高等学校  
大成女子高等学校  
常磐大学高等学校  
水城高等学校  
土浦日本大学高等学校  
霞ヶ浦高等学校  
東洋大学附属牛久高等学校  
清真学園高等学校  
江戸川学園取手高等学校  
茗溪学園高等学校  
常総学院高等学校  
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校  
鹿島学園高等学校

岩瀬日本大学高等学校  
つくば国際大学東風高等学校  
栃木県立宇都宮東高等学校  
栃木県立宇都宮南高等学校  
栃木県立宇都宮女子高等学校  
栃木県立宇都宮商業高等学校  
栃木県立鹿沼高等学校  
栃木県立石橋高等学校  
栃木県立小山高等学校  
栃木県立栃木女子高等学校  
栃木県立佐野高等学校  
栃木県立足利高等学校  
栃木県立真岡女子高等学校  
栃木県立大田原女子高等学校  
栃木県立矢板東高等学校  
栃木県立宇都宮北高等学校  
栃木県立鹿沼東高等学校  
栃木県立さくら清修高等学校  
栃木県立栃木翔南高等学校  
栃木県立佐野東高等学校  
栃木県立宇都宮中央高等学校  
作新学院高等学校  
宇都宮文星女子高等学校  
宇都宮短期大学附属高等学校  
星の杜高等学校  
國學院大學栃木高等学校  
佐野日本大学高等学校  
足利短期大学附属高等学校  
足利大学附属高等学校  
白鷗大学足利高等学校  
矢板中央高等学校  
佐野日本大学中等教育学校  
幸福の科学学園高等学校  
群馬県立前橋南高等学校  
群馬県立前橋女子高等学校  
群馬県立高崎女子高等学校  
群馬県立太田女子高等学校  
群馬県立沼田女子高等学校  
群馬県立館林女子高等学校  
群馬県立渋川女子高等学校  
前橋市立前橋高等学校

群馬県立高崎北高等学校  
群馬県立太田東高等学校  
群馬県立高崎東高等学校  
高崎市立高崎経済大学附属高等学校  
群馬県立伊勢崎高等学校  
伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校  
群馬県立富岡高等学校  
群馬県立桐生高等学校  
共愛学園高等学校  
新島学園高等学校  
高崎商科大学附属高等学校  
関東学園大学附属高等学校  
東京農業大学第二高等学校  
樹徳高等学校  
高崎健康福祉大学高崎高等学校  
ぐんま国際アカデミー高等部  
筑波大学附属坂戸高等学校  
埼玉県立川口高等学校  
埼玉県立浦和第一女子高等学校  
埼玉県立熊谷女子高等学校  
埼玉県立川越女子高等学校  
埼玉県立春日部女子高等学校  
埼玉県立松山女子高等学校  
埼玉県立深谷第一高等学校  
埼玉県立浦和西高等学校  
埼玉県立不動岡高等学校  
埼玉県立本庄高等学校  
埼玉県立越ヶ谷高等学校  
埼玉県立久喜高等学校  
埼玉県立大宮高等学校  
埼玉県立蕨高等学校  
埼玉県立草加高等学校  
埼玉県立朝霞高等学校  
埼玉県立岩槻高等学校  
埼玉県立越谷北高等学校  
埼玉県立坂戸高等学校  
埼玉県立大宮商業高等学校  
埼玉県立与野高等学校  
埼玉県立鴻巣高等学校  
埼玉県立所沢高等学校

埼玉県立上尾高等学校	大宮開成高等学校	千葉県立国府台高等学校
埼玉県立豊岡高等学校	狹山ヶ丘高等学校	千葉県立国分高等学校
埼玉県立桶川高等学校	本庄東高等学校	千葉県立松戸高等学校
埼玉県立越谷南高等学校	武藏越生高等学校	千葉県立小金高等学校
埼玉県立川口北高等学校	武南高等学校	千葉県立松戸国際高等学校
埼玉県立所沢北高等学校	浦和実業学園高等学校	千葉県立東葛飾高等学校
埼玉県立熊谷西高等学校	星野高等学校	千葉県立柏高等学校
埼玉県立川越南高等学校	大妻嵐山高等学校	千葉県立柏南高等学校
埼玉県立三郷高等学校	浦和明の星女子高等学校	千葉県立流山おおたかの森高等学校
埼玉県立草加南高等学校	青山学院大学系属浦和ルーテル学院高等学校	千葉県立我孫子高等学校
埼玉県立富士見高等学校	埼玉栄高等学校	千葉県立印旛明誠高等学校
埼玉県立春日部東高等学校	浦和学院高等学校	千葉県立佐倉高等学校
埼玉県立杉戸高等学校	栄東高等学校	千葉県立四街道高等学校
さいたま市立浦和高等学校	秀明高等学校	千葉県立成田国際高等学校
川越市立川越高等学校	昌平高等学校	千葉県立佐原高等学校
さいたま市立大宮北高等学校	獨協埼玉高等学校	千葉県立鎌子高等学校
さいたま市立浦和南高等学校	春日部共栄高等学校	千葉県立匝瑳高等学校
埼玉県立浦和北高等学校	西武台高等学校	千葉県立成東高等学校
埼玉県立越谷西高等学校	西武学園文理高等学校	千葉県立東金高等学校
埼玉県立坂戸西高等学校	花咲徳栄高等学校	千葉県立長生高等学校
埼玉県立所沢西高等学校	秋草学園高等学校	千葉県立茂原高等学校
埼玉県立南稜高等学校	開智高等学校	千葉県立長狭高等学校
埼玉県立三郷北高等学校	埼玉平成高等学校	千葉県立安房高等学校
埼玉県立松伏高等学校	東京農業大学第三高等学校	千葉県立木更津高等学校
埼玉県立大宮南高等学校	国際学院高等学校	習志野市立習志野高等学校
埼玉県立新座総合技術高等学校	栄北高等学校	千葉市立千葉高等学校
埼玉県立入間向陽高等学校	開智未来高等学校	松戸市立松戸高等学校
埼玉県立伊奈学園総合高等学校	千葉県立千葉高等学校	鎌子市立鎌子高等学校
埼玉県立大宮光陵高等学校	千葉県立千葉女子高等学校	千葉県立磯辺高等学校
埼玉県立久喜北陽高等学校	千葉県立千葉東高等学校	千葉県立市川東高等学校
埼玉県立光国際高等学校	千葉県立千葉商業高等学校	柏市立柏高等学校
埼玉県立鳩ヶ谷高等学校	千葉県立千葉南高等学校	千葉県立千城台高等学校
川口市立高等学校	千葉県立検見川高等学校	千葉県立津田沼高等学校
聖望学園高等学校	千葉県立千葉北高等学校	千葉県立柏陵高等学校
創明高等学校	千葉県立若松高等学校	千葉県立船橋芝山高等学校
浦和麗明高等学校	千葉県立八千代高等学校	千葉県立松戸六実高等学校
細田学園高等学校	千葉県立船橋高等学校	千葉県立八千代東高等学校
淑徳与野高等学校	千葉県立薬園台高等学校	千葉市立稻毛高等学校
本庄第一高等学校	千葉県立船橋東高等学校	千葉県立柏中央高等学校
山村学園高等学校	千葉県立船橋啓明高等学校	千葉県立市原八幡高等学校
山村国際高等学校	千葉県立鎌ヶ谷高等学校	千葉県立千葉西高等学校

千葉県立市川昂高等学校	筑波大学附属高等学校	東京都立田園調布高等学校
千葉県立柏の葉高等学校	東京学芸大学附属高等学校	東京都立豊島高等学校
千葉県立幕張総合高等学校	東京大学教育学部附属中等教育学校	東京都立戸山高等学校
成田高等学校		東京都立豊多摩高等学校
昭和学院高等学校	東京学芸大学附属国際中等教育学校	東京都立西高等学校
千葉敬愛高等学校	東京都立青山高等学校	東京都立農業高等学校
千葉経済大学附属高等学校	東京都立足立高等学校	東京都立白鷗高等学校
市川高等学校	東京都立井草高等学校	東京都立八王子東高等学校
東葉高等学校	東京都立板橋高等学校	東京都立八丈高等学校
千葉黎明高等学校	東京都立上野高等学校	東京都立東高等学校
和洋国府台女子高等学校	東京都立江戸川高等学校	東京都立東大和高等学校
麗澤高等学校	東京都立園芸高等学校	東京都立日野高等学校
千葉英和高等学校	東京都立大泉高等学校	東京都立日比谷高等学校
日出学園高等学校	東京都立大崎高等学校	東京都立広尾高等学校
千葉明徳高等学校	東京都立大山高等学校	東京都立深川高等学校
千葉商科大学付属高等学校	東京都立葛飾商業高等学校	東京都立深沢高等学校
国府台女子学院高等部	東京都立北園高等学校	東京都立富士高等学校
東邦大学付属東邦高等学校	東京都立清瀬高等学校	東京都立府中高等学校
敬愛学園高等学校	東京都立国立高等学校	東京都立府中東高等学校
専修大学松戸高等学校	東京都立小岩高等学校	東京都立府中西高等学校
日本大学習志野高等学校	東京都立国分寺高等学校	東京都立福生高等学校
千葉日本大学第一高等学校	東京都立小山台高等学校	東京都立文京高等学校
二松学舎大学附属柏高等学校	東京都立工芸高等学校	東京都立保谷高等学校
東海大学付属浦安高等学校	東京都立江北高等学校	東京都立本所高等学校
八千代松陰高等学校	東京都立神津高等学校	東京都立町田高等学校
暁星国際高等学校	東京都立小平高等学校	東京都立松原高等学校
東京学館高等学校	東京都立狛江高等学校	東京都立三田高等学校
植草学園大学附属高等学校	東京都立小松川高等学校	東京都立向丘高等学校
芝浦工業大学柏高等学校	東京都立駒場高等学校	東京都立武蔵高等学校
東京学館浦安高等学校	東京都立鷺宮高等学校	東京都立武蔵丘高等学校
志学館高等部	東京都立桜町高等学校	東京都立目黒高等学校
昭和学院秀英高等学校	東京都立忍岡高等学校	東京都立紅葉川高等学校
市原中央高等学校	東京都立石神井高等学校	東京都立八潮高等学校
光英V E R I T A S 高等学校	東京都立昭和高等学校	東京都立雪谷高等学校
秀明大学学校教師学部附属秀明	東京都立新宿高等学校	東京都立両国高等学校
八千代高等学校	東京都立神代高等学校	東京都立小平西高等学校
流通経済大学付属柏高等学校	東京都立杉並高等学校	東京都立調布南高等学校
西武台千葉高等学校	東京都立墨田川高等学校	東京都立城東高等学校
翔凜高等学校	東京都立竹早高等学校	東京都立成瀬高等学校
木更津総合高等学校	東京都立立川高等学校	東京都立武蔵野北高等学校
東京工業大学附属科学技術高等学校	東京都立調布北高等学校	東京都立小川高等学校

東京都立田柄高等学校	東京家政学院高等学校	文京学院大学女子高等学校
東京都立松が谷高等学校	東洋高等学校	広尾学園小石川高等学校
東京都立山崎高等学校	二松學舍大学附属高等学校	上野学園高等学校
東京都立小平南高等学校	雙葉高等学校	桜丘高等学校
東京都立東大和南高等学校	三輪田学園高等学校	順天高等学校
東京都立南平高等学校	和洋九段女子高等学校	女子聖学院高等学校
東京都立晴海総合高等学校	開智日本橋学園高等学校	駿台学園高等学校
東京都立つばさ総合高等学校	広尾学園高等学校	サレジアン国際学園高等学校
東京都立芦花高等学校	頌栄女子学院高等学校	成立学園高等学校
東京都立杉並総合高等学校	聖心女子学院高等科	瀧野川女子学園高等学校
東京都立上水高等学校	正則高等学校	東京成徳大学高等学校
東京都立千早高等学校	三田国際学園高等学校	武蔵野高等学校
東京都立翔陽高等学校	東京女子学園高等学校	北豊島高等学校
東京都立若葉総合高等学校	東洋英和女学院高等部	日本大学第一高等学校
東京都立青梅総合高等学校	普連土学園高等学校	安田学園高等学校
東京都立日野台高等学校	明治学院高等学校	中村高等学校
東京都立小金井北高等学校	山脇学園高等学校	潤徳女子高等学校
東京都立国際高等学校	学習院女子高等科	共栄学園高等学校
東京都立小石川中等教育学校	成女高等学校	修徳高等学校
東京都立桜修館中等教育学校	目白研心高等学校	愛國高等学校
東京都立板橋有徳高等学校	青山学院高等部	江戸川女子高等学校
東京都立東久留米総合高等学校	関東国際高等学校	関東第一高等学校
千代田区立九段中等教育学校	国学院高等学校	品川翔英高等学校
東京都立世田谷総合高等学校	実践女子学園高等学校	香蘭女学校高等科
東京都立大田桜台高等学校	渋谷教育学園渋谷高等学校	品川女子学院高等部
東京都立立川国際中等教育学校	東京女学館高等学校	青稜高等学校
東京都立総合芸術高等学校	富士見丘高等学校	朋優学院高等学校
東京都立町田総合高等学校	晃華学園高等学校	品川学藝高等学校
東京都立多摩科学技術高等学校	桐朋女子高等学校	品川工トワール女子高等学校
東京都立南多摩中等教育学校	跡見学園高等学校	立正大学付属立正高等学校
東京都立三鷹中等教育学校	郁文館高等学校	文教大学付属高等学校
東京都立王子総合高等学校	郁文館グローバル高等学校	トキワ松学園高等学校
大妻高等学校	桜蔭高等学校	目黒日本大学高等学校
かえつ有明高等学校	京華女子高等学校	目黒学院高等学校
神田女学園高等学校	東洋大学京北高等学校	多摩大学目黒高等学校
共立女子高等学校	駒込高等学校	八雲学園高等学校
錦城学園高等学校	小石川淑徳学園高等学校	大森学園高等学校
麹町学園女子高等学校	昭和第一高等学校	羽田国際高等学校
女子学院高等学校	貞静学園高等学校	東京高等学校
白百合学園高等学校	東京電機大学高等学校	田園調布学園高等部
武蔵野大学附属千代田高等学院	東洋女子高等学校	鷗友学園女子高等学校

国本女子高等学校	豊島岡女子学園高等学校	神奈川県立横浜翠嵐高等学校
恵泉女学園高等学校	豊島学院高等学校	神奈川県立横浜平沼高等学校
佼成学園女子高等学校	豊南高等学校	神奈川県立横浜緑ヶ丘高等学校
国士館高等学校	淑徳高等学校	神奈川県立横浜立野高等学校
駒沢学園女子高等学校	大東文化大学第一高等学校	神奈川県立光陵高等学校
駒澤大学高等学校	帝京高等学校	神奈川県立商工高等学校
駒場学園高等学校	東京家政大学附属女子高等学校	神奈川県立希望ヶ丘高等学校
松蔭大学附属松蔭高等学校	日本大学豊山女子高等学校	神奈川県立港北高等学校
成城学園高等学校	東京女子学院高等学校	神奈川県立川和高等学校
下北沢成徳高等学校	富士見高等学校	神奈川県立市ヶ尾高等学校
聖ドミニコ学園高等学校	共立女子第二高等学校	神奈川県立霧が丘高等学校
大東学園高等学校	工学院大学附属高等学校	神奈川県立柏陽高等学校
玉川聖学院高等部	帝京大学高等学校	神奈川県立松陽高等学校
田園調布雙葉高等学校	東京純心女子高等学校	神奈川県立金井高等学校
東京農業大学第一高等学校	八王子学園八王子高等学校	神奈川県立川崎高等学校
東京都市大学等々力高等学校	八王子実践高等学校	神奈川県立新城高等学校
日本大学櫻丘高等学校	昭和第一学園高等学校	神奈川県立川崎北高等学校
サレジアン国際学園世田谷高等学校	立川女子高等学校	神奈川県立多摩高等学校
日本工業大学駒場高等学校	明星高等学校	神奈川県立生田高等学校
和光高等学校	桜美林高等学校	神奈川県立百合丘高等学校
玉川学園高等部	錦城高等学校	神奈川県立横須賀高等学校
日本大学第三高等学校	白梅学園高等学校	神奈川県立横須賀大津高等学校
実践学園高等学校	創価高等学校	神奈川県立追浜高等学校
東亜学園高等学校	拓殖大学第一高等学校	神奈川県立平塚江南高等学校
新渡戸文化高等学校	明治学院東村山高等学校	神奈川県立鎌倉高等学校
大妻中野高等学校	明法高等学校	神奈川県立七里ガ浜高等学校
宝仙学園高等学校	国立音楽大学附属高等学校	神奈川県立湘南高等学校
杉並学院高等学校	聖徳学園高等学校	神奈川県立藤沢西高等学校
光塩女子学院高等科	吉祥女子高等学校	神奈川県立小田原高等学校
國學院大學久我山高等学校	成蹊高等学校	神奈川県立西湘高等学校
文化学園大学杉並高等学校	藤村女子高等学校	神奈川県立茅ヶ崎高等学校
女子美術大学付属高等学校	大成高等学校	神奈川県立茅ヶ崎北陵高等学校
中央大学杉並高等学校	明星学園高等学校	神奈川県立鶴嶺高等学校
東京立正高等学校	武藏野大学高等学校	神奈川県立相原高等学校
日本大学第二高等学校	文華女子高等学校	神奈川県立上溝高等学校
日本大学鶴ヶ丘高等学校	国際基督教大学高等学校	神奈川県立相模原高等学校
立教女学院高等学校	東海大学菅生高等学校	神奈川県立麻溝台高等学校
川村高等学校	穎明館高等学校	神奈川県立上溝南高等学校
十文字高等学校	大妻多摩高等学校	神奈川県立津久井浜高等学校
城西大学附属城西高等学校	多摩大学附属聖ヶ丘高等学校	神奈川県立秦野高等学校
淑徳巣鴨高等学校	神奈川県立鶴見高等学校	神奈川県立厚木高等学校

神奈川県立伊志田高等学校	神奈川県立相模原中等教育学校	鵠沼高等学校
神奈川県立大和高等学校	横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校	湘南工科大学附属高等学校
神奈川県立座間高等学校	神奈川県立藤沢清流高等学校	湘南学園高等学校
神奈川県立大磯高等学校	神奈川県立横浜氷取沢高等学校	湘南白百合学園高等学校
神奈川県立新羽高等学校	神奈川県立相模原弥栄高等学校	日本大学藤沢高等学校
神奈川県立生田東高等学校	フェリス女学院高等学校	聖園女学院高等学校
神奈川県立綾瀬高等学校	横浜雙葉高等学校	向上高等学校
横浜市立南高等学校	横浜共立学園高等学校	相洋高等学校
横浜市立桜丘高等学校	横浜女学院高等学校	アセイア湘南高等学校
横浜市立金沢高等学校	中央大学附属横浜高等学校	聖和学院高等学校
横浜市立戸塚高等学校	関東学院高等学校	光明学園相模原高等学校
横浜市立東高等学校	青山学院横浜英和高等学校	相模女子大学高等部
川崎市立川崎高等学校	横浜清風高等学校	東海大学付属相模高等学校
川崎市立高津高等学校	神奈川学園高等学校	麻布大学附属高等学校
川崎市立橘高等学校	横浜創英高等学校	聖セリア女子高等学校
横浜市立横浜商業高等学校	搜真女学校高等学部	立花学園高等学校
川崎市立幸高等学校	白鵬女子高等学校	函嶺白百合学園高等学校
神奈川県立二宮高等学校	橘学苑高等学校	神奈川大学附属高等学校
神奈川県立橋本高等学校	鶴見大学附属高等学校	横浜隼人高等学校
神奈川県立荏田高等学校	聖ヨゼフ学園高等学校	桐光学園高等学校
神奈川県立海老名高等学校	法政大学国際高等学校	森村学園高等部
神奈川県立住吉高等学校	横浜商科大学高等学校	横浜翠陵高等学校
神奈川県立岸根高等学校	英理女子学院高等学校	公文国際学園高等部
神奈川県立新栄高等学校	桐蔭学園高等学校	自修館中等教育学校
神奈川県立大船高等学校	日本大学高等学校	横浜富士見丘学園高等学校
神奈川県立有馬高等学校	横浜学園高等学校	新潟県立新潟高等学校
神奈川県立元石川高等学校	関東学院六浦高等学校	新潟県立新潟中央高等学校
神奈川県立麻生高等学校	横浜創学館高等学校	新潟県立新潟南高等学校
神奈川県立湘南台高等学校	横浜高等学校	新潟県立新潟江南高等学校
神奈川県立深沢高等学校	山手学院高等学校	新潟県立新潟商業高等学校
神奈川県立大和西高等学校	湘南学院高等学校	新潟県立新発田高等学校
神奈川県立城郷高等学校	三浦学苑高等学校	新潟県立長岡高等学校
神奈川県立神奈川総合高等学校	横須賀学院高等学校	新潟県立長岡大手高等学校
横浜市立みなと総合高等学校	カリタス女子高等学校	新潟県立三条高等学校
神奈川県立横浜南陵高等学校	洗足学園高等学校	新潟県立三条東高等学校
横須賀市立横須賀総合高等学校	日本女子大学附属高等学校	新潟県立十日町高等学校
神奈川県立横浜清陵高等学校	平塚学園高等学校	新潟県立柏崎高等学校
神奈川県立横浜国際高等学校	鎌倉女学院高等学校	新潟県立高田北城高等学校
神奈川県立横浜栄高等学校	北鎌倉女子学園高等学校	新潟県立佐渡高等学校
神奈川県立座間総合高等学校	鎌倉女子大学高等部	新潟市立万代高等学校
神奈川県立平塚中等教育学校	清泉女学院高等学校	新潟県立新発田南高等学校

新潟県立長岡向陵高等学校	福井県立高志高等学校	長野県下諏訪向陽高等学校
新潟県立国際情報高等学校	福井県立羽水高等学校	長野県大町岳陽高等学校
新潟県立柏崎翔洋中等教育学校	福井県立武生高等学校	松本第一高等学校
新潟県立燕中等教育学校	福井県立金津高等学校	長野清泉女学院高等学校
新潟県立津南中等教育学校	仁愛女子高等学校	文化学園長野高等学校
新潟県立直江津中等教育学校	山梨県立甲府第一高等学校	上田西高等学校
新潟明訓高等学校	山梨県立甲府南高等学校	東京都市大学塩尻高等学校
新潟青陵高等学校	山梨県立巨摩高等学校	佐久長聖高等学校
北越高等学校	山梨県立都留高等学校	松本秀峰中等教育学校
中越高等学校	山梨県立吉田高等学校	岐阜県立岐阜高等学校
新潟清心女子高等学校	山梨県立甲府西高等学校	岐阜県立岐阜北高等学校
新潟第一高等学校	山梨県立甲府東高等学校	岐阜県立岐山高等学校
東京学館新潟高等学校	北杜市立甲陵高等学校	岐阜県立加納高等学校
富山県立桜井高等学校	山梨県立甲府昭和高等学校	岐阜県立大垣北高等学校
富山県立滑川高等学校	山梨英和高等学校	岐阜県立関高等学校
富山県立富山北部高等学校	駿台甲府高等学校	岐阜県立多治見北高等学校
富山県立富山東高等学校	山梨学院高等学校	岐阜県立恵那高等学校
富山県立富山南高等学校	東海大学付属甲府高等学校	岐阜県立斐太高等学校
富山県立富山高等学校	日本大学明誠高等学校	聖マリア女学院高等学校
富山県立富山いずみ高等学校	日本航空高等学校	大垣日本大学高等学校
富山県立富山中部高等学校	長野県須坂高等学校	高山西高等学校
富山県立富山西高等学校	長野県長野吉田高等学校	静岡県立韮山高等学校
富山県立高岡高等学校	長野県長野高等学校	静岡県立三島南高等学校
富山県立氷見高等学校	長野県長野西高等学校	静岡県立三島北高等学校
富山県立砺波高等学校	長野県長野商業高等学校	静岡県立御殿場南高等学校
富山県立吳羽高等学校	長野県篠ノ井高等学校	静岡県立沼津東高等学校
富山県立南砺福野高等学校	長野県屋代高等学校	静岡県立沼津西高等学校
富山第一高等学校	長野県上田染谷丘高等学校	静岡県立吉原高等学校
富山国際大学付属高等学校	長野県岩村田高等学校	静岡県立富士高等学校
片山学園高等学校	長野県野沢北高等学校	静岡県立清水南高等学校
石川県立小松高等学校	長野県諏訪清陵高等学校	静岡県立静岡高等学校
石川県立金沢錦丘高等学校	長野県諏訪二葉高等学校	静岡県立静岡城北高等学校
石川県立金沢二水高等学校	長野県岡谷南高等学校	静岡県立静岡東高等学校
石川県立金沢桜丘高等学校	長野県伊那北高等学校	静岡県立焼津中央高等学校
石川県立羽咋高等学校	長野県伊那弥生ヶ丘高等学校	静岡県立藤枝東高等学校
石川県立七尾高等学校	長野県飯田高等学校	静岡県立島田高等学校
石川県立小松明峰高等学校	長野県飯田風越高等学校	静岡県立榛原高等学校
星稜高等学校	長野県松本県ヶ丘高等学校	静岡県立掛川西高等学校
小松大谷高等学校	長野県松本深志高等学校	静岡県立袋井高等学校
鵬学園高等学校	長野県松本蟻ヶ崎高等学校	静岡県立磐田南高等学校
福井県立藤島高等学校	長野県豊科高等学校	静岡県立浜松北高等学校

静岡県立浜松西高等学校	愛知県立豊橋東高等学校	兵庫県立八鹿高等学校
静岡県立浜名高等学校	愛知県立豊丘高等学校	兵庫県立川西北陵高等学校
沼津市立沼津高等学校	愛知県立小坂井高等学校	兵庫県立芦屋国際中等教育学校
富士市立高等学校	名古屋市立桜台高等学校	親和女子高等学校
静岡市立高等学校	愛知県立豊田北高等学校	神戸常盤女子高等学校
浜松市立高等学校	愛知県立豊田南高等学校	愛徳学園高等学校
静岡県立富士東高等学校	名古屋市立名東高等学校	帝塚山高等学校
静岡県立伊豆中央高等学校	愛知高等学校	智辯学園奈良カレッジ高等部
静岡県立浜北西高等学校	愛知淑徳高等学校	和歌山県立向陽高等学校
静岡県立下田高等学校	桜花学園高等学校	和歌山県立日高高等学校
静岡県立駿河総合高等学校	愛知工業大学名電高等学校	和歌山県立田辺高等学校
不二聖心女子学院高等学校	名城大学附属高等学校	近畿大学附属新宮高等学校
知徳高等学校	聖霊高等学校	近畿大学附属和歌山高等学校
日本大学三島高等学校	清林館高等学校	鳥取県立鳥取西高等学校
加藤学園高等学校	杜若高等学校	鳥取県立米子西高等学校
星陵高等学校	栄徳高等学校	鳥取城北高等学校
東海大学付属静岡翔洋高等学校	大成高等学校	島根県立出雲高等学校
静岡雙葉高等学校	三重県立四日市南高等学校	島根県立大社高等学校
常葉大学附属常葉高等学校	三重県立津西高等学校	島根県立浜田高等学校
静岡学園高等学校	三重県立松阪高等学校	松江市立皆美が丘女子高等学校
常葉大学附属菊川高等学校	三重県立上野高等学校	島根県立松江東高等学校
磐田東高等学校	暁高等学校	出雲北陵高等学校
浜松学芸高等学校	高田高等学校	岡山県立岡山操山高等学校
静岡県西遠女子学園高等学校	セントヨゼフ女子学園高等学校	岡山県立倉敷青陵高等学校
浜松聖星高等学校	三重高等学校	岡山県立玉島高等学校
浜松日体高等学校	桜丘高等学校	岡山県立総社南高等学校
聖隸クリストファー高等学校	滋賀学園高等学校	岡山県立岡山城東高等学校
桐陽高等学校	京都府立桃山高等学校	広島県立呉三津田高等学校
藤枝明誠高等学校	京都女子高等学校	広島県立尾道北高等学校
名古屋大学教育学部附属高等学校	大阪府立箕面高等学校	広島県立福山葦陽高等学校
愛知県立旭丘高等学校	大阪府立阿倍野高等学校	広島市立舟入高等学校
愛知県立松蔭高等学校	大阪府立泉陽高等学校	広島市立広島中等教育学校
愛知県立名古屋西高等学校	大阪府立水都国際高等学校	安田女子高等学校
愛知県立鳴海高等学校	賢明学院高等学校	比治山女子高等学校
愛知県立長久手高等学校	帝塚山学院高等学校	ノートルダム清心高等学校
愛知県立岩倉総合高等学校	常翔啓光学園高等学校	広島工業大学高等学校
愛知県立一宮西高等学校	ヴェリタス城星学園高等学校	盈進高等学校
愛知県立木曽川高等学校	金蘭千里高等学校	銀河学院高等学校
愛知県立半田高等学校	四天王寺東高等学校	如水館高等学校
愛知県立吉良高等学校	兵庫県立西宮北高等学校	山口県立華陵高等学校
愛知県立岡崎北高等学校	兵庫県立姫路東高等学校	徳島県立脇町高等学校

徳島県立徳島北高等学校	熊本県立小国高等学校
香川県立丸亀高等学校	熊本県立天草高等学校
高松市立高松第一高等学校	熊本信愛女学院高等学校
香川県立高松西高等学校	ルーテル学院高等学校
香川県立高松桜井高等学校	秀岳館高等学校
香川県立三木高等学校	熊本学園大学付属高等学校
英明高等学校	熊本マリスト学園高等学校
大手前高松高等学校	大分県立別府鶴見丘高等学校
愛媛県立新居浜東高等学校	大分県立大分上野丘高等学校
愛媛県立新居浜西高等学校	大分県立大分舞鶴高等学校
愛媛県立西条高等学校	大分県立大分商業高等学校
愛媛県立今治西高等学校	大分県立大分西高等学校
愛媛県立宇和島南中等教育学校	大分県立佐伯鶴城高等学校
新田青雲中等教育学校	大分県立中津南高等学校
高知県立高知国際高等学校	大分県立中津北高等学校
土佐女子高等学校	大分東明高等学校
福岡県立新宮高等学校	宮崎県立延岡高等学校
福岡県立筑紫丘高等学校	宮崎県立日向高等学校
久留米市立久留米商業高等学校	宮崎県立宮崎大宮高等学校
福岡県立香住丘高等学校	宮崎県立宮崎南高等学校
明治学園高等学校	鵬翔高等学校
九州国際大学付属高等学校	宮崎第一高等学校
飯塚高等学校	延岡学園高等学校
福岡大学附属大濠高等学校	日向学院高等学校
福岡大学附属若葉高等学校	鹿児島県立鹿児島中央高等学校
西南学院高等学校	鹿児島県立国分高等学校
筑紫女学園高等学校	鹿児島県立鹿屋高等学校
福岡女学院高等学校	鹿児島県立屋久島高等学校
福岡工業大学附属城東高等学校	鹿児島県立大島高等学校
福岡雙葉高等学校	鹿児島市立鹿児島玉龍高等学校
久留米信愛高等学校	鹿児島県立開陽高等学校
自由ヶ丘高等学校	鹿児島情報高等学校
佐賀県立致遠館高等学校	沖縄県立宜野湾高等学校
佐賀清和高等学校	沖縄県立那覇西高等学校
弘学館高等学校	沖縄県立那覇国際高等学校
早稲田佐賀高等学校	
長崎県立長崎西高等学校	
長崎県立佐世保北高等学校	
熊本県立熊本高等学校	
熊本県立第一高等学校	

## 資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

**昭和女子大学 総合情報学部  
データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）に関するアンケート**

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・設置構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。

このアンケートの回答内容があなたの今後の進路（受験・入学等）に影響することはございません。また、高校2年生以外の方もご回答いただけます。

※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

■質問の答えとなる番号に○をつけてください。

Q1) あなたの性別をお答えください。

1 女性 2 男性

Q2) あなたの学年をお答えください。

1 高校2年生 2 高校1年生 3 高校3年生 4 その他

Q3) あなたの高校の所在都道府県をお答えください。

1 東京都 2 神奈川県 3 千葉県 4 埼玉県 5 その他（） 道府県

Q4) 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。（複数回答可）

1 大学 2 短期大学 3 専門職大学 4 専門職短期大学 5 専門学校 6 就職 7 その他（）

Q5) 進学を希望する場合の大学等の設置者

Q4で1～4と回答した人への質問です。志望する大学等の設置者の希望を選択してください。（複数選択可）

1 私立 2 公立 3 国立 4 その他（）

Q6) 高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。（複数回答可）

①数学 ④電気通信工学 ⑦人文科学（文学、史学、哲学、言語学等） ⑩商船（商船学）  
②理学その他（数理・情報科学等） ⑤物理学・化学・生物・地学 ⑧社会科学（法学、経済学、社会学等） ⑪家政（家政学、被服学等）  
③工学その他（情報・AI・データサイエンス等） ⑥機械工学・土木建築工学 ⑨農学（農学、水産学等） ⑫教育（教育学、体育学等）  
⑩保健（医学、看護学等） ⑪芸術（美術、音楽等）  
⑯その他

Q7) 以降の質問は、一緒に配布した学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。

Q7) より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

①社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

②データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

③専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

④デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったメイン（領域）についても学べること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

⑤DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること  
1 魅力を感じる 2 どちらかといえば魅力を感じる 3 どちらかといえば魅力を感じない 4 魅力を感じない

Q8) 昭和女子大学総合情報学部が開設された場合、受験を希望しますか。それぞれの学科で一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない  
【デジタルイノベーション学科】 1 第一志望で受験する 2 第二志望で受験する 3 第三志望以降で受験する 4 受験しない

Q9) 昭和女子大学総合情報学部を受験して合格した場合、入学しますか。該当する学科について一つ選択してください。

【データサイエンス学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない  
【デジタルイノベーション学科】 1 入学する 2 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する 3 入学しない

Q10) 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

Q11) 2024年7月から現在までの間に、昭和女子大学総合情報学部に関する同じ内容のアンケート調査（オンラインアンケート含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。

同様のアンケートに回答したことがある

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。なお、学部学科の名称、教育内容等は予定であり変更されることがあります。

資料3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

**総合情報学部** (仮称)

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**要因の  
概念**

近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、先進的コンピュータと日々接觸されるビッグデータを利用して複雑な問題を解決したり、新たな価値を創造して持続的な社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを活用し、デジタル技術（データサイエンス／IT）に活動し、社会が望むとするビジネス・領域・心地の分野で働きを心得できる女性を育成し、本学の概念に沿って、女性の社会進歩に貢献を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 採用する人材像  
昭和女子大学の教育目標と学部課程を理解し、人と社会とのつながりを深めることで、データ分析力、データ活用力、データ表現力を身につける。また、データを活用して問題を解決する能力を身につける。また、データを活用して問題を解決する能力を身につける。  
□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学部課程を理解し、人と社会とのつながりを深めることで、データ分析力、データ活用力、データ表現力を身につける。また、データを活用して問題を解決する能力を身につける。  
□ 選成する入札会  
社会やビジネスにおける情報システム上の問題を抱え、(a)設計者、データサイエンティスト等の専門知識を有して、(b)社会やビジネスにおける問題を抱える者と連携して活動したりえ、(c)高度化データに基づき分析、論理推論をし、データモデルを用いて予測、介入方法を構築、実現できる人材を選成します。

**デジタルイノベーション学科**

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学部課程を理解し、人と社会とのつながりを深めることで、データ分析力、データ活用力、データ表現力を身につける。また、データを活用して問題を解決する能力を身につける。  
□ 選成する入札会  
社会やビジネスにおける情報システム上の問題を抱え、(a)設計者、データサイエンティスト等の専門知識を有して、(b)社会やビジネスにおける問題を抱える者と連携して活動したりえ、(c)高度化データに基づき分析、論理推論をし、データモデルを用いて予測、介入方法を構築、実現できる人材を選成します。

**就職場所**  
昭和女子大学 世田谷キャンパス  
東京都世田谷区太子堂1-7-57

**年度  
加入会**

1,598,000円  
(入学金、授業料、施設設備費 等)

※記載を務める会社は予定会社のため、変更となる可能性があります。

**講師  
学部**

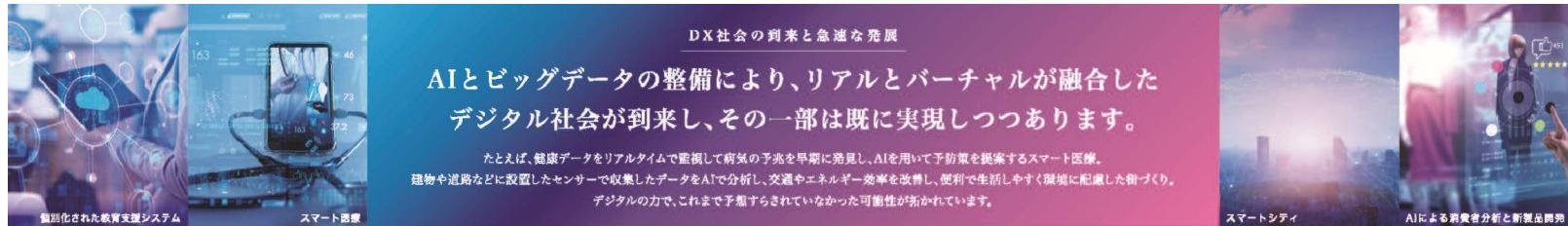
・青山学院大学 社会情報学部  
・東京都市大学 デザイン・データ科学部  
・筑波大学 データサイエンス学部  
・東洋大 総合情報学部

※記載料金会員料金(学年):1,490,000円~1,670,000円  
開設期:2026年4月8日(火曜日)  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
ds-daiaku@swu.ac.jp





## 総合情報学部 FACULTY OF INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に結び、文理融合カリキュラムを編成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。

学部の  
幹長

総合情報学部では、デジタル革新が加速する社会で活躍する力を養います。

文系組系を問わず、数理モデルやデータに基づく思考力と

デジタル技術に関する高度な知識、スキルを涵養します。

これらの能力、知識、スキルを自身の専門領域(ドメイン)に応用して

課題を発見・解決し、創造性のあるアイデアを社会実装できる女性を育成します。

### 分析と予測の データサイエンス学科

育成をめざす人材像

AIと統計学を活用して  
ビッグデータを分析し  
組織においてデータに基づく  
意思決定を実践できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1~2年次に、高校数学の復習から始めて  
統計学、線形代数、解析など数理リテラシーを獲得

1年次から、統計モデル、機械学習モデルを実装するための  
プログラミング技術を習得

2年次にチームや意思決定をリードするためのソフトスキルを習得

2~3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を選び  
実用的な分析・予測を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「IDS Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DATA SCIENCE

### 学びのフローチャート

#### デジタル技術

数理の基礎と専門技術を習得

#### 共通基礎

- 数学基礎
- 分析・微分代数
- 統計学
- 物理学概論
- DXと社会
- Pythonプログラミング

#### ソフトスキル

設備や実践に必須の対人スキル

#### 論理的思考 | プロジェクト・マネジメント

#### ドメイン知識

DXが進む領域の専門知識を学ぶ

ビジネス科目群 | 健康科目群 | 心理科目群

#### 演習・プロジェクト

実践を重ねた集大成の取組

#### Capstone Project

### 提案と実装の デジタルイノベーション学科

育成をめざす人材像

専門科目

ICTやコンピュータサイエンスの  
知識を駆使し  
新たな商品・サービスの導入や  
ビジネスの変革を主導できる  
人材を育成します

専門科目

IoT  
データマネジメント  
ビッグデータマネジメント  
サイバーセキュリティ  
クラウドコンピューティング  
モバイル・Webアプリ開発  
オブジェクト指向プログラミング  
UMLモデリング  
データビジュアライゼーション  
UXデザイン

CURRICULUM

1~2年次に、コンピュータサイエンスと  
データ・マネジメントの専門知識と技術を習得

1年次から、要実定着の概念を学び、AI・先端技術を実践につなげるスキルを習得  
Webサイト制作やアプリ開発などの製作を通じてプログラミング技術を習得

2年次にチームワーク、リーダーシップにつながるソフトスキルを習得

2~3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を選び  
ドメイン専門性に基づく実用的知識・実験を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DI Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DIGITAL INNOVATION

昭和女子大学  
総合情報学部  
デジタルイノベーション学科  
(仮称：設置構想中)  
設置に関する受容性調査  
【高校生】

追加調査

株式会社日本ドリコム  
令和7年6月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	5
3 属性等	6
4 受験意向・入学意向	7

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とすることを目的とする。

### (2) 調査期間

- ・高等学校への依頼による調査

令和7年4月25日～令和7年5月12日

- ・昭和女子大学の進学説明会等への参加者

令和7年4月25日～令和7年5月12日

### (3) 調査対象・方法

高等学校に在籍する高校3年生の女子生徒を対象とし、高等学校及び昭和女子大学の進学説明会等参加者にアンケートを依頼した。回答方法は質問用紙もしくはWEB回答フォームを利用した。

### (4) 有効回答数 737件

※調査対象とした高等学校名等の一覧は資料1に記載

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

### (7) 集計方針及び集計結果の表記

- ・比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。  
基数となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。
- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。
- ・オープンキャンパス及び高等学校、WEBアンケートの複数でアンケートを回答したものは有効回答数から除外している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学に入学実績を有する高等学校及び昭和女子大学のオープンキャンパス参加者等に協力を依頼し、集計対象となる高等学校3年生の女子生徒について、有効回答737件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答737件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学 等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス 等）・電気通信工学）に関心があるとの回答は58件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参照し、適宜選択しとして設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部デジタルイノベーション学科に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学 等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス 等）・電気通信工学）に関心があり、且つ募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校に在籍していると回答した58件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、12件であった。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	58	割合
第一志望として受験する	12	20.7%
第二志望として受験する	10	17.2%
第三志望以降として受験する	8	13.8%
受験しない	24	41.4%
未回答	4	6.9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	12	割合
入学する	12	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0.0%
入学しない	0	0.0%
未回答	0	0.0%

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	737	割合
女性	737	100.0%
男性	-	- %

#### (2) 学年

件数 n	737	割合
高校 3 年生	737	100.0%
高校 2 年生	-	- %
高校 1 年生	-	- %

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	737	割合
東京都	254	34.5%
神奈川県	217	29.4%
千葉県	0	0.0%
埼玉県	266	36.1%
その他（茨城県）	0	0.0%
その他（茨城県以外）	0	0.0%
未回答	0	0.0%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した650件の内、設置者「私立」の回答は628件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	737	割合
大学	650	88. 2%
短期大学	73	9. 9%
専門職大学	10	1. 4%
専門職短期大学	3	0. 4%
専門学校	89	12. 1%
就職	30	4. 1%
その他	19	2. 6%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	650	割合
私立	628	96. 6%
公立	211	32. 5%
国立	239	36. 8%
その他	3	0. 5%

## (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した628件のうち、総合情報学部デジタルイノベーション学科に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・デジタルサイエンス等)・電気通信工学)への回答は58件であり、募集対象の5都県のみで集計した場合は58件であった。

58件 (内 募集対象の5都県 58件)

※募集対象の5都県：在籍している学校の所在地が、  
東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の5都県

興味のある学問分野 複数回答

件数 n	628	割合
数学	21	3. 3%
理学その他(数理・情報科学等)	40	6. 4%
工学その他(情報・AI・デジタルサイエンス等)	53	8. 4%
電気通信工学	12	1. 9%
物理学・化学・生物・地学	42	6. 7%
機械工学・土木建築工学	23	3. 7%
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	242	38. 5%
社会科学(商学、経済学等)	224	35. 7%
社会科学(法学、政治学、社会学等)	200	31. 8%
農学(農学、水産学等)	38	6. 1%
保健(医学、看護学等)	153	24. 4%
商船(商船学)	4	0. 6%
家政(家政学、被服学等)	30	4. 8%
教育(教育学、体育学等)	149	23. 7%
芸術(美術、音楽等)	81	12. 9%
その他	61	9. 7%

(3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	ど ら と え 魅 力 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	魅 力 感 じ い	未 回 答
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	58	24. 1%	60. 3%	5. 2%	6. 9%	3. 4%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	58	36. 2%	32. 8%	12. 1%	13. 8%	5. 2%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	58	43. 1%	43. 1%	5. 2%	3. 4%	5. 2%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	58	50. 0%	34. 5%	5. 2%	3. 4%	6. 9%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	58	22. 4%	58. 6%	5. 2%	3. 4%	10. 3%	

#### (4) 総合情報学部 デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野を回答した58件を対象に、受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が12件、そのうち12件が「入学する」と回答している。

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	58	割合
第一志望として受験する	12	20.7%
第二志望として受験する	10	17.2%
第三志望以降として受験する	8	13.8%
受験しない	24	41.4%
未回答	4	6.9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	130	割合
入学する	12	100.0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	0.0%
入学しない	0	0.0%
未回答	0	0.0%

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	12	0	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	0	9	6
入学しない	0	1	1

資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧 7校（順不同）

**選定の根拠**

昭和女子大学の学生募集において高校訪問等を行っている高等学校、且つ以前のアンケート調査（令和6年度調査）に回答がなかった高等学校

埼玉県立久喜北陽高等学校

山村学園高等学校

東京都立片倉高等学校

東京都立美原高等学校

豊南高等学校

自由が丘学園高等学校

横浜隼人高等学校

資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

昭和女子大学  
総合情報学部  
デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）  
(仮称・構想中)  
に関するアンケート

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部 デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。  
このアンケートの回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。また、高校3年生以外の方もご回答いただけます。  
※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

**Q1.** あなたの高等学校についてお答えください。

\*

- 国立
- 都道府県立
- 市立
- 私立
- その他

**Q6.** 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。

\* (複数選択)

- 大学
- 短期大学
- 専門職大学
- 専門職短期大学
- 専門学校
- 就職
- その他

**Q2.** あなたの高等学校の学校名を記載してください。

例: ○○高校 \*

  
0文字

**Q3.** あなたの性別をお答えください。

\*

- 女性
- 男性

**Q4.** あなたの学年をお答えください。

\*

- 高校3年生
- 高校2年生
- 高校1年生
- その他

**Q5.** あなたの高等学校の所在都道府県をお答えください。

\*

- 東京都
- 神奈川県
- 千葉県
- 埼玉県
- 茨城県
- その他

**Q7.** 進学を希望する場合の大学等の設置者。

\* (複数選択)

- 私立
- 公立
- 国立
- その他

**Q8.**

高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。

\* (複数選択)

- 数学
- 理学その他（数理・情報科学等）
- 工学その他（情報・AI・データサイエンス等）
- 電気通信工学
- 物理学・化学・生物・地学
- 機械工学・土木建築工学
- 人文科学（文学、史学、哲学、言語学等）
- 社会科学（商学・経済学）
- 社会科学（法学・政治学・社会学等）
- 農学（農学、水産学等）
- 保健（医学、看護学等）
- 商船（商船学）
- 家政（家政学、被服学等）
- 教育（教育学、体育学等）
- 芸術（美術、音楽等）

■以降の質問は、次のURLをクリックし、学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。  
別画面でリーフレットが開きます。

→ (リーフレット) [https://daijanen.github.io/ba\\_dsc\\_pdf/swu20240717.pdf](https://daijanen.github.io/ba_dsc_pdf/swu20240717.pdf)

### Q9.

より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

\*

	どちらかといえば魅 力を感じる	どちらかといえば魅 力を感じない	魅 力を感じない	
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフト スキルを修得できること	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

### Q10. 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科が開設された場合、受験を希望しますか。

\*

- 第一志望で受験する
- 第二志望で受験する
- 第三志望以降で受験する
- 受験しない

### Q11. 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科を受験して合格した場合、入学しますか。

\*

- 入学する
- 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
- 入学しない

### Q12. 昭和女子大学総合情報学部について、印象や感想、要望等があれば自由に記載してください。

0文字

### Q13.

2024年7月から現在までの間に、『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査（アンケート用紙での回答含む）に回答したことがある場合は□にチェックマークを付けてください。

(複数選択)

- 以前に回答したことがある

**総合情報学部** 〔仮称〕

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**設置の趣旨**

近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々蓄積されるビッグデータを活用して問題解決を図り、新たな価値を創造して創気ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを適切に扱い、デジタル技術（データサイエンス／IT）に習熟し、本学が目指すビジネス・経営・心理学の分野で能力を活用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 開設する人材像  
昭和女子大学における問題に對し、(a)統計学、データサイエンスにおける専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける現象を理解する社会知識を用いて、(c)実験室における実験を理解する技術を理解したりうえで、(d)最適化データに基づき分析、実験結果をし、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、実験できる人材を養成します。

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会ヒューマンインプットの面からも安心な気持ち、何よりもデータサイエンス能力によるデータ分析や子育てを通じて問題を解決し、社会に貢献したいという意欲のある人をめざします。また、本学科の教育課程に従事する教員は、能力を備えた入学者を受け入れます。そのために多様な入試と試験で入学者を基準に、多面的・総合的に選抜します。

**設置場所**  
昭和女子大学 世田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷1-7-67

**初年度  
総収入金**  
1,598,000円  
(入学金、授業料、施設設備費等)  
※前年度収入金を予定金額のため、更なる可能性があります。

**類似学部**

- ・青山学院大学 社会情報学部
- ・東京都市大学 デザイン・データ科学部
- ・筑波大学 データサイエンス学部
- ・東洋大 学習情報学部

※前年度収入金(参考)：1,490,000円～1,670,000円  
※開設：2026年4月 大学芋井より  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
da-daiaku@swu.ac.jp





# 総合情報学部

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に基づき、文理融合カリキュラムを編成しました。《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。

# 分析と予測の データサイエンス学科



**昭和女子大学**

**総合情報学部**

**データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科**

**(仮称：設置構想中)**

**設置に関する受容性調査 追加実施**

**【高校生】**

株式会社日本ドリコム

令和7年9月



## ■ 目次

1 調査概要	4
2 調査のサマリー	6
3 属性等	8
4 受験意向・入学意向	9

資料 1 調査対象とした高等学校名等の一覧

資料 2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

資料 3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

## ■ 1 調査概要

### (1) 調査目的

本調査は、受験層である高校生を対象に進学受容性調査を行い、昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称：設置構想中）の設置における検討資料とすることを目的とする。

### (2) 調査期間 2025年8月31日～9月13日

### (3) 調査対象・方法

- 当該学部学科に関心を有する昭和女子大学オープンキャンパス参加者及び進学相談会参加者を対象に、配布もしくは郵送にて調査協力の依頼を行い、オンライン回答フォームによりアンケートを回収
- Questantのパネル調査を利用したネットリサーチ（マクロミルグループが保有するパネルネットワークを利用、主に株式会社モニタスのモニターを利用してアンケートを配信）を実施。東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県に居住する55,591人に対して調査協力の依頼を実施。内、大学受験を希望している高等学校3年生の女性について、期間内に回答協力の内諾を得ることができた850名に対してアンケート依頼を実施。

### (4) 有効回答数 672件

- 昭和女子大学オープンキャンパス参加者及び進学相談会参加者（80件）
- ネットリサーチ（592件）

※有効回答：女性・高等学校3年生・所属高等学校が所定の5都県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県）・大学進学希望者の4つの条件を満たす回答

### (5) 調査実施機関

株式会社 日本ドリコム

### (6) 調査項目

資料2に記載

### (7) 集計方針及び集計結果の表記

- 比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。基準となる実数はnとし、各グラフの比率はnを母数とした割合を示す。

- ・「降順」と記載のあるものは、件数nに基づいた並び替えとなっている。
- ・回答者が複数の選択肢を回答する設問の集計には「複数回答」と表示している。

## ■ 2 調査のサマリー

### (1) アンケート依頼の対象

昭和女子大学のオープンキャンパス参加者及び大学受験を希望している高等学校3年生に協力を依頼し、女性・高等学校3年生・所属高等学校が所定の5都県（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県）・大学進学希望者の3つの条件を満たす有効回答672件を得た。

### (2) 回答者の属性（志望する進路先・設置者・学問分野）

有効回答672件の内、「私立」の「大学」への進学を希望し、且つ総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があるとの回答は263件であった。

※分野については、学校基本調査（中分類）の表現を参考し、適宜選択しとして設定した。

### (3) 受験意向・入学意向

総合情報学部両学科に対応する学問分野（数学・理学その他（数理・情報科学等）・工学その他（情報・AI・データサイエンス等）・電気通信工学）に関心があると回答した263件のうち、両学科のいずれかに関心をもっていると回答した261件を対象に、受験意向と入学意向をたずねた。その結果、「第一希望として受験する」を選択し、且つ「入学する」を選択したのは、総合情報学部データサイエンス学科53件、総合情報学部デジタルイノベーション学科47件であった。

※アンケートシステムにおいて、受験意向及び入学意向は複数の学科に重複回答できないよう制限されている。

※以前に同様のアンケートに回答したもの及び本調査において複数回答したものは、総合情報学部データサイエンス学科53件、総合情報学部デジタルイノベーション学科47件には含まれていない。

#### ■総合情報学部 データサイエンス学科

##### 受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	140	割合
第一志望として受験する	88	62.9%
第二志望として受験する	22	15.7%
第三志望以降として受験する	16	11.4%
受験しない	14	10.0%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n		88	割合
入学する（以前に同様のアンケートについて回答していない）	53	60. 2%	
入学する（以前に同様のアンケートについて回答している）	29	33. 0%	
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	6	6. 8%	
入学しない	0	0. 0%	

■総合情報学部 デジタルイノベーション学科

受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	121	割合
第一志望として受験する	77	63. 6%
第二志望として受験する	22	18. 2%
第三志望以降として受験する	10	8. 3%
受験しない	12	9. 9%

入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	77	割合
入学する（以前に同様のアンケートについて回答していない）	47	61. 0%
入学する（以前に同様のアンケートについて回答している）	27	35. 1%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2	2. 6%
入学しない	1	1. 3%

### ■ 3 属性等

#### (1) 性別

件数 n	672	割合
女性	672	100.0%
男性	0	0.0%

#### (2) 学年

件数 n	672	割合
高校 3 年生	672	100.0%
高校 2 年生	0	0.0%
高校 1 年生	0	0.0%

#### (3) 在籍している学校の所在地

件数 n	672	割合
東京都	336	50.0%
神奈川県	110	16.4%
千葉県	94	14.0%
埼玉県	103	15.3%
茨城県	29	4.3%

## ■ 4 受験意向・入学意向

### (1) 高等学校卒業後の進路と設置者

進学先「大学」と回答した672件の内、設置者「私立」の回答は579件であった。

卒業後の進路 複数回答

件数 n	672	割合
大学	672	100. 0%
短期大学	89	13. 2%
専門職大学	72	10. 7%
専門職短期大学	53	7. 9%
専門学校	52	7. 7%
就職	22	3. 3%
その他	0	0. 0%

希望する大学の設置者 複数回答

件数 n	672	割合
私立	579	86. 2%
公立	226	33. 6%
国立	258	38. 4%
その他	1	0. 1%

## (2) 興味のある学問分野

進学先「大学」且つ設置者「私立」と回答した579件のうち、総合情報学部両学科に対応する学問分野(数学・理学その他(数理・情報科学等)・工学その他(情報・AI・データサイエンス等)・電気通信工学)への回答は263件であった。

263件

興味のある学問分野 複数回答

件数 n		579	割合
数学	139	24. 0%	
理学その他(数理・情報科学等)	151	26. 1%	
工学その他(情報・AI・データサイエンス等)	176	30. 4%	
電気通信工学	78	13. 5%	
物理学・化学・生物・地学	87	15. 0%	
機械工学・土木建築工学	54	9. 3%	
人文科学(文学、史学、哲学、言語学等)	150	25. 9%	
社会科学(法学、経済学、社会学等)	134	23. 1%	
農学(農学、水産学等)	122	21. 1%	
保健(医学、看護学等)	40	6. 9%	
商船(商船学)	80	13. 8%	
家政(家政学、被服学等)	23	4. 0%	
教育(教育学、体育学等)	68	11. 7%	
芸術(美術、音楽等)	63	10. 9%	

### (3) 学部学科の特色に対する関心

学科の特色について、関心が持てるもの

	n	魅 力 を 感 じる	ち か い ば 力 感 じる	ど ら と え 魅 力 感 じる	ち か い ば 力 感 じ い	魅 力 感 じ い
社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること	263	65. 8%	25. 9%	3. 8%	4. 6%	
データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること	263	58. 2%	28. 1%	8. 7%	4. 9%	
専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること	263	53. 6%	35. 0%	8. 4%	3. 0%	
デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること	263	58. 9%	29. 3%	8. 0%	3. 8%	
DXプロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること	263	55. 9%	33. 1%	7. 2%	3. 8%	

#### (4) 総合情報学部 データサイエンス学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で、且つ総合情報学部データサイエンス学科対象分野を回答し、データサイエンス学科に関心を持っている140件に受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が88件であった。そのうち53件が、以前に同様のアンケートについて回答しておらず、且つデータサイエンス学科に「入学する」と回答している。

受験意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	140	割合
第一志望として受験する	88	62. 9%
第二志望として受験する	22	15. 7%
第三志望以降として受験する	16	11. 4%
受験しない	14	10. 0%

入学意向 【総合情報学部 データサイエンス学科】

件数 n	88	割合
入学する（以前に同様のアンケートについて回答していない）	53	60. 2%
入学する（以前に同様のアンケートについて回答している）	29	33. 0%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	6	6. 8%
入学しない	0	0. 0%

#### ■受験意向と入学意向のクロス集計

（以前に同様のアンケートについて回答しているものを除く）

総合情報学部 データサイエンス学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	53	2	1
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	3	11	11
入学しない	0	0	2

## (5) 総合情報学部デジタルイノベーション学科の受験意向と入学意向

募集対象の5都県（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県）に所在する高等学校在籍者で、且つ総合情報学部デジタルイノベーション学科対象分野を回答し、デジタルイノベーション学科に関心を持っている121件に受験意向と入学意向をたずねたところ、「第一志望として受験する」との回答が77件であった。そのうち47件が、以前に同様のアンケートについて回答しておらず、且つデータサイエンス学科に「入学する」と回答している。

### 受験意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	121	割合
第一志望として受験する	77	63. 6%
第二志望として受験する	22	18. 2%
第三志望以降として受験する	10	8. 3%
受験しない	12	9. 9%

### 入学意向 【総合情報学部 デジタルイノベーション学科】

件数 n	77	割合
入学する（以前に同様のアンケートについて回答していない）	47	61. 0%
入学する（以前に同様のアンケートについて回答している）	27	35. 1%
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2	2. 6%
入学しない	1	1. 3%

### ■受験意向と入学意向のクロス集計

#### 総合情報学部 デジタルイノベーション学科

	第一志望として受験する	第二志望として受験する	第三志望以降として受験する
入学する	47	3	0
志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1	5	7
入学しない	0	0	0

## 資料1 調査対象（協力依頼を送付した）高等学校名等の一覧

該当なし

## 資料2 アンケート用紙（調査に用いた調査票様式）

※オープンキャンパス参加者及びネットリサーチとともに、アンケート回答フォームは「Questant」のアンケートシステム（画面）を利用

The screenshot shows a survey form titled "昭和女子大学 総合情報学部 (仮称・構想中) に関するアンケート". The form includes sections for "メッセージ" (Message) and "同意文/ボタン" (Agreement/Buttons). The main content discusses the proposed setup of new departments at Showa女子大学.

開始ページ

表示

タイトル

昭和女子大学  
総合情報学部  
データサイエンス学科  
デジタルイノベーション学科  
(仮称・構想中)  
に関するアンケート

メッセージ

回答文/ボタン

昭和女子大学では、2026年（令和8年）4月に総合情報学部データサイエンス学科・デジタルイノベーション学科（仮称・構想中）の設置を計画しています。このアンケート調査は、当該学部学科の設置に関する検討資料とするものです。  
このアンケートの回答内容があなたの今後の進学（受験・入学等）に影響することはありません。  
※本調査の実施・回収・集計は株式会社日本ドリコムに委託しております。

**Q1.** あなたの高等学校についてお答えください。

\*

- 国立
- 都道府県立
- 市立
- 私立
- その他

**Q2.** あなたの高等学校の学校名を記載してください。

例：○○高校 \*

0文字

※Questantのパネル調査を利用したネットリサーチは、高等学校の設置種別及び学校名の質問を割愛

Q3. あなたの性別をお答えください。

\*

- 女性
- 男性

改ページ

編集 削除 この質問を表示する条件“Q3”で“女性”を選択した

Q4. あなたの学年をお答えください。

\*

- 高校3年生
- 高校2年生
- 高校1年生
- その他

/

[編集](#) [削除](#) この質問を表示する条件 "Q3" で "女性" を "選択した"

**Q5.** あなたの高等学校の所在都道府県をお答えください。  
\* [改ページ](#)

- 東京都
- 神奈川県
- 千葉県
- 埼玉県
- 茨城県
- その他

[編集](#) [削除](#) この質問を表示する条件 "Q5" で "その他" を "選択しなかった"

**Q6.** 卒業後の進路として検討している選択肢を全てお答えください。  
\* [\(複数選択\)](#) [改ページ](#)

- 大学
- 短期大学
- 専門職大学
- 専門職短期大学
- 専門学校
- 就職
- その他

[編集](#) [削除](#) この質問を表示する条件 "Q6" で "大学" を "選択した"

**Q7.** 進学を希望する場合の大学等の設置者。

\* (複数選択)

私立

公立

国立

その他

/

[編集](#) [削除](#) この質問を表示する条件“Q7”で“私立”を選択した

**Q8.** 高校を卒業後、学びたいと考えている興味関心のある学問分野をすべて選択してください。

\* (複数選択)

- 数学
- 理学その他（数理・情報科学等）
- 工学その他（情報・AI・デバイス等）
- 電気通信工学
- 物理学・化学・生物・地学
- 機械工学・土木建築工学
- 人文科学（文学、史学、哲学、言語学等）
- 社会科学（商学・経済学）
- 社会科学（法学・政治学・社会学等）
- 農学（農学、水産学等）
- 保健（医学、看護学等）
- 商船（商船学）
- 家政（家政学、被服学等）
- 教育（教育学、体育学等）
- 芸術（美術、音楽等）

[編集](#) [削除](#) この質問を表示する条件“Q7”で“私立”を選択した

■以降の質問は、次のURLをクリックし、学部学科紹介リーフレットを参照しながら、お答えください。  
別画面でリーフレットが開きます。

→ (リーフレット) [https://daijanen.github.io/ba\\_dsc\\_pdf/swu20240717.pdf](https://daijanen.github.io/ba_dsc_pdf/swu20240717.pdf)

[編集](#) [削除](#) ↗ この質問を表示する条件 "Q7" で "私立" を "選択した"

### Q9.

より高度なデジタル技術への対応が必要な社会が到来する中、昭和女子大学総合情報学部のどのような点に魅力を感じますか。

\*

魅力を感じる      どちらかといえば      どちらかといえば      魅力を感じない  
魅力を感じる      魅力を感じない

社会・企業ニーズを踏まえて構想された、現代の諸問題に応えようとする学部であること

➡ ○ ○ ○ ○

データサイエンス・コンピュータサイエンスの専門知識を確実に身に着けられるカリキュラムであること

➡ ○ ○ ○ ○

専門知識を確実に身につけるためにアクティブ・ラーニングを取り入れていること

➡ ○ ○ ○ ○

デジタル技術を社会に適用できる力を身につけるため、ビジネス、健康、心理といったドメイン（領域）についても学べること

➡ ○ ○ ○ ○

D X プロジェクトを円滑に進めるために必要な、論理的思考やプロジェクト・マネジメントなどのソフトスキルを修得できること

➡ ○ ○ ○ ○

[編集](#) [削除](#) ↗ この質問を表示する条件 "Q7" で "私立" を "選択した"

**Q10.** より関心が高い学科はどちらになりますか。

- データサイエンス学科
- デジタルイノベーション学科

改ページ

[編集](#) [削除](#) ↗ この質問を表示する条件 "Q10" で "データサイエンス学科" を "選択した"

**Q11.** 昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科が開設された場合、受験を希望しますか。  
\*

- 第一志望で受験する
- 第二志望で受験する
- 第三志望以降で受験する
- 受験しない

改ページ

[編集](#) [削除](#) ↗ この質問を表示する条件 "Q10" で "デジタルイノベーション学科" を "選択した"

**Q12.**

昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科が開設された場合、受験を希望しますか。  
\*

- 第一志望で受験する
- 第二志望で受験する
- 第三志望以降で受験する
- 受験しない

編集 削除 ⇢ この質問を表示する条件 “Q11”で“受験しない”を選択しなかった

**Q13.** 昭和女子大学総合情報学部データサイエンス学科を受験して合格した場合、入学しますか。  
\*

入学する  
 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する  
 入学しない

----- ⇢ 改ページ -----

編集 削除 ⇢ この質問を表示する条件 “Q12”で“受験しない”を選択しなかった

**Q14.** 昭和女子大学総合情報学部デジタルイノベーション学科を受験して合格した場合、入学しますか。  
\*

入学する  
 志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する  
 入学しない

**Q15.**

2024年7月から現在までの間に、『昭和女子大学総合情報学部』に関する同じ内容のアンケート調査（アンケート用紙での回答含む）に回答したことがありますか。

回答したことはない  
 回答して、両学科ともに「入学したい」と回答した  
 回答して、両学科ともに「入学しない」と回答した  
 どちらか一つの学科のみ第一志望で受験を希望し、入学したいと回答した  
 その他

資料3 リーフレット（調査回答者に提示した資料）

**総合情報学部** 〔仮称〕

**データサイエンス学科**  
**デジタルイノベーション学科**

**設置の趣旨**

近年、急速に発展している高度情報化・ネットワーク化社会において、発達するコンピュータと日々蓄積されるビッグデータを活用して問題解決を図り、新たな価値を創造して創気ある未来社会を作り出すことが求められています。このような人材が不足している社会的な要因に対し、データを適切に扱い、デジタル技術（データサイエンス／IT）に習熟し、本学が目指すビジネス・経営・心理学の分野で能力を活用できる女性を育成し、本学の理念に沿って、女性の社会進出・活躍を支援する学部を開設します。

**データサイエンス学科**

□ 開設する人材像  
昭和女子大学における問題に對し、(a)統計学、データサイエンスにおける専門知識を用いて、(b)社会やビジネスにおける現象を理解する社会知識を用いて、(c)社会やビジネスにおける現象を理解する社会知識を理解したりうえで、(d)高度化データに基づき分析、実験設計をし、既存モデルを用いて予測、介入方法を検討、実験できる人材を養成します。

□ アドミッションポリシー  
昭和女子大学の教育目標と学位授与方針を理解し、人と社会ヒューマンインプットの面からも安心な気持ち、何よりもデータサイエンス能力によるデータ分析や子育てを通じて問題を解決し、社会に貢献したいという意欲のある人をめざします。また、本学科の教育課程に従事する教員は、能力を備えた入学者を受け入れます。そのために多様な入試方法で入学者を募集し、多方面、総合的に選抜します。

**設置場所**  
昭和女子大学 西田谷キャンパス  
東京都世田谷区本郷1-7-67

**初年度  
総収入金**  
1,598,000円  
(入学金、授業料、施設設備費等)  
※前年度収入金を予定金額のため、変更となる可能性があります。

**類似学部**

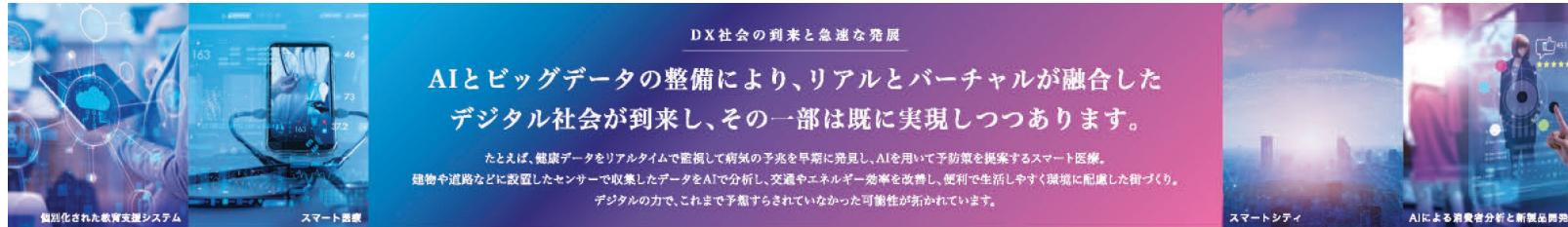
・青山学院大学 社会情報学部  
・東京都市大学 デザイン・データ科学部  
・筑波大学 データサイエンス学部  
・東洋大 学習情報学部

※前年度収入金(参考)：1,490,000円～1,670,000円  
※開設：2026年4月 大学4年より  
詳しくは各大学にお問い合わせください。

**昭和女子大学**  
SHOWA WOMEN'S UNIVERSITY

[お問い合わせ]  
昭和女子大学 新学部設置準備委員会  
da-daiaku@swu.ac.jp





# 総合情報学部

FACULTY OF  
INFORMATICS

データとデジタル技術の活用において先駆を走る企業数社との連携に着目。  
文理融合カリキュラムを構成しました。

《デジタル技術》《ソフトスキル》《ドメイン知識》の3分野の専門性を兼ね備えた人材を育成します。

## 分析と予測の データサイエンス学科

育成をめざす人材像

AIと統計学を活用して  
ビッグデータを分析し  
組織においてデータに基づく  
意思決定を実践できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、高校数学の復習から始めて  
統計学、線形代数、解析学などの数理リテラシーを獲得

1年次から、統計モデル、機械学習モデルを実装するための  
プログラミング技術を習得

2年次にチームや意思決定をリードするためのソフトスキルを獲得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を学び  
実用的な分析・予測を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DS Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DATA SCIENCE

学びのフローチャート

## デジタル技術

数理の基礎と専門技術を習得

共通基礎

- 数学基礎
- 分析・微分方程式
- 統計学
- 物理学基礎
- DXと社会
- Pythonプログラミング

## ソフトスキル

基盤や実践に必須の対人スキル

論理的思考　|　プロジェクト・マネジメント

## ドメイン知識

DXが進む領域の専門知識を学ぶ

ビジネス科目群　|　健康科目群　|　心理科目群

## 演習・プロジェクト

実績を重ねた集大成の取組

Capstone Project

## 提案と実装の デジタルイノベーション学科

育成をめざす人材像

ICTやコンピュータサイエンスの  
知識を駆使し  
新たな商品・サービスの導入や  
ビジネスの変革を主導できる  
人材を育成します

CURRICULUM

1～2年次に、コンピュータサイエンスと  
データマネジメントの専門知識と技術を習得

1年次から、要求定義の概念を学び、AI基礎技術を実践につなげるスキルを獲得

Webサイト制作やアプリ開発などの製作を通じてプログラミング技術を習得

2～3年次に、自身の専門領域としてドメイン(ビジネス・健康・心理)を選び

ドメイン専門性に基づく実用的授業・実践を行う能力を習得

各学年で演習・プロジェクト、4年次には集大成となる「DI Capstone Project」を実施

DEPARTMENT OF  
DIGITAL INNOVATION

アンケート調査実施校（令和6年度調査）

※当初調査に回答があった高校

北星学園女子高等学校	二松学舎大学附属柏高等学校	帝京高等学校
青森県立八戸北高等学校	二松学舎大学附属高等学校	東京家政大学附属女子高等学校
秋田県立湯沢翔北高等学校	翔凛高等学校	共立女子第二高等学校
福島県立葵高等学校	東京学館高等学校	東京純心女子高等学校
桜の聖母学院高等学校	植草学園大学附属高等学校	八王子高等学校
茨城県立水戸第二高等学校	西武台千葉高等学校	桜美林高等学校
茨城県立水戸第三高等学校	東京都立小平高等学校	錦城高等学校
茨城県立土浦第二高等学校	東京都立忍岡高等学校	明法高等学校
茨城県立取手第一高等学校	東京都立広尾高等学校	大成高等学校
茨城県立下館第一高等学校	東京都立府中西高等学校	文華女子高等学校
茨城県立伊奈高等学校	東京都立本所高等学校	東海大学菅生高等学校
茨城県立並木中等教育学校	東京都立紅葉川高等学校	相模女子大学高等部
東洋大学附属牛久高等学校	東京都立成瀬高等学校	神奈川県立伊志田高等学校
常総学院高等学校	東京都立晴海総合高等学校	横浜市立戸塚高等学校
栃木県立栃木女子高等学校	神田女学園高等学校	神奈川県立大船高等学校
栃木県立矢板東高等学校	三輪田学園高等学校	神奈川県立元石川高等学校
栃木県立さくら清修高等学校	山脇学園高等学校	関東学院高等学校
栃木県立佐野東高等学校	関東国際高等学校	横浜清風高等学校
宇都宮文星女子高等学校	桐朋女子高等学校	神奈川学園高等学校
佐野日本大学高等学校	跡見学園高等学校	捜真女学校高等学部
群馬県立前橋女子高等学校	京華女子高等学校	英理女子学院高等学校
群馬県立沼田女子高等学校	小石川淑徳学園高等学校	横浜創学館高等学校
群馬県立渋川女子高等学校	昭和第一高等学校	鎌倉女学院高等学校
新島学園高等学校	貞静学園高等学校	北鎌倉女子学園高等学校
東京農業大学第二高等学校	東洋女子高等学校	鎌倉女子大学高等部
樹徳高等学校	潤徳女子高等学校	湘南白百合学園高等学校
埼玉県立浦和西高等学校	江戸川女子高等学校	聖園女学院高等学校
埼玉県立久喜高等学校	品川翔英高等学校	向上高等学校
埼玉県立越谷南高等学校	香蘭女学校高等科	相洋高等学校
本庄第一高等学校	品川女子学院高等学校	光明学園相模原高等学校
本庄東高等学校	国士館高等学校	聖セシリ亞女子高等学校
埼玉栄高等学校	田園調布学園高等部	桐光学園高等学校
浦和学院高等学校	国本女子高等学校	新潟清心女子高等学校
埼玉県立越ヶ谷高等学校	佼成学園女子高等学校	山梨県立都留高等学校
西武学園文理高等学校	駒場学園高等学校	長野県立岩村田高等学校
国際学院高等学校	日本大学櫻丘高等学校	静岡県立沼津西高等学校
千葉県立千葉女子高等学校	サレジアン国際学園世田谷高等学校	静岡県立掛川西高等学校
千葉県立千葉商業高等学校	東亜学園高等学校	不二聖心女子学院高等学校
千葉県立我孫子高等学校	新渡戸文化高等学校	聖靈高等学校
千葉県立佐原高等学校	國學院大學久我山高等学校	土佐女子高等学校
千葉経済大学附属高等学校	文化学園大学杉並高等学校	九州国際大学付属高等学校
千葉商科大学付属高等学校	日本大学第二高等学校	佐賀清和高等学校
敬愛学園高等学校		